

和歌山県立近代美術館年報

二〇〇三(平成15)年度





## 年報の刊行にあたって

2003(平成15)年度の年報を刊行いたします。

和歌山県立近代美術館は、1963年に旧和歌山城二の丸跡に開館した和歌山県立美術館を前身として、1970年に開館いたしました。和歌山県民文化会館1階において、23年間の活動を続けた後、1994年7月、現在の場所に新築移転いたしました。

開館以来当館は、和歌山県にゆかりの作家について調査、紹介を続ける一方、「和歌山版画ビエンナーレ」展や「関西の美術家シリーズ」といった独自の展覧会を通じて、県民の皆さまに親しまれ、また日本国内はもとより海外に向けても、個性的な文化の発信地としての役割を果たしてまいりました。現在の施設への移転後は、これら従前の実績の上に立ち、過去の近代美術の展示、収集活動のみならず、未来を目指して多様化していく美術表現に対応し、幅広い美術の紹介にも積極的に取り組んでおります。

今年度開催いたしました「はじめての美術 絵本原画の世界展」「チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド」「黒田清輝展」「たがやすように」などの展覧会も、これまでの活動の実績を引き継ぎつつ、研究の対象領域を広げ、また深めた成果として開催いたしたものであります。同じく常設展示においても、それぞれ収蔵作品を中心とした研究の成果を示し、作品に新たな角度から光を当てる努力を行ってまいりました。また今年度は和歌山県特別事業として「和歌山県文化表彰の歩み展」を開催し、その創設四十周年を記念すると同時に、和歌山県文化の足取りを端的に紹介いたしました。一方、展覧会活動と併行して、教育普及活動や収集活動も活発に展開し、特にこれらの成果を若年層に広く知っていただくため、高校生以下の観覧料無料化を昨年度に引き続き実施いたしております。またコレクションの充実をはかる収集活動では、昭和初期に注目すべき活動を行った「新版画集団」の作品を中心に、115点を購入いたしました。一方、それを上回る120点のご寄贈をいただきましたが、これも当館の活動を評価していただいたゆえであります。

それぞれ詳細は以下に譲りますが、これら当館の活動は、作品をご寄贈くださった皆様や、ご来館くださった方々をはじめ、多くの皆さまのご協力によって成り立ってきたものです。本年報は、多くのご助力に感謝申し上げるとともに、その成果をご報告し、更に充実した美術館活動を進める基礎として刊行するものです。

2005年3月

和歌山県立近代美術館

## 目次

年報の刊行にあたって	1
沿革	2
展覧会事業	
企画展	5
常設展	32
和歌山県特別事業	41
普及事業	46
調査・研究・発表活動および对外協力活動	49
収集事業	50
保存事業	68
管理運営	69
関係法規	72
建築概要	76
案内	79

## 沿革

### ■和歌山県立美術館

1963年	
3月17日	旧和歌山城二の丸跡に開館
7月	川口軌外展
10月	第1回明治・大正・昭和名作美術展
11月	第17回和歌山県美術展 (1969年第23回展まで開催)
1964年	
4月	紀州陶磁器展
10月	第2回明治・大正・昭和名作美術展
1965年	
3月	祇園南海展
5月	長沢蘆雪名作展
7月	日高昌克展
10月	近代洋画名作展 特設・原勝四郎遺作展
1966年	
3月	ダリ・シャガール・ビュッフェ版画展
6月	石垣栄太郎遺作展
6月	日本伝統工芸秀作展
7月	川端龍子展
10月	松方コレクション展
1967年	
10月	富岡鉄斎展
1968年	
3月	桑山玉洲展
9月	扇絵展
10月	明治100年記念郷土作家回顧展
1969年	
4月	保田龍門展
1970年	
11月2日	廃館
■和歌山県立近代美術館	
1970年	
11月2日	和歌山県民文化会館内に開館 第24回和歌山県美術展 (1993年第47回展まで開催)
1971年	
3月	大夢・晩花展
8月	紀州の風景画展
1972年	
3月	原勝四郎展
10月	アメリカにおける日本人作家回顧展 「石垣栄太郎・国吉康雄・ヘンリー杉本」

1973年	
10月	川口軌外展
1974年	
4月	吉田政次遺作展
10月	裕伊之助展
1975年	
10月	木下孝則回顧展
1976年	
2月	1910年代における京都日本画の新動向展
10月	木下義謙作品展
1977年	
2月	田中恭吉展
10月	川端龍子展
1978年	
10月	日高昌克展
1979年	
2月	神中糸子と工部美術学校展
5月	村井正誠展
10月	高井貞二展
1980年	
3月	川口軌外とその周辺 —和歌山の初期独立展系作家たち—展
10月	開館10周年記念 1930年協会の作家たち展
1981年	
3月	恩地孝四郎・田中恭吉・逸見享版画展
10月	下村觀山—その人と芸術—
1982年	
2月	建畠覚造展
7月	イタリア美術の一世纪《1880-1990》展
10月	稗田一穂展
1983年	
7月	関西の美術家シリーズ1 津高和一・泉茂・吉原英雄展
1984年	
2月	和歌山の作家と県内洋画壇展
7月	関西の美術家シリーズ2 元永定正・白髪一雄展
1985年	
10月	紀州の風景を描いた作家たち展
1986年	
3月	第1回和歌山版画ビエンナーレ展
7月	関西の美術家シリーズ3 彫刻の4人 —清水九兵衛・山口牧生・森口宏一・ 福岡道雄展

10月	開館15周年記念 近代洋画の展開 —初期独立美術協会の作家たち展
1986年	
7月	朝井閑右衛門の世界
10月	瑛九とその周辺展
1987年	
3月	第2回和歌山版画ビエンナーレ展
7月	関西の美術家シリーズ4 日本画の4人 —大野値嵩・下村良之介・星野真吾・ 三上誠展
9月	太平洋を越えた日本の画家たち展
1988年	
3月	描かれた動物たち展
7月	関西の美術家シリーズ5 版画の4人 —井田照一・木村光佑・黒崎彰・ 船井裕展
10月	竹久夢二とその周辺展
1989年	
3月	第3回和歌山版画ビエンナーレ展
7月	関西の美術家シリーズ6 現代の造形— 土と布と糸。荒木高子・前川強・濱谷明夫展
10月	親と子で見る世界の名画展
1990年	
7月	関西の美術家シリーズ7 美術の現在— 4つの試み 宮崎豊治・北山善夫・木村 秀樹・野田裕示展
10月	現代の陶芸1980-1990 関西の作家を中 心として
1991年	
3月	第4回和歌山版画ビエンナーレ展
7月	関西の美術家シリーズ8 美術の現在— 彫刻の変容 小清水漸・北辻良央・川島 慶樹展
9月	ポスター芸術100年
1992年	
10月	版画芸術の饗宴—ケネス・タイラーと巨 匠たち：1963-1992
1993年	
3月	第5回和歌山版画ビエンナーレ展
■新館計画	
1988年	
2月	政策調整会議において、美術館及び博物 館2館の建設を決定

3月	新美術館の建設計画に係る基本的事項に ついての指導、助言を得るため「新美術 館建設懇談会」を設置
9月	新美術館に係る基本構想策定のため、「新 美術館建設検討委員会」を設置
1989年	
4月	「和歌山県美術品取得基金条例」を設置
8月	新美術館建設検討委員会より「和歌山県立 新美術館の建設基本構想について」答申 新美術館の美術作品収集基本方針及び開館 展等の開催に関する事項を検討、協議す るため、「新美術館専門会議」を設置
9月	美術館において収集する美術作品の選定 に関し、審議するため「和歌山県立近代 美術館美術作品選定委員会」を設置
9月	新美術館専門会議において「新美術館の 美術作品収集方針について」承認
1990年	
3月	新美術館の設計を「黒川紀章建築都市設 計事務所」に委託
1991年	
7月	和歌山県美術品取得基金によりジョー ジ・シーガル作《煉瓦の壁ぞいに歩く男》 (1988) を購入
10月	施設着工式を挙行
11月	和歌山県美術品取得基金によりマーク・ ロスコ作《赤の上の黄褐色と黒》(1957) を購入
1992年	
8月	和歌山県美術品取得基金によりフラン ク・ステラ作《ラッカIII》(1968) を購入
1993年	
9月	和歌山県美術品取得基金によりパブロ・ ピカソ作《ミノトーロマシー》(1935)、 《泣く女》(1937) を購入
1994年	
2月	定礎式を挙行
3月	工事完了
4月	新美術館へ移転
■和歌山県立近代美術館 新館	
1994年	
7月8日	新近代美術館開館

## 展覧会事業 企画展

10月	開館記念展1 美術館へ行こう 開館記念展2 大正のまなざしー若き保田龍門とその時代ー	12月 1999年	フランス現代美術展 眼と精神
11月	ルオーの「ミゼレーレ」	2月	関西の戦後美術 1950's~1990's
1995年		4月	めいさく根據葉掘 アートと知り合い!
1月	恩地孝四郎ー色と形の詩人ー	6月	デモクラート1951-1957
2月	和歌山ゆかりの作家たち	7月	日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト4
4月	1994年度新収蔵作品展	8月	熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展
4月	ヴィクトリア&アルバート美術館展 イギリス絵画の350年	9月	サンフランシスコ近代美術館展
7月	村井正誠展 色とかたちと心ー人間の詩	11月	川口軌外展 ある洋画家の軌跡
8月	美術館に行ったよ!ー風景ってなあにー	12月	越境する想像力 素材との出会い
9月	保田春彦展	2月	コレクションにみる 芸術と社会
10月	野田裕示近作展	4月	田中恭吉展
1996年		5月	定規とコンパス? 幾何学図形と美術の表現
1月	線画の世界ーかたりの表現ー	7月	印象派の巨匠 シスレー展 イル・ド・フランスの光を愛して
2月	ひかる・うごく・おとがする	9月	東欧絵本の世界展 国境を越える子どものためのアート
4月	「絵画」というしきみ	11月	現代版画の軌跡 ゆめとめざめ
6月	紀伊半島を歩いて ロジャー・アックリング&ハミッシュ・フルトン	12月	日本の近代版画4 コレクション・ダイジェスト
8月	モスクワ、プーシキン美術館名作展 ー室内への視線ー	2月	版画今昔
9月	ホックニーのグリム童話	4月	夢の世界のおくりもの アンデルセン童話・絵本原画展
11月	日本のグラフィックデザイン	5月	うごけば、かわる。
1997年		8月	宇佐美圭司・絵画宇宙
1月	和歌山の版画家10人	9月	浜口陽三へのオマージュ
3月	新しい関西の美術家たち ものとあらわれ	10月	マックス・エルンスト展
4月	美術館へ行ったよ! コレクションに見る東京	12月	一期一会 であう めでる つたえる コレクションによる全館展示
5月	美術館へ行ったよ! コレクションに見るパリ	2002年	
7月	アルザスとフランス近代美術の歩み ーストラスブール近代美術館展ー	4月	あたらしい画面をもとめて 関西の半世紀
8月	版画の技法・表現の手法	5月	「生活」を「芸術」として 西村伊作の世界
10月	マリノ・マリーニ展	7月	アンジェ美術館展
11月	アメリカの中の日本 石垣栄太郎と戦前の渡米画家たち	9月	山本容子の美術遊園地
1998年		11月	美術百科「この人のこの一点」の巻 コレクションによる全館展示
1月	心のかたち		
2月	泉茂 初期版画作品を中心に		
4月	世紀末の華 オーブリー・ビアズリー展		
5月	日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト1		
6月	日本の近代版画 コレクション・ダイジェスト2		
8月	静けさの中から 星の贈りもの		
9月	和歌山の日本画 コレクション・ダイジェスト3		
10月	意味とイメージ		

## 2003年度企画展一覧

1. はじめての美術 絵本原画の世界展  
4月12日(土)~5月25日(日)
2. チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド  
6月1日(日)~7月13日(日)
3. 黒田清輝展  
7月19日(土)~8月31日(日)
4. たがやすように  
9月13日(土)~10月26日(日)
5. 美術百科「7つの鍵」の巻 コレクションによる全館展示  
12月16日(火)~2004年4月4日(日)  
(2004年2月9日~2月16日は展示替えのため休館)

# 1.はじめての美術 絵本原画の世界展

会期：2003年4月12日(土)～5月25日(日)  
 休館日：月曜日(5月5日は開館、翌6日休館)  
 会場：展示室C  
 催：和歌山県立近代美術館、NHK和歌山放送局、NHKきんきメディアプラン  
 協力：福音館書店、和歌山こどものとも社  
 観覧料：一般810(660)円、大学生510(400)円 ( )内は20名以上の団体料金 小・中・高校生、65歳以上、障害者の方は無料  
 内容：「絵画」の観点から絵本の原画を取り上げ、多くのこどもたちが最初に触れる絵画であるとともに、伝える、物語るという、絵画の原初的な性質が現代において十分に発揮される場として、戦後の絵本史の中で高い評価を受けている「こどものとも」シリーズの絵本原画を紹介した。  
 印刷物：ポスター(B3判)  
 チラシ(A4判)  
 カタログ(A4判210頁)  
 あいさつ、p.9  
 有川幾夫「伝達する絵画」／Arikawa Ikuo, *Pictures that Communicate*, pp.11-22  
 図版／Plates, pp.25-132  
 土方朋司「画家と絵本」pp.133-138  
 原田敦子〔編〕「インタビュー抄録」  
 太田大八 pp.140-146  
 小野かおる pp.147-154  
 佐藤忠良 pp.155-160  
 長新太 pp.161-169  
 なかのひろたか pp.170-177  
 山本忠敬 pp.178-185  
 山脇百合子 pp.186-191  
 松井直 pp.192-201  
 作品目録 pp.202-209  
 案内ハガキ  
 出品目録(A4判8頁)  
 関連事業：講演会とギャラリートーク「こどものとも」初期の作家たち 4月19日(土)午後2時より 美術館2階ホールおよび展示室  
 講師：松井直氏(こどものとも初代編集長 福音館書店相談役)  
 出展絵本のおはなし会 会期中の土曜日(4月19日を除く) 協力：おはなしころころ、さいちご、もこもこ(おはなしボランティアグループ)、NPO和歌山芸術文化支援協会  
 おと・えほん でっかい絵本をみんなでつくろうよ。 5月5日(月・こどもの日)9時30分受付 美術館屋外スペース  
 企画協力：NPO和歌山芸術文化支援協会  
 学芸員によるミュージアム・トーク 4月27日(日)／5月11日(日)午後2時より 浜田拓志学芸課長  
 関連記事・報道：「『絵本絵画の世界』展 321点を展示」紀伊民報、2003.3.29、6面  
 「絵本原画の魅力ふんだんに 近代美術館特別企画展 作家30人321作品紹介」ニュース和歌山、2003.4.9、6面  
 「はじめての美術『絵本原画の世界展』わかやま新報、2003.4.10、5面  
 「初めての『絵画』絵本原画の世界」朝日新聞、2003.4.11、29面  
 「こどものともシリーズを中心に はじめての美術 絵本原画の世界」ニュース和歌山増刊、2004.4.11、6面  
 「和歌山で絵本の原画展示」読売新聞、2003.4.13、31面  
 「『絵本原画の世界展』始まる」わかやま新報、2003.4.13、7面  
 「はじめての美術・絵本原画の世界」産経新聞、2003.4.15、27面

奥村一郎「はじめは誰でも絵本から」『ラジオ 県民マイク』和歌山放送、2003.4.19、14:30～  
 「絵本原画の世界展」紀伊新聞、2003.4.21  
 「はじめての美術『絵本原画の世界展』」わかやま新報、2003.4.23、4面  
 「絵本原画の世界展 170人が熱心に聴き入る 松居直さん迎え講演会とギャラリートーク」わかやま新報、2003.4.24、6面  
 「大きな絵本」を描く 毎日新聞、2003.5.8、20面  
 「こどものとも」シリーズなど絵本原画の展覧会 きのかわトーキュース、2003.4.4、2面  
 「はじめての美術・絵本原画の世界」『季刊ポテトチップス』No.29(2003年春～夏号)p.13  
 「はじめての美術・絵本原画の世界展」「びあ関西版」2003.5.6(通巻516号)、p.69；2003.5.19(通巻517号)、p.177  
 「はじめての美術・絵本原画の世界展」「エルマガジン」2003.6(通巻325号)、p.127  
 「はじめての美術『絵本原画の世界展』」「PREJA」2003.6(通巻10号)、p.105  
 「はじめての美術 絵本原画の世界」「Key」2003.5(通巻107号)、p.94

担当学芸員：浜田拓志、奥村一郎



ポスター



チラシ表



チラシ裏



案内ハガキ



案内ハガキ



カタログ



出品目録



会場風景

No	作者名	作品名	技法、素材	発表、制作年	寸法(cm)	所蔵
1	秋野 不矩	『ちいさなないこ』(松岡享子原作)	紙、岩彩、インク、墨、鉛筆	「ことのとも」221号(福音館書店)1974年8月		
2	朝倉 振	『てんぐのかくれみの』(岡本良雄案)	和紙、岩彩、コラージュ	「ことのとも」6号(福音館書店)1956年9月		
3	池田 龍雄	『三びきのやぎのがらがらどん』(瀬田貞二訳)	紙、水彩、インク、鉛筆、色鉛筆	「ことのとも」38号(福音館書店)1959年5月		
4	大沢 昌助	『クリスマスのまのばん』(クレメント・ムーア作/渡辺茂男訳)	紙、水彩、鉛筆、色鉛筆	「ことのとも」45号(福音館書店)1959年12月		
5	太田 大八	『びんぼうこひと』(内田莉莎子再話)	行ストレーチンボード、水彩、インク	「ことのとも」178号(福音館書店)1971年1月		
6	太田 大八	『だいちゃんとうみ』(太田大八作)	紙、水彩、パステル	「ことのとも」281号(福音館書店)1979年8月		
7	太田 大八	『からうのたまこのおけい』(エバ・ザンビーナ作/内田莉莎子訳)	紙、水彩、パステル、インク	「ことのとも」349号(福音館書店)1985年4月		
8	荻 太郎	『こうさぎのクリスマス』(松野正子作)	紙、水彩、パステル、インク、油彩、色鉛筆	「ことのとも」249号(福音館書店)1976年12月		
9	小野 かおる	『オンロックがやってくる』(小野かおる作)	紙、水彩、パステル	「ことのとも」63号(福音館書店)1961年6月		
10	小野 かおる	『とんだトロップ』(小野かおる作)	紙、水彩、インク	「ことのとも」84号(福音館書店)1963年3月		
11	小野 かおる	『ごろびか ピーン』(小野かおる作)	キャンバス、油彩	「ことのとも」520号(福音館書店)1999年7月		
12	桂 ゆき	『ひらちやんのけっこ』(ペラヘルド原作/木島始文)	紙、アクリル	「ことのとも」180号(福音館書店)1971年3月		
13	坂本 直行	『かいたくちのみゆきちゃん』(水口健作)	紙、水彩、パステル、マーカー	「ことのとも」44号(福音館書店)1959年11月		
14	佐藤 忠良	『やまなしもぎ』(平野直実)	紙、水彩、鉛筆	「ことのとも」42号(福音館書店)1959年9月		
15	佐藤 忠良	『おおきなかぶ』(内田莉莎子訳)	紙、水彩、インク、コント、クレヨン	「ことのとも」74号(福音館書店)1962年5月		
16	佐藤 忠良	『ハシヤガーのしらいとり』(内田莉莎子再話)	紙、水彩、鉛筆、色鉛筆、パステル	「ことのとも」212号(福音館書店)1973年11月		
17	田島 征三	『だいふくもち』(田島征三作)	紙、泥絵具	「ことのとも」239号(福音館書店)1976年2月		
18	長 新太	『三びきのライオンのこ』(今江祥智作)	紙、水彩、鉛筆、色鉛筆	「ことのとも」60号(福音館書店)1961年3月		
19	長 新太	『たいへんたいへん』(渡辺茂男訳)	紙、カラーインク	「ことのとも」145号(福音館書店)1968年4月		
20	長 新太	『てぶくろうすけ』(川崎洋作)	紙、カラーインク	「ことのとも」203号(福音館書店)1973年2月		
21	長 新太	『なんじやもんじやはかせのおべんとう』(長新太作)	紙、水彩、インク	「ことのとも」453号(福音館書店)1993年12月		
22	寺島 龍一	『あふりかのかのこ』(瀬田貞二作)	紙、水彩、インク、鉛筆	「ことのとも」77号(福音館書店)1962年8月		
23	富山 妙子	『クリスマスのはし』(上沢謙二案)	紙、水彩、パステル、鉛筆、コラージュ	「ことのとも」105号(福音館書店)1964年12月		
24	永井 保	『ねずみのおいしゃさま』(中川正文作)	紙、水彩、鉛筆	「ことのとも」11号(福音館書店)1957年2月		
25	中谷 千代子	『ジオジオのかんむり』(岸田衿子作)	キャンバスボード、油彩	「ことのとも」52号(福音館書店)1960年7月		
26	中谷 千代子	『かばくん』(岸田衿子作)	キャンバス、紙、油彩、水彩、インク	「ことのとも」78号(福音館書店)1962年9月		
27	中谷 千代子	『らいおんはしつ』(工藤直子作)	キャンバスボード、油彩、インク	「ことのとも」300号(福音館書店)1981年3月		
28	なかの ひろたか	『ちゅうちんあんこう』(なかのひろたか作)	紙、カラーインク	「ことのとも」126号(福音館書店)1966年9月		
29	なかの ひろたか	『ひとりばっちのりんごのき』(三原佐知子作)	イラストレーションボード、カラーインク	「ことのとも」289号(福音館書店)1980年4月		
30	なかの ひろたか	『ゆうちゃんとめんどくさいサイ』(西内みなみ作)	ケント紙、水彩、インク	「ことのとも」309号(福音館書店)1981年12月		
31	西巻 茅子	『けいこちゃん』(あまんきみこ作)	紙、水彩	「ことのとも」326号(福音館書店)1983年5月		
32	西巻 茅子	『ケンカオニ』(富安陽子文)	紙、行ストレーチンボード、パステル、水彩	「ことのとも」481号(福音館書店)1996年4月		
33	羽根 節子	『かわいいめんどり』(木島始作)	イラストレーションボード、水彩、パステル、インク	「ことのとも」136号(福音館書店)1967年7月		
34	稗田 一穂	『しらさぎのくるむら』(いぬいとみこ作)	紙、岩彩	「ことのとも」31号(福音館書店)1958年10月		
35	土方 久功	『おおきなかぬー』(大塚勇三再話)	紙、水彩、インク、鉛筆	「ことのとも」82号(福音館書店)1963年1月		
36	土方 久功	『ゆかいなさんば』(土方久功作)	紙、インク、色鉛筆、鉛筆	「ことのとも」116号(福音館書店)1965年11月		
37	土方 久功	『ふたぶたくんのおかいもの』(土方久功作)	紙、水彩、インク、鉛筆	「ことのとも」175号(福音館書店)1970年10月		
38	堀 文子	『はなどあそんでたみこちゃん』(寺田準一作)	紙、水彩、パステル、コラージュ	「ことのとも」25号(福音館書店)1958年4月		
39	三芳 悅吉	『もりのむしとはらのむし』(中根彦彦監修)	紙、水彩、色鉛筆、インク	「ことのとも」124号(福音館書店)1966年7月		
40	村山 知義	『しんせつなともだち』(方軒聰作 烏島久子訳)	紙、水彩	「ことのとも」109号(福音館書店)1965年4月		
41	山下 萩二	『みみねなれ』(さかのひる原話 Sarah Ann Nishie 英訳)	紙、サグラフ、コラージュ、ガッシュ	「ことのとも」40号(福音館書店)1959年7月(「ことのとも」傑作集1967年3月)		
42	山田 三郎	『きつねとねずみ』(ピアンキ作 内田莉莎子訳)	紙、水彩、インク	「ことのとも」27号(福音館書店)1958年6月		
43	山中 春雄	『てんぐのこま』(岸なみ編)	紙、水彩、鉛筆	「ことのとも」30号(福音館書店)1958年9月		
44	山本 忠敬	『ビー、うみへいく』(瀬田貞二作)	紙、ポスターカラー	「ことのとも」91号(福音館書店)1963年10月		
45	山本 忠敬	『しょうぼうじどうしゃじぶた』(渡辺茂男作)	紙、ポスターカラー、インク	「ことのとも」267号(福音館書店)1978年6月		
46	山本 忠敬	『でんしゃがはる』(山本忠敬作)	イラストレーションボード、カラーインク	「ことのとも」93号(福音館書店)1963年12月		
47	おねむら ゆりこ	『ぐりとぐら』(中川李枝子文)	紙、水彩、インク	「ことのとも」277号(福音館書店)1979年4月		
48	山脇 百合子	『ぐりとぐらのえんそく』(中川李枝子文)	紙、水彩、インク	PHP研究所1985年		
49	山脇 百合子	『よもぎのはらのおともだち』(あまんきみこ作)	紙、水彩、インク、色鉛筆	「ことのとも」86号(福音館書店)1963年5月		
50	横内 裕	『ちいさなねこ』(石井桃子作)	イラストレーションボード、水彩、鉛筆			
関連作品						
51	池田 龍雄	空中棲閣	紙、インク、水彩	1952	30.8×22.7	練馬区立美術館
52	池田 龍雄	夜	紙、インク他	1953	30.8×24.5	練馬区立美術館
53	大沢 昌助	公園	キャンバス、油彩	1948	97.1×130.0	練馬区立美術館
54	桂 ゆき	婦人の日	キャンバス、油彩	1953(第2回日本国際美術展)	117.1×91.3	宮城県美術館
55	佐藤 忠良	夏のこども	ブロンズ	1968(第32回新制作展)	107.5×39.0×31.5	宮城県美術館
56	中谷 千代子	デッサン	紙、鉛筆		27.0×35.2	宮城県美術館
57	中谷 千代子	デッサン	紙、鉛筆		27.0×35.2	宮城県美術館
58	中谷 千代子	デッサン	紙、鉛筆		26.3×35.2	宮城県美術館
59	山下 萩二	顔の中の鳥	紙、ペン、ガッシュ	1963	40.5×28.5	宮城県美術館

## 2.チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド

会 休 会 主 後 協 企 画 協 觀 内  
 期：2003年6月1日(日)～7月13日(日)  
 館 日：月曜日  
 場：展示室C  
 催：和歌山県立近代美術館  
 援：チェコ大使館、日本チェコ協会  
 力：プラハ市民会館、カトーレック株式会社  
 力：I.D.F.  
 料：一般810(660)円、大学生510(400)円 ( )内は20名以上の団体料金 小・中・高校生、65歳以上、障害者の方は無料  
 容：20世紀はじめに「ロボット」という言葉を創りだし、「ダーシエンカ」、「園芸家の12ヶ月」、「マサリクとの対話」などのエッセイや文学で日本でも多くのファンを持つチェコの国民的作家カレル・チャペック(1890～1938)と、その兄でキュビズムの画家として知られるヨゼフ・チャペック(1887～1945)兄弟の多岐にわたる創作の跡を辿るとともに、同時代のチェコ・アヴァンギャルドの作家たちの手がけた装丁本により、20世紀前半の中欧域における前衛美術運動の一断面を紹介した。  
 印 刷 物：ポスター(B2判) デザイン：渡辺和雄  
 チラシ(A4判) デザイン：渡辺和雄  
 カタログ(B5変形判、288頁)  
 酒井忠康「あいさつにかえて」／Tadayasu SAKAI, *Message*, pp.5-11  
 カレル・ジェブラコフスキ「メッセージ」／Karel Žebrákovský, *Poselství*, pp.12-13  
 ヤロスラフ・ドスター「メッセージ」／Jiří Dostál, *Poselství*, pp.14-15  
 ソニヤ・シャインブルゴヴァー「メッセージ」／Soňa Scheinpflugová, *Poselství*, pp.16-17  
 ブランカ・ステフリコヴァー「チャペック兄弟とチェコ文化—ふたつの世界大戦のあいだで」pp.21-24  
 アレナ・ポマイゾロヴァー「ヨゼフ・チャペック、作品とチェコ・アヴァンギャルド」pp.25-31  
 第I部 チャペック兄弟 pp.33-111  
 粿山昌夫「カレルチャペックの戯曲『R.U.R.』の日本における紹介と初演をめぐって—築地小劇場舞台装置についての再考—」  
 pp.112-117  
 西野嘉章「チェコ・モダニズムの光芒—トランスクアヴァンギャルド芸術運動小史」pp.118-143  
 第II部 チェコ・アヴァンギャルド pp.145-192  
 粿山昌夫〔編〕「関連年表」pp.194-197  
 粿山昌夫〔編〕「主要作家・団体解説」pp.198-201  
 井上芳子〔編〕「チャペック兄弟 邦語文献目録」pp.202-216  
 西野嘉章〔編〕「チェコ・アヴァンギャルド文献抄録(発行年順)」pp.217-218  
 ヨゼフ・チャペック「本の表紙の作り方」pp.220-222  
 イジー・コタリーク「ヨゼフ・チャペックによる本の表紙」pp.223-228  
 カレル・タイゲ「モダンなタイポグラフィ」pp.229-236  
 Blanka Stehlíková, *The Čapek Brothers in Czech Culture: Between the World Wars*, pp.238-241  
 Alena Pomajzlová, *The Works of Josef Čapek and Czech Avant-gardes*, pp.242-247  
 Masao MOMIYAMA, *The First Introduction of Karel Čapek's Drama R.U.R. to Japan and Its First Performance in Japan: Reconsideration of Stage Settings in Tsukiji Small Theater*, pp.248-251  
 Yoshiaki NISHINO, *Czechoslovak Modernism as a "Trans-Avant-garde" Movement of Arts [Summary]*, pp.252-254  
 作品リスト／List of Works, pp.255-285  
 関連事業：ミュージアム・トーク 6月8日(日)午後2時～3時 井上芳子学芸員  
 関連記事・報道：「特別企画展 チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド」わかやま新報、2003.5.22、5面  
 「チェコの『チャペック兄弟展』作家・カレル(弟)と画家・ヨゼフ(兄)の作品」毎日新聞、2003.5.25、22面  
 「チャペック兄弟の装丁中心に 20世紀初頭チェコ芸術」朝日新聞、2003.5.31、29面

「チャペック」紀伊新聞、2003.6.1、1面  
 「チャペック兄弟とチェコの前衛芸術」ニュース和歌山、2003.5.24、6面  
 「チャペック兄弟の世界」読売新聞、2003.6.5、28面  
 「展覧会」ニュース和歌山増刊、2003.6.13、5面  
 「ロボット」を生んだ作家— チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド」リビング和歌山、2003.6.21、11面  
 「Warmth in a harsh world from the Capek brothers」THE DAILR YOMIURI、2003.6.25、16面  
 「チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド「ロボット」を生んだ作家と国の、慎ましやかな芸術」中外日報、2003.7.3  
 「チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド」展」産経新聞、2003.6.25、6面  
 「近代美術館のチャペック展」ニュース和歌山、2003.6.25、4面  
 「ロボット」を生んだ作家と国の、慎ましやかな芸術 チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド展」『SAVVY』2003.7月号  
 (通巻307号)、p.154  
 「チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド」『びあ関西版』2003.6.16(通巻519号)、p.85; 2003.6.30(通巻520号)、p.199  
 「チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド「ロボット」を生んだ作家と国の、慎ましやかな芸術—「関西ウォーカー」、  
 2003. No.13、p.185  
 「チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド「ロボット」を生んだ作家と国の、慎ましやかな芸術」『Key』、2003.6月号(通  
 卷108号)、p.92  
 「近代美術館へ行こう!」『アガサス』、2003.7月号(通巻286号)、p.85

担当学芸員: 井上芳子

#### 出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法、素材	備考
1		《自画像》	1913	油彩、カンヴァス	
2		《別れ》	1913-14	油彩、カンヴァス	
3		《カレル・チャペックの肖像》	1915	油彩、カンヴァス	
4		《娼婦》	1917	油彩、カンヴァス	
5		『10枚のグラフィック・アルバム』、グラフィック・アルバム2	1918	1~6 リノカット、紙/7~10 リトグラフ、紙	
6		『8枚のリノカット』、ドブレー・デーロ61	1919	リノカット、紙	
7		『チャエルヴェン(6月)』のためのリノカット	1921	リノカット、紙	
8-a・b	トリスタン・コルビエール	『アルモール』初版、『詩集』3	1922	表紙、扉、挿絵(7点)	
9	トマス・ド・クインシー	『レヴァナと悲しみの聖母』初版	1927	表紙、扉、挿絵(13点)	
10	カレル・チャペック	『園芸家の1年』(1929)のための挿絵原画		ペン、紙	
11	カレル・チャペック	『カレル・チャペックとミンダ』(1930)のための挿絵原画		ペン、紙	
12	カレル・チャペック	『9つのお話』より「郵便屋さんの話」(1932)のための挿絵原画		ペン、紙	
13	カレル・チャペック	『9つのお話』より「長い長いおまわりさんの話」(1932)のための挿絵原画		ペン、紙	
14	カレル・チャペック	『9つのお話』より「王女さまと子ねこの話』(1932)のための挿絵原画		ペン、紙	
15	カレル・チャペック	『何がどう作られるか』より「映画を作る』(1938)のための挿絵原画		ペン、紙	
16	カレル・チャペック	『取り付け職人たち』(1929)のための挿絵原画		ペン、紙	
17	スタニスラフ・コストカ・ノイマン	『女神・聖女・女』初版	1915	口絵	
18	フランツ・ブフェムフェルト	『チェコの若き詩人たち』初版	1916	表紙	
19	スタニスラフ・コストカ・ノイマン	『暑い風——詩集1911-1914』初版	1918	表紙、口絵	
20	スタニスラフ・コストカ・ノイマン	『新しい歌——詩集1911-1914』初版	1918	挿絵(1点)	
21	ギヨーム・アボリネール	『パースモ(ゾーン)』初版	1919	表紙、扉、挿絵(13点)	
22	ジョルジュ・デュアメル	『殉教者の列伝』初版	1919	表紙、挿絵、(1点)	
23	ヨゼフ・チャペック	『最も慎ましやかな芸術』初版アヴァンティヌム叢書17	1920	表紙、扉、挿絵(15点)	

No.	作者名	作品名	制作年	技法、素材	備考	
					出品リスト	作品名
24	カレル・チャペック	『新時代のフランス詩』初版	1920		表紙	
25	カレル・チャペック	『言葉の批評』初版、クリカ・コレクション1	1920		表紙	
26	カレル・チャペック	『盗賊』初版、アヴァンティヌム叢書10	1920		表紙、扉、舞台衣、ヴィネット(3点)	
27	カレル・チャペック	『R.U.R.(ロボット)』初版、アヴァンティヌム叢書25	1920		表紙、出版社マーク、扉	
28	ヘレナ・チャブコヴァー	『小さな女の子』初版、アヴァンティヌム叢書14	1920		表紙、出版社マーク、扉	
29	ベトル・クロボトキン	『若い人々』初版、チャエルヴェン叢書10	1920		表紙、アントワーヌ・マーク	
30	ヨゼフ・ネマスター	『赤い雄鶲』初版、ブシェロト叢書1	1920		表紙、出版社マーク	
31	スタニスラフ・コストカ・ノイマン	『人生万歳』初版、チャエルヴェン叢書8	1920		表紙、挿絵(14点)	
32	ジユール・ロマン	『ヴィレット河岸』初版	1920		表紙	
33	オタカル・シュトルフニマリエン	『騒がしい静寂、その他の話』初版、アヴァンティヌム叢書12	1920		表紙、出版社マーク、扉、挿絵(1点)	
34	カレル・チャペック	『ペトル・フレチハ師』初版、シンポジオン叢書2	1921		表紙、出版社マーク	
35	カレル・チャペック	『R.U.R(ロボット)』第2版、アヴァンティヌム叢書25	1921		表紙、扉	
36	チャペック兄弟	『苦惱に満ちた物語』初版、アヴァンティヌム叢書35	1921		表紙、扉、挿絵(17点)	
37	ジョルジュ・デュアメル	『虫の生活』初版、アヴァンティヌム叢書43	1921		表紙、出版社マーク	
38	ジョルジュ・デュアメル	『光明』初版、「今日の本」2	1921		表紙、扉	
39	ジョルジュ・デュアメル	『3つの対話』初版、「今日の本」5	1921		表紙	
40-a・b	ギュスターヴ・フローベール	『聖アントワーヌの誘惑』初版、シンポジオン叢書1	1921		表紙、出版社マーク	
41	インドジフ・ホジェイシー	『広場の音楽』初版	1921		表紙、見返し、出版社マーク、挿絵(3点)	
42	スタニスラフ・コストカ・ノイマン	『絶望者たちの夢』初版、アヴァンティヌム叢書32	1921		表紙、出版社マーク	
43	ラシルド	『血塗れの皮肉』初版、「今日の本」3-4	1921		表紙、出版社マーク	
44	ジユール・ロマン	『ある男の死』初版、「今日の本」1	1921		表紙、出版社マーク	
45	カレル・チャペック	『盜賊』第2版、アヴァンティヌム叢書10、「カレル・チャペック劇場」1	1922		表紙、舞台衣、出版社マーク、ヴィネット	
46	カレル・チャペック	『R.U.R(ロボット)』第4版、アヴァンティヌム叢書25、「カレル・チャペック劇場」2	1922		表紙、出版社マーク	
47	カレル・チャペック	『絶対子工場』初版	1922		表紙、扉、挿絵(20点)	
48	カレル・チャペック	『マクロプロス事件』初版、アヴァンティヌム叢書57、「カレル・チャペック劇場」3	1922		表紙、出版社マーク	
49	カレル・チャペック	『W.U.R(ロボット)』ドイツ語初版	1922		表紙	
50	ヘレナ・チャブコヴァー	『ゆりかご』初版、アヴァンティヌム叢書48	1922		表紙、出版社マーク、扉、ヴィネット(13点)	
51	チャペック兄弟	『運命劇——愛』初版、アヴァンティヌム叢書52	1922		表紙、扉	
52	チャペック兄弟	『虫の生活』第2版、アヴァンティヌム叢書43	1922		表紙、扉、挿絵、(17点)	
53	アナトール・フランス	『皿洗いジャコブの話』初版、シンポジオン叢書4	1922		表紙、扉	
54	チェストミール・イエジャーベク	『マクシムス・サーラス』初版、アトム叢書9	1922		表紙	
55	ヴラジーミル・コロレンコ	『夜話』初版、ノヴィナ叢書3	1922		表紙、出版社マーク	
56	フィリップ・トンマーゾ・マリネット	『解き放たれた言葉(未来派自由語)』第2版、アトム叢書6	1922		表紙	
57	ボフスラフ・レイネック	『魚鱗』初版、「詩集」2	1922		表紙、扉、挿絵(43点)	
58	カレル・シャインフルク	『海』初版、ヴルタヴァ叢書8	1922		表紙	
59	フラーニヤ・シュラーメク	『川の上の月』初版、オボナ叢書5	1922		表紙	
60	ヨゼフ・チャペック	『多くのことについて少々』初版、アヴァンティヌム叢書72	1923		表紙、出版社マーク	
61	ヨゼフ・チャペック	『多くの名をもつ国』初版、アヴァンティヌム叢書62	1923		表紙、扉	
62	ヨゼフ・チャペック	『多くの名をもつ国』第2版、アヴァンティヌム叢書62	1923		表紙、出版社マーク	
63	カレル・チャペック	『イタリア便り』初版、アヴァンティヌム叢書68	1923		表紙、出版社マーク	
64	カレル・チャペック	『マクロプロス事件』第3版、アヴァンティヌム叢書57、「カレル・チャペック劇場」3	1923		表紙、出版社マーク	
65	イジー・ハウスマン	『内乱』初版	1923		表紙、出版社マーク	
66	ヤン・ウーアーツラフ・ロスレク	『ローズマリー』初版、アヴァンティヌム叢書74	1923		表紙	
67	フラーニヤ・シュラーメク	『6月』第2版、ロウカ叢書18	1923		表紙	
68	フラーニヤ・シュラーメク	『泣いているサテュロス』初版、オボナ叢書9	1923		表紙	
69	シャルル・ヴィルドラック	『発見』初版、「今日の本」8	1923		表紙、扉	
70	ヨゼフ・チャペック	『人造人間』初版、アヴァンティヌム人民文庫4	1924		挿絵(40点)	
71	カレル・チャペック	『イギリス便り』初版、アヴァンティヌム叢書91	1924		表紙、扉	
72	カレル・チャペック	『キリストの受難像』第2版、アヴァンティヌム叢書83	1924		表紙、扉	
73	カレル・チャペック	『イタリア便り』第2版、アヴァンティヌム叢書68	1924		表紙、扉	
74	カレル・チャペック	『クラカチット』初版、アヴァンティヌム叢書75	1924		表紙、扉	
75	カレル・チャペック	『クラカチット』第2版、アヴァンティヌム叢書75	1924		表紙、扉	
76	カレル・チャペック	『盗賊』第3版、アヴァンティヌム叢書10「カレル・チャペック劇場」1	1924		表紙、扉、挿絵(1点)	
77	カレル・チャペック	『R.U.R(ロボット)』第6版、アヴァンティヌム叢書25、「カレル・チャペック劇場」2	1924		表紙	
78	カレル・チャペック	『R.U.R(ロボット)』ロシア語初版	1924		表紙	
79	フラーニヤ・シュラーメク	『判決』初版、アヴァンティヌム叢書95	1924		表紙	
80	フラーニヤ・シュラーメク	『ビードの人生、それでもおまえを愛す』初版	1924		表紙	
81	アンリ・ペロー	『毒舌月評』初版、「潮流」24	1925		表紙	
82	コンスタンチン・ビーブル	『バグダッドからの盗賊』初版、ヒュペリオーン新書1	1925		表紙	
83	フランシス・カルコ	『仲間』初版、「潮流」17	1925		表紙	
84	カレル・チャペック	『イギリス便り』第2版、アヴァンティヌム叢書91	1925		表紙、扉	
85	カレル・チャペック	『イギリス便り』第3版	1925			

## 出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法、素材	備考	No.	作者名	作品名	制作年	技法、素材	備考
88	カレル・チャベック	『最も身近な物事について』初版、アヴェンティヌム叢書119	1925	表紙、扉 表紙、扉、挿絵(20枚)		147	カレル・チャベック	マホニア	1930-32		
89	カレル・チャベック	『絶対子工場』第2版、アヴェンティヌム叢書99	1925	表紙		148	カレル・チャベック	西洋ヒイラギ	1930-32		[犬と動物たち]
90	カレル・チャベック	『マクロプロス事件』第3版、アヴェンティヌム叢書57、「カレル・チャベック劇場」3	1925	表紙		149	カレル・チャベック	心身に良い眠り	1932以前		
91	ルシアン・ファーブル	『ラベヴェルあるいは野生の魂の痛み』初版、「潮流」26	1925	表紙		150	カレル・チャベック	足下のダーシエンカ	1932以前		
92-a・b	ディヴィッド・ガーネット	『動物園の男』初版、「潮流」12	1925	表紙ほか		151	カレル・チャベック	最初は掌に収まる	1932以前		
93	ディヴィッド・ガーネット	『狐になった貴婦人』初版、「潮流」10	1925	表紙		152	カレル・チャベック	大小屋の横のリスとダーシエンカ	1932以前		
94	アダム・ギン	『超人ヴィクトル・ドロの困難』初版、バブルセツク叢書6	1925	表紙、口絵、扉 表紙、扉		153	カレル・チャベック	鏡の前のダーシエンカ	1932以前		
95	ヨゼフ・ホラ	『覚醒』初版、アヴェンティヌム叢書106	1925	表紙		154	カレル・チャベック	大きくなつたでしょ!	1932以前		
96	チェストミール・イエジャーベック	『十字架の上の博愛主義者』初版、「潮流」18	1925	表紙		155	カレル・チャベック	簪に勝った	1932以前		
97	フランチシェク・ランゲル	『夜』初版	1925	表紙		156	カレル・チャベック	簪と闘うダーシエンカ	1932以前		
97-bis		『夜』のためのリノカット原版	1925	表紙		157	カレル・チャベック	珍しいシャッター・チャンス	1932以前		[人物]
98	ヤン・ヴァーツラフ・ロスレク	『アフリカの香り』初版、バブルセツク叢書7	1925	表紙		158	カレル・チャベック	マサリク大統領I	1930		
99	エミル・ヴァヘク	『世界の王』初版、「潮流」16	1925	表紙		159	カレル・チャベック	マサリク大統領II	1930		
100	エミル・ヴァヘク	『アブサン酒場の婚礼』初版、ロズマル叢書1	1925	表紙		160	カレル・チャベック	じょうろを持つフランチシェク・ランゲル	1930		
101	コンスタンチン・ビーブル	『金の鎖』初版	1926	表紙、出版社マーク、扉、挿絵(20枚)		161	カレル・チャベック	独言をいうフランチシェク・ランゲル	1930		
102	コンスタンチン・フェーシン	『都市と歳月』初版、新ロシア叢書1	1926	表紙		162	カレル・チャベック	ヨゼフ・パリヴェツ	1930		
103	ハーヴェイ・ファーガソン	『米連邦議会議事堂』初版、「潮流」28	1926	表紙		163	カレル・チャベック	経済学教授ヨゼフ・マツエク	1930		
104	アドルフ・ホフマイステル	『南回帰線』初版、アヴェンティヌム叢書122	1926	表紙、扉		164	カレル・チャベック	作家ヨゼフ・コブタ	1930		
105	ヨゼフ・コブタ	『路線番 No.47』初版、「潮流」30	1926	表紙		165	カレル・チャベック	フランスの作家ジョルジュ・デュアメルとふたりの女性	1931		
106	フランチシェク・クプカ	『ドッペルゲンガーと夢』初版、アヴェンティヌム叢書124	1926	表紙、扉		166	カレル・チャベック	女優・作家オルガ・シャインブルゴヴァー	1930		
107	フランチシェク・ランゲル	『郊外短編集』初版	1926	表紙		167	カレル・チャベック	地下室から這い出るヨゼフ・チャベック	1930		
108	ローズ・マコーリー	『危険な老齢』初版	1926	表紙		168	カレル・チャベック	木箱(作品を入れた)に釘を打つヨゼフ・チャベック【オラヴァ地方】	1930		
109	ピエール・マッコルラン	『国際的ヴィーナス』初版	1926	表紙		169	カレル・チャベック	農場への入り口	1930		
110	アンリ・ド・モンテルラン	『剣の陰の樂園』初版、「今日の本」15	1926	表紙、扉		170	カレル・チャベック	山にいる羊の群れ	1930		
111	オットマール・シェーファー	『闘牛士』初版、スルツツェ・ザビヤーク叢書2	1926	表紙		171	カレル・チャベック	写真家の影と山小屋	1930		
112	W.B.ハイエーツ	『赤毛のハンラハン物語』初版、「今日の本」13	1926	表紙		172	カレル・チャベック	高地地方の人【オランダと北欧への旅】	1930		
113	カレル・チャベック	『イギリス便り』第4版、アヴェンティヌム叢書91	1927	表紙、扉		173	カレル・チャベック	海に浮かぶヨット	1931以降		
114	カレル・チャベック	『言葉の批評』第2版、アヴェンティヌム叢書162	1927	表紙、扉		174	カレル・チャベック	牛と風車	1931以降		
115	カレル・チャベック	『最も身近な物事について』第2版、アヴェンティヌム叢書119	1927	表紙、扉		175	カレル・チャベック	救命ボートの作家たち	1931以降		
116	ルイ・エモン	『盲目の老女の遊び』初版	1927	表紙、扉		176	カレル・チャベック	フィヨルドのオルガ・シャインブルゴヴァー	1936		
117	ジェロウム・クラップカ・ジェロウム	『すべての道はゴルゴダへと通ず』初版	1927	表紙		177	カレル・チャベック	オルガ・シャインブルゴヴァーとカレル・チャベック船長とカレル・シャインブルグ	1931以降		
118	エドモント・コンラート	『家庭の出来事』初版、アヴェンティヌム叢書152	1927	表紙、扉							
119	ヨゼフ・コブタ	『人々と物たちの劇』初版	1927	表紙							
120	ピエール・マッコルラン	『淀んだ波止場』初版、「今日の本」17	1927	表紙、扉		178	カレル・チャベック	『ダーシエンカあるいは子犬の生活』初版【表紙:カレル・タイゲ】	1933		
121	A.C.ノル	『金策の旅』初版	1927	表紙、扉							
122	カレル・ポラーチェク	『吾らの周りで』初版	1927	表紙							
123	フランニヤ・シュラーメク	『春のさすらい人』初版	1927	表紙							
124	チャベック兄弟	『創造者アダム』第3版、アヴェンティヌム叢書160	1927	表紙、扉							
125	カレル・チャベック	『イギリス便り』第6版、アヴェンティヌム叢書91	1928	表紙							
126	ヘレナ・ドヴォジャー・コヴァー	『戸惑い』初版、ジヴェー・クニヒ叢書19	1928	表紙		1	エミル・フィラ	《円のある構成》	1913	リノカット、紙	
127	エドモント・コンラート	『巨人』初版、アヴェンティヌム叢書194	1928	表紙、扉		2	ヴィンツェンツ・ヘネシュ	《キュビズム風リノカット》	1916	リノカット、紙	
128	フランチシェク・ランゲル	『グランドホテル・ネヴァグ』第2版、アヴェンティヌム叢書155	1929	表紙		3	ヴァーツラフ・シュバーラ	《秋》	1920	リノカット、紙	
129	ヤロスラフ・サイフェルト	『ライスカー公園の上の星』初版、「良書」62	1929	表紙		4	カレル・タイゲ	《サイフェルトの肖像》	1921	リノカット、紙	
130	オルガ・シャインブルゴヴァー	『愛がすべてではない』第2版、アヴェンティヌム叢書246	1929	表紙		5	ヨゼフ・ザマザル	《イジー・ウォルケル追悼》	1923	木版、紙	
131	カレル・チャベック	R.U.R.【ロボット】第8版、アヴェンティヌム叢書25、チャベック兄弟選集10	1929	表紙		6	オスカル・ベルゲル	《ヨゼフ・チャベックの肖像》	1924	鉛筆、紙	
132	ヨゼフ・チャベック	『羊齒の陰』初版、アヴェンティヌム叢書254	1930	表紙		7	ヤロスラフ・サイフェルト	第1詩集『涙の街』【表紙、挿絵:カレル・タイゲ】	1921		
133	ベルンハルト・ケーラーマン	『シェレンベルグ兄弟』第3版、「潮流」34	1930	表紙ほか		8	ヤロスラフ・サイフェルト	第1詩集『涙の街』第2版【表紙:カレル・タイゲ】	1923		
134	スタニスラフ・コストカ・ノイマン	『森と水と山腹の書』第3版、ノイマン選集2	1938	表紙、挿絵(8点)		9	ヤロスラフ・サイフェルト	第1詩集『涙の街』第3版【表紙:タイボグラフィ:カレル・タイゲ】	1929		
135	ラジスラフ・ステフリク	『ルーツ』初版、「チェコの詩」31	1938	表紙ほか		10	ヨゼフ・ホラ	『稼動日』、チュルヴェン叢書27【表紙、口絵:ヴァーツラフ・シュバーラ】	1922		
参考						11	カレル・シュルツ	『北・南・西・東』【表紙:カレル・タイゲ、ヤロスラフ・クリツタル】	1923		
136	カレル・チャベック	『R.U.R. (ロボット)』	1946	表紙:オタカル・ムルクヴィチ		12	ヤロスラフ・サイフェルト	詩集『ひたすらの愛』【表紙、挿絵:オタカル・ムルクヴィチ】	1923		
137	カレル・チャベック/宇賀伊津緒(訳)	『人造人間』	1923(大正12)	表紙		13	ヴィーチェスラフ・ネズヴァル	『バトマイ—詩集1922-1924年』【表紙、挿絵:イングリッシュ・シェリルスキー】	1924		
カレル・チャベック写真作品						14	ルイ・デリュク	『映画ドラマ』【表紙、タイボグラフィ:カレル・タイゲ】	1925		
138	カレル・チャベック	アフリカの黒人彫刻のある静物	1930-32			15	ヴラジーミル・マヤコフスキイ	革命叙事詩—憶五千万】アトム叢書16【訳:ボブル・マチウス、表紙、挿絵:ヴァーツラフ・マシェグ】	1925		
139	カレル・チャベック	文机の上I	1930-32			16	ヤロスラフ・サイフェルト	『無線電信の波の上で』、ホスト叢書1【表紙、タイボグラフィ:カレル・タイゲ】	1925	大阪市立近代美術館建設準備室蔵	
140	カレル・チャベック	文机の上II	1930-32			17	エミル・フランチシェク・ブリアン	『ボリディナミカ』【表紙、タイボグラフィ:ヴィート・オブルテル】	1926	大阪市立近代美術館建設準備室蔵	
141	カレル・チャベック	質素な椅子とスリッパ	1930-32			18	エミル・フランチシェク・ブリアン	学习入门書『現代ロシア音楽』小型版【表紙:イジー・フリムル】	1926	大阪市立近代美術館建設準備室蔵	
142	カレル・チャベック	靴のある静物	1930-32			19	ヴィーチェスラフ・ネズヴァル	『アーヴィングークス魔城』【表紙、外ボグライフ、フォンタージュ:カレル・タイゲ】	1926	大阪市立近代美術館建設準備室蔵	
143	カレル・チャベック	傘のある静物	1930-32頃			20	A.C.ノル	『醉譚集』【表紙:アントニーン・ヘイトウム/口絵:V.マシェク】	1926	大阪市立近代美術館建設準備室蔵	
144	カレル・チャベック	戸口の靴	1930-32			21	アドルフ・ホフマイステル	『ケ			

## 出品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法、素材	備考
25	F.X.シャルダ	『いわゆる詩作品の不死性について』[表紙、タイポグラフィ: ヴィート・オブルテル]	1928		
26	インドジフ・ホンズル	『現代ロシア演劇——マイエルホリド、タイロフ、ウフタンゴフ、グラノフスキイほか』[表紙、写真、タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1928		
28	カレル・スマルシュ	『そもそも映画はいかにして作るか?』[表紙、挿絵: オタカル・ムルクヴィチ]	1928		
29	エミル・フランチシェク・ブリアン	『黒人舞踏』、ReD入り文庫1 [表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1929		
30	ラジスラフ・ディメシュ	『もうひとつの世界へ』[表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1929		
31	ベドジフ・ヴァーツラヴェク	『混乱した詩 芸術文化社会学の研究』[表紙、タイポグラフィ: ズデニエク・ロスマン]	1930		
32	エドモント・コンラート	喜劇『棘を踏む』[表紙: フランチシェク・ゼレンカ]	1930		
33	ポール・ヴァレリー	『雄稿』全2巻、『教養読本クラブ』28-29 [表紙: ルドルフ・ハーラ]	1930		
34	カレル・コンラート	『対角線の方で』[表紙: ヴィート・オブルテル]	1930		
35	フセヴォロド・イヴァーノフ	小説『トゥバ谷』[表紙、タイポグラフィ: ラジスラフ・ストナル]	1931		
36	シャルル・ボーラー、ポール・ヴェルヌース ステファン・マラス、モリス・メーテルラック	『天体』[表紙: インドジフ・シュティルスキイ]	1931		
37	コンスタンチン・ビープル	『天国、地獄、極楽』第2版、『薔薇園』叢書2 [表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1931		
39	イジー・タウフェル	詩集『ヨーロッパ王手』	1933		
40	エドワルド・バス	『アレクサンドル・スタヴィスキイの放縱な生活』[表紙: ヨゼフ・ホフマン]	1934		
41	フランチシェク・ネフヴァーハル	『パレットの上の情熱』[表紙: ズデニエク・ロスマン]	1935		
42	カレル・コンラート	『地中海の鏡』[表紙、口絵: ヴォイチエフ・ティトウルバッハ]	1935		
43	ヴィンツィ・シュヴァルツ編	『詩人の年—1936年の風刺とアイロニー』[表紙: フランチシェク・ビドゥラ/レイクト: ラジスラフ・ストナル]	1936		
44	ヴィンツィ・シュヴァルツ編	『壁の詩集—1937年の風刺とアイロニー』[表紙: フランチシェク・ビドゥラ/レイクト: ラジスラフ・ストナル]	1937		
45	ズデニエク・ロスマン	『広告におけるタイポグラフィと写真』[表紙、タイポグラフィ: ズデニエク・ロスマン]	1938		
46	アーノルド・ツヴィマイク	『王の戴冠』[表紙: ラジスラフ・ストナル/挿絵: エマニュエル・プリント]	1938		
47	フランチシェク・クプカ	『革命ロシアの人たち』、アヴェンティヌム人民文庫2 [表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ、オタカル・ムルクヴィチ]	1924		
48	ルイ・デリク	『チャーブル・チャーブリン』、アヴェンティヌム人民文庫7 [表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ、オタカル・ムルクヴィチ]	1924		
49	アレクサンドル・ネヴィエロフ	『街の街並み帳』、アヴェンティヌム人民文庫14 [表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ、オタカル・ムルクヴィチ]	1925		
50	チャペック兄弟	『演劇はどのようにして生まれるか および舞台裏案内』、アヴェンティヌム人民文庫15 [表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ、オタカル・ムルクヴィチ]	1925		
51	カレル・チャペック	喜劇『盗賊』、アヴェンティヌム人民文庫17 [表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ、オタカル・ムルクヴィチ]	1926		
52	オルガ・シャインブルグヴァー	『演劇ノート』、アヴェンティヌム人民文庫30	1928		
53	アルネ・ノヴァーク	『チェコ文学俯瞰図』、アヴェンティヌム人民文庫32	1929		
54	ヴラジ米尔・リディン	『潮風』[訳: フランチシェク・ビスク、表紙: カレル・タイゲ]	1925		
55	ギヨーム・アボリネール	小説『虐殺された詩人』、『今日の本』叢書11 [表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ、オタカル・ムルクヴィチ]	1925		
56	イジー・マヘン	『繋がれたガチョウ』[表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ、オタカル・ムルクヴィチ]	1925		
57	ヴィーチェスラフ・ネズヴァル	『絵葉書のための詩』[表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ、オタカル・ムルクヴィチ]	1926		
58	ヴラジミール・ラッフェル	『肉体譚』[表紙: フランチシェク・ムズイカ]	1928		
59	コンスタンチン・ビープル	『新しきイカラス』[タイポグラフィ: フランチシェク・ムズイカ]	1929		
60	エミール・ヴェラーレン	『黎明』新版、オデオン叢書2 [訳: スタニスラフ・コストカ・ノイマン、表紙: カレル・タイゲ]	1925		
61	ギヨーム・アボリネール	小説『座る女』、オデオン叢書3 [表紙: カレル・タイゲ、オタカル・ムルクヴィチ]	1925		
62	ヴラジスラフ・ヴァンチュラ	『パン焼職人ヤン・マルホウル』叢書版、オデオン叢書4 [表紙: オタカル・ムルクヴィチ、カレル・タイゲ]	1925		
63	ヴィーチェスラフ・ネズヴァル	『偽装結婚』、オデオン叢書10 [表紙: インドジフ・シュティルスキイ、トワフヤン]	1925		
64	フィリップ・スパー	小説『アーノード・兄弟』、オデオン叢書14 [表紙: ヤン・イェリーネック/扉: カレル・タイゲ]	1926		
65	ギヨーム・アボリネール	序幕『2幕にあるシルレアズム愛劇曲「ティルシアスの乳房」』、オデオン叢書15 [訳: ヤロスラ夫・サイフ ル・ムルクヴィチ、カレル・タイゲ] 1926 大阪市立近代美術館建設準備室蔵	1926		
66	カレル・コンラート	小説『ナチス』、オデオン叢書2 [表紙: カレル・タイゲ/タイポグラフィ: カレル・タイゲ、オタカル・ムルクヴィチ]	1927		
67	アルドルフ・ホフマイステル	『花嫁—レーヴー、バルス、カリナ』、オデオン叢書2 [表紙、タイポグラフィ、挿絵: アルドルフ・ホフマイステル]	1927		
68	フランチシェク・ハラス	『鳥賦』、オデオン叢書30 [表紙: ヴィート・オブルテル/タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1927		
69	イサック・バベル	『騎兵隊』[訳: アラム・フェルドマン、ユリウス・フチーク/表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1928		
70	コンスタンチン・ビープル	『お茶と珈琲を運ぶ船とともに』詩集1926-27 第2版、オデオン叢書37 [表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1928		
71	コンスタンチン・ビープル	『構成画』[表紙: カレル・タイゲ]	1928		
72	スタニスラ夫・コストカ・ノイマン	『プラジュドとその他の戦争の想い出』、オデオン叢書47 [表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1928		
73	シャルル・ボーラー	『ファン・フルード』、愛書家叢書5 [訳: ネヴァジロヴァー/表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1927		
74	ハイインヒ・ハイネ	『ファン・シュターレ・ヴァーバスの想い出より』、オデオン愛書家叢書6 [訳: F.ゼマ、E.バルバソフ/表紙、挿絵: オタカル・ムルクヴィチ]	1928		
75	ズデニエク・マツエク	『見知らぬコジン』、オリエンツ叢書1 [表紙、タイポグラフィ: ズデニエク・マツエク]	1926		
76	ヤン・アルダ	『目抜き通り』、オリエンツ叢書2 [表紙、タイポグラフィ: ズデニエク・マツエク]	1926		
77	ミロスラ夫・ホウスカ	『十字路』、オリエンツ叢書3 [表紙、タイポグラフィ: ヴィート・オブルテル]	1926		
78	ヴィーチェスラ夫・ネズヴァル	『ディアボロ(コマ遊び)』、オリエンツ叢書5 [表紙: ヴィート・オブルテル]	1926		
79	エミル・フランチシェク・ブリアン	『精神薄弱』、オリエンツ叢書6 [表紙、タイポグラフィ: イヴァン・フラヴァーチェク]	1926		
80	カレル・タイゲ	『構成詩—今日の芸術と明日の芸術1919-1927』、オリエンツ叢書7-8 [表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1927		
81	ヴィーチェスラ夫・ネズヴァル	『アクロバット』[表紙、タイポグラフィ、口絵: ヴィート・オブルテル]	1927		
82	ウラジスラ夫・ヴァンチュラ	『教師と生徒』[表紙: ヴィート・オブルテル]	1927		
83	ヴィーチェスラ夫・ネズヴァル	『エジソン』[表紙、タイポグラフィ: ヴィート・オブルテル]	1928		
84	ヤロスラ夫・サイフェルト	『伝書鳴—詩集1928-1929』[表紙: ヴィート・オブルテル]	1929		
85	フランチシェク・ハラス	『雄鶲は死を懼れざる—詩集1928-1929』[表紙: ヴィート・オブルテル/口絵: インドジフ・シュティルスキイ、トワフヤン]	1930		
86	ジョージ・バーナード・ショウ	『ジン・ブルの鳴れ鳥』[訳: エリ・K.ショクラチャヴァー/表紙、タイポグラフィ: ラジスラ夫・ストナル/挿絵: ズデニエク・マツエク]	1930		
87	ジョージ・バーナード・ショウ	『小品集』[訳: アルフレード・ブランツベル、カレル・ムセック/表紙、タイポグラフィ: ラジスラ夫・ストナル/挿絵: ズデニエク・マツエク]	1930		
88	ジョージ・バーナード・ショウ	『精煉』[訳: エミリ・K.ショクラチャヴァー/表紙、タイポグラフィ: ラジスラ夫・ストナル/挿絵: ズデニエク・マツエク]	1931		
89	ジョージ・バーナード・ショウ	『わからぬものでよ』[訳: アルフレード・ブランツベル、カレル・ムセック/表紙、タイポグラフィ: ラジスラ夫・ストナル/挿絵: ズデニエク・マツエク]	1931		
90	ジョージ・バーナード・ショウ	『林檎荷車』[訳: フランク・タケエル/表紙、タイポグラフィ: ラジスラ夫・ストナル/挿絵: ズデニエク・マツエク]	1932		

No.	作者名	作品名	制作年	技法、素材	備考
91	ジョージ・バーナード・ショウ	『キャプテン・ブラスパウン』の改定版 [訳: ヴラジミール・プロハースカ、カレル・ムセック/表紙、タビタグラフィ: ラジスラ夫・ネズヴァル/挿絵: ズデニエク・クラフヴィル]	1932		大阪市立近代美術館建設準備室蔵
92	ヴィーチェスラ夫・ネズヴァル	『階段でかれんば』第2版ハードカバー [表紙、カバー、タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1931		
93	ヴィーチェスラ夫・ネズヴァル	『往復切符—詩集1932』[表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1933		
94	ヴィーチェスラ夫・ネズヴァル	『パントイマイム』新版 [表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1935		
95	ヴィーチェスラ夫・ネズヴァル	『見えないモスクワ』[表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ/挿絵: インドジフ・シュティルスキイ]	1935		
96	ヴィーチェスラ夫・ネズヴァル	『ほなむかハガ—紫の詩集1933』第3刷 [表紙: フランチシェク・ムスカ/タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1935		
97	ヴィーチェスラ夫・ネズヴァル	『詩集』一条の雨降るバラ [表紙、タイポグラフィ、フォトモンタージュ(2点): カレル・タイゲ]	1936		大阪市立近代美術館建設準備室蔵
98	ヴィーチェスラ夫・ネズヴァル	『詩集』複数形の女 [表紙、タイポグラフィ、フォトモンタージュ(2点): カレル・タイゲ]	1936		
99	ヴィーチェスラ夫・ネズヴァル	『橋』第2版 [表紙、タイポグラフィ、フォトモンタージュ(2点): カレル・タイゲ]	1937		
100	ヴィーチェスラ夫・ネズヴァル	『夜の詩』第4版 [表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1938		
101	L.V.ドベスキー	『計画経済』ソヴィエト経済、ソ連邦学論文叢書 [表紙: イジー・フリム]	1934		
102	カレル・クレイビフ	『ボリュシキの発生と發展』「世界の6分の1」叢書37-38 [表紙: イジー・フリム]	1936		
104	ヤロミール・クレイツァー編	革命論集『デヴィエトスイム』 [表紙、タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1922		
105	ヤロミール・クレイツァー編	『ソヴィエト・新しい芸術、建築、今日の知識論』 [表紙: ベドジフ・フォイエルシング、ヤロミール・クレイツァー、ヨゼフ・シーマ、カレル・タイゲ/タイポグラフィ: カレル・タイゲ]	1922		
106	T.F.シモン、V.ネベスキー、J.ペチカル、G.ブルゴー編	『文学連盟論集』 [表紙: レフ・プラトニー]	1923		
107	ミロスラ夫・ノヴトニー編	現代活動国際年鑑『フロンタ』 [表紙: ズデニエク・ロスマン]	1927		c: 25.3×19.6cm
108	ミロスラ夫・ノヴトニー編	『労働者年鑑』1931年 [表紙: ヴィクトル・スラーマ、ゲオルク・トラップほか]	1929-32	a: 31.2×28.6cm / b: 29.8×21.3cm	大阪市立近代美術館建設準備室蔵
110	スタニスラ夫・オドヴァルゴ編	『詩と生活年鑑 1920-30』 [表紙: スタニスラ夫・オドヴァルゴ編]	1930		
111	Y.オベスキー、J.ペチカル、E.ブルゴー編</				

### 3. 黒田清輝展

会期：2003年7月19日(土)～8月31日(日)  
 休館日：月曜日(7月21日は開館、翌22日休館)  
 会場：展示室C  
 催：和歌山県立近代美術館、独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所  
 観覧料：一般810(660)円、大学生510(400)円 ( )内は20名以上の団体料金 小・中・高校生、65歳以上、障害者の方は無料  
 内容：近代日本洋画の先駆者、黒田清輝の遺志によって設立された、美術研究所をその前身とする独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所との共催により、『湖畔』『智・感・情』を含む油彩画約80点とデッサン約60点を中心として、日記、書簡などとともに、同研究所が所蔵する黒田の作品と資料を紹介した。

印刷物：ポスター(B2判)

チラシ(A4判)

図録(A4判182頁)

ごあいさつ p.7

田中淳「序論 黒田清輝の生涯と芸術」pp.10-18

山梨絵美子「黒田清輝の描く『田園と労働と休息』の主題をめぐって」pp.19-23

カタログ pp.24-159

山梨絵美子〔編〕「黒田清輝年譜」pp.161-165

塩谷純〔編〕「黒田清輝関係文献目録」pp.166-175

出品作品一覧 pp.176-179

黒田記念室 p.181

図録補遺(A4判4頁)

関連事業：記念講演会「黒田清輝の生涯と芸術」田中淳氏(東京文化財研究所 黒田記念近代現代美術研究室長) 7月19日(土)

記念講演会「黒田清輝の描いた女性像」児嶋薰氏(実践女子大学文学部美学美術史学科助教授) 8月2日(土)

ミュージアム・トーク 7月26日(土)、8月9日(土) 宮本久宣学芸員

関連記事・報道：「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」『ギャラリー』(通巻216号)、2003.4.1、p.70

「日本洋画の発達に寄与 近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」『ギャラリー』(通巻219号)、2003.7.1、p.21

「重文『湖畔』など 黒田清輝展」紀伊民報、2003.7.2、5面

「近代日本 洋画の巨匠『黒田清輝展』わかやま新報、2003.7.3、5面

「黒田清輝作品一堂に 「湖畔」など油彩やデッサン」朝日新聞、2003.7.4、29面

「近代日本画の巨匠 黒田清輝展」ニュース和歌山、2003.7.5、6面

「19日から黒田清輝展」産経新聞、2003.7.8、26面

「洋画の黒田清輝 油彩など170点披露」読売新聞、2003.7.8、32面

「しんぼう抄」和歌山新報、2003.7.11

「近代日本洋画の巨匠一黒田清輝展」リビング和歌山、2003.7.12、6面

「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展覧会」『アガサス』2003年8月号(通巻287号)、2003.7.25、p.119

「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展 近代日本洋画の先駆者が残した名品の数々」『Key』2003年8月号(通巻110号)、2003.7.25、p.107

「「湖畔」など170点を展示」わかやま新報、2003.7.27、10面

「季節の美術館巡り 21 黒田清輝と日本洋画壇の確立 パリで知った美術の力」「一個人」4巻8号(通巻39号)、2003.8.1、p.138~139

「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」中國新聞、2003.8.7、17面

「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」ニュース和歌山増刊、2003.8.8、6面

「黒田清輝展 近代日本美術の発展に大きく寄与した洋画の父の画業を一望する」『びあ関西版』通巻523号、2003.8.8、p.61

担当学芸員：宮本久宣、寺口淳治



ポスター

チラシ表

チラシ裏

カタログ



会場風景



会場風景

出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
1	黒田 清輝	自画像	1885(明治18)	紙、鉛筆	27.3×21.7	
2	黒田 清輝	女の顔(模写)	1886(明治19)	紙、木炭	62.5×47.5	
3	黒田 清輝	石膏像	1887(明治20)	紙、木炭	63.0×47.0	
4	黒田 清輝	裸婦習作	1887(明治20)	紙、木炭	63.0×47.2	
5	黒田 清輝	裸体習作	1887(明治20)	紙、木炭	63.0×47.0	
6	黒田 清輝	田舎家	1888(明治21)	カンヴァス、油彩	42.3×54.3	
7	黒田 清輝	裸婦習作	1888(明治21)	紙、木炭	62.5×47.3	
8	黒田 清輝	裸体習作	1888(明治21)	紙、木炭	63.0×47.0	
9	黒田 清輝	裸体習作	1888(明治21)	紙、木炭	63.0×47.0	
10	黒田 清輝	少年	1888(明治21)	紙、木炭	63.0×47.0	
11	黒田 清輝	裸婦習作	1888(明治21)	紙、木炭	63.2×47.0	
12	黒田 清輝	裸婦習作	1888(明治21)	紙、木炭	63.2×47.0	
13	黒田 清輝	女の顔	1889(明治22)	紙、木炭	63.0×47.0	
14	黒田 清輝	裸体習作	1889(明治22)	紙、木炭	62.5×47.4	
15	黒田 清輝	椅子による女	1889(明治22)	紙、木炭	62.5×47.5	
16	黒田 清輝	裸体・女(後半身)	1889(明治22)	カンヴァス、油彩	60.3×50.5	
17	黒田 清輝	裸体・女(全身)	1889(明治22)	カンヴァス、油彩	78.8×54.0	
18	黒田 清輝	裸体・女(全身)	1889(明治22)	カンヴァス、油彩	81.6×44.7	
19	黒田 清輝	裸体・男(半身)	1889(明治22)	カンヴァス、油彩	61.0×44.0	
20	黒田 清輝	自画像(トルコ帽)	1889(明治22)	カンヴァス、油彩	40.5×30.7	
21	黒田 清輝	祈禱	1889(明治22)	カンヴァス、油彩	74.0×53.0	
22	黒田 清輝	画室の一隅	1889(明治22)	カンヴァス、油彩	54.6×45.6	
23	黒田 清輝	久米氏肖像	c.1889(明治22頃)	カンヴァス、油彩	62.5×36.8	
24	黒田 清輝	原	1889(明治22)	カンヴァス、油彩	38.0×46.0	
25	黒田 清輝	楊樹	1889(明治22)	カンヴァス、油彩	34.5×24.5	
26	黒田 清輝	羊を抱く少女	1889(明治22)	カンヴァス、油彩	26.3×20.8	
27	黒田 清輝	友人グリフィン肖像	1889(明治22)	カンヴァス、油彩	41.0×32.5	
28	黒田 清輝	パリー風景	1890(明治23)	カンヴァス、油彩	40.7×27.4	
29	黒田 清輝	野原の立木	1890(明治23)	カンヴァス、油彩	24.5×34.2	
30	黒田 清輝	少女の顔	1890(明治23)	カンヴァス、油彩	24.5×18.0	
31	黒田 清輝	編物	1890(明治23)	カンヴァス、油彩	48.7×59.2	

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
32	黒田 清輝	庭	1890(明治23)	カンヴァス、油彩	47.0×62.0	
33	黒田 清輝	織物する女	c.1890(明治23頃)	紙、木炭	62.5×47.5	
34	黒田 清輝	編物する女	c.1890(明治23頃)	紙、木炭	62.5×47.5	
35	黒田 清輝	机による女	c.1890(明治23頃)	紙、木炭	63.0×47.0	
36	黒田 清輝	雪景	c.1890(明治23頃)	紙、木炭	62.5×47.5	
37	黒田 清輝	豚屋	1891(明治24)	カンヴァス、油彩	36.5×30.0	
38	黒田 清輝	台所	1891(明治24)	板、油彩	35.8×28.0	
39	黒田 清輝	七面鳥	1891-92(明治24-25)	カンヴァス、油彩	40.6×26.2	
40	黒田 清輝	ブレハ島にて	1891(明治24)	板、油彩	24.1×32.1	
41	黒田 清輝	少女	1891(明治24)	カンヴァス、油彩	34.0×32.0	
42	黒田 清輝	枯れ野原(グレー)	1891(明治24)	カンヴァス、油彩	49.3×65.0	
43	黒田 清輝	残雪	c.1892(明治25頃)	カンヴァス、油彩	45.7×36.7	
44	黒田 清輝	赤髪の少女	1892(明治25)	カンヴァス、油彩	80.6×64.5	
45	黒田 清輝	夏図画稿(傘を持つ女)	1892(明治25)	紙、木炭	47.0×29.0	
46	黒田 清輝	夏図画稿(傘を持つ女)	1892(明治25)	紙、木炭	48.0×32.0	
47	黒田 清輝	夏図画稿(女の顔)	1892(明治25)	紙、木炭	38.5×26.5	
48	黒田 清輝	夏図画稿(手)	1892(明治25)	紙、木炭	36.0×28.0	
49	黒田 清輝	夏図画稿(女の顔)	1892(明治25)	紙、木炭	47.5×31.5	
50	黒田 清輝	夏図画稿(手)	1892(明治25)	紙、木炭	48.0×32.0	
51	黒田 清輝	夏図画稿(女の顔)	1892(明治25)	紙、木炭	31.0×48.0	
52	黒田 清輝	夏図画稿(手)	1892(明治25)	紙、木炭	31.0×48.0	
53	黒田 清輝	夏図画稿(坐る女)	1892(明治25)	紙、木炭	31.0×47.0	
54	黒田 清輝	夏図画稿(坐る女)	1892(明治25)	紙、木炭	31.0×48.0	
55	黒田 清輝	夏図画稿(横たわる女)	1892(明治25)	紙、木炭	29.5×46.0	
56	黒田 清輝	夏図画稿(坐る女)	1892(明治25)	紙、木炭	29.5×35.0	
57	黒田 清輝	ブレハの海岸	1892(明治25)	カンヴァス、油彩	38.7×64.0	
58	黒田 清輝	風景(グレー)	c.1892(明治25頃)	カンヴァス、油彩	23.5×34.8	
59	黒田 清輝	横浜本牧の景	1894(明治27)	板、油彩	24.5×33.0	
60	黒田 清輝	昼寝	1894(明治27)	カンヴァス、油彩	49.8×61.0	
61	黒田 清輝	金州城内新聞記者宿舎内部の図	1894(明治27)	紙、インク	18.2×25.4	
62	黒田 清輝	『昔語り』の僧侶	1895(明治28)	カンヴァス、油彩	50.7×61.0	
63	黒田 清輝	昔語り下絵(構図 I)	1895(明治28)	カンヴァス、油彩	23.2×33.8	
64	黒田 清輝	昔語り下絵(清閑寺景)	1895(明治28)	板、油彩	24.5×34.5	
65	黒田 清輝	昔語り図画稿(構図)	1896(明治29)	紙、木炭	47.0×63.0	
66	黒田 清輝	昔語り下絵(構図 II)	1896(明治29)	カンヴァス、油彩	41.1×63.3	
67	黒田 清輝	昔語り図画稿(草刈り娘全身像)	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
68	黒田 清輝	昔語り図画稿(草刈り娘の顔)	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
69	黒田 清輝	昔語り図画稿(草刈り娘の足)	1896(明治29)	紙、木炭	47.0×63.0	
70	黒田 清輝	昔語り下絵(草刈り娘)	1896(明治29)	カンヴァス、油彩	59.8×44.1	
71	黒田 清輝	昔語り図画稿(僧半身像)	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
72	黒田 清輝	昔語り図画稿(僧の手)	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
73	黒田 清輝	昔語り図画稿(僧の足)	1896(明治29)	紙、木炭	47.0×63.0	
74	黒田 清輝	昔語り下絵(僧)	1896(明治29)	カンヴァス、油彩	78.8×42.3	
75	黒田 清輝	昔語り図画稿(舞妓全身像)	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
76	黒田 清輝	昔語り図画稿(舞妓半身像)	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
77	黒田 清輝	昔語り下絵(舞妓)	1896(明治29)	カンヴァス、油彩	93.2×46.0	
78	黒田 清輝	昔語り図画稿(仲居全身像)	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
79	黒田 清輝	昔語り図画稿(仲居半身像)	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
80	黒田 清輝	昔語り下絵(仲居)	1896(明治29)	カンヴァス、油彩	93.8×47.7	
81	黒田 清輝	昔語り図画稿(男着衣半身像)	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
82	黒田 清輝	昔語り図画稿(男裸体半身像)	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
83	黒田 清輝	昔語り図画稿(男の脚)	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
84	黒田 清輝	昔語り下絵(男)	1896(明治29)	カンヴァス、油彩	98.3×47.6	
85	黒田 清輝	女の顔	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
86	黒田 清輝	昔語り図画稿(舞妓半身像)	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
87	黒田 清輝	昔語り下絵(舞妓)	1896(明治29)	カンヴァス、油彩	94.4×46.8	
88	黒田 清輝	昔語り図画稿(手)	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
89	黒田 清輝	昔語り図画稿(手)	1896(明治29)	紙、木炭	63.0×47.0	
90	黒田 清輝	昔語り下絵(男と舞妓)	1896(明治29)	カンヴァス、油彩	78.0×51.5	
91	黒田 清輝	昔語り下絵(清閑寺景)	1896(明治29)	カンヴァス、油彩	29.7×48.8	
92	黒田 清輝	昔語り下絵(清閑寺門)	1896(明治29)	カンヴァス、油彩	35.6×26.4	
93	黒田 清輝	犬	1897(明治30)	板、油彩	23.0×32.2	
94	黒田 清輝	大磯	1897(明治30)	板、油彩	25.0×33.5	
95	黒田 清輝	湖畔	1897(明治30)	カンヴァス、油彩	69.0×84.7	

## 出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
96	黒田 清輝	漁舟着岸	1897(明治30)	板、油彩	27.7×38.0	
97	黒田 清輝	母子	1897(明治30)	カンヴァス、油彩	36.6×29.0	
98	黒田 清輝	婦人肖像	1898(明治31)	紙、木炭	63.2×47.3	
99	黒田 清輝	書見	1898(明治31)	カンヴァス、油彩	59.0×40.5	
100	黒田 清輝	少女・雪子十一歳	1898(明治31)	板、油彩	33.5×24.2	
101	黒田 清輝	智・感・情	1898(明治31)	カンヴァス、油彩	180.6×99.8(各)	
102	黒田 清輝	香港	1900(明治33)	板、油彩	32.7×23.5	
103	黒田 清輝	湖畔婦人	1901(明治34)	紙、鉛筆	30.9×23.2	
104	黒田 清輝	湖畔の雨	1901(明治34)	紙、鉛筆	31.3×24.0	
105	黒田 清輝	湖畔の風	1901(明治34)	紙、鉛筆	31.3×24.0	
106	黒田 清輝	湖畔(元箱根)	1901(明治34)	紙、鉛筆	26.9×22.8	
107	黒田 清輝	元箱根村にて	1901(明治34)	紙、鉛筆	17.5×26.4	
108	黒田 清輝	風景(平河町庭)	1904(明治34)	カンヴァス、油彩	34.8×26.4	
109	黒田 清輝	野辺(画稿)	c.1907(明治40頃)	紙、木炭	26.2×20.6	
110	黒田 清輝	花野図画稿(I)	1907(明治40)	紙、コンテ	31.5×23.9	
111	黒田 清輝	花野図画稿(II)	1907(明治40)	紙、木炭	33.5×46.0	
112	黒田 清輝	花野下絵	1909(明治42)	カンヴァス、油彩	70.5×55.0	
113	黒田 清輝	寺尾壽博士像	1910(明治43)	カンヴァス、油彩	59.4×48.8	
114	黒田 清輝	桂公肖像(画稿)	1910(明治43)	バスチル、紙	40.2×15.1	
115	黒田 清輝	森の中	1911-12(明治44-45)	カンヴァス、油彩	65.8×50.4	
116	黒田 清輝	婦人肖像	1914(大正3)	カンヴァス、油彩	53.2×45.8	
117	黒田 清輝	もるる日影	1914/1921(大正3年/10)	板、油彩	26.0×34.5(各)	
118	黒田 清輝	雲(6枚組)	1914(大正3)	板、油彩	35.5×27.5	
119	黒田 清輝	田園の夏	1914(大正3)	板、油彩	60.5×45.5	
120	黒田 清輝	農婦	1914(大正3)	カンヴァス、油彩	22.0×14.5(各)	
121	黒田 清輝	其日のはて(画稿二枚) 1	1914(大正3)	紙、鉛筆	22.0×14.5(各)	
122	黒田 清輝	其日のはて(画稿二枚) 2	1914(大正3)	紙、鉛筆	22.0×14.5(各)	
123	黒田 清輝	其日のはて(画稿二枚) 3	1914(大正3)	紙、鉛筆	22.0×14.5(各	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
160	黒田 清輝	写生帖26号(北海道旅行)	1894(明治27)		11.4×15.4	
161	黒田 清輝	写生帖13号(横浜本牧、鎌倉)	1894(明治27)		11.4×19.0	
162	黒田 清輝	写生帖14号(日清戦争)	1894(明治27)		12.2×18.0	
163	黒田 清輝	写生帖15号(日清戦争)	1894(明治27)		12.3×18.2	
164	黒田 清輝	写生帖16号(日清戦争-野戦病院)	1894-95(明治27-28)		12.0×18.3	
165	高村 光太郎	故子爵黒田清輝胸像	1932(昭和7)	ブロンズ	h:54.5×62.0×47.0	
166	黒田 清輝	秋景	c.1910-20(明治43-大正9頃)	板、油彩	23.9×33.0	個人蔵

## 資料

1	黒田 清輝	黒田清綱宛書簡(明治17年10月3日)	1884年10月3日
2	黒田 清輝	黒田清綱宛書簡(明治19年5月21日)	1886年5月21日
3	黒田 清輝	黒田清綱宛書簡(明治20年4月8日)	1887年4月8日
4	黒田 清輝	原田直次郎宛書簡(明治31年9月15日)	1898年9月15日
5	原田 直次郎	黒田清輝宛書簡(明治29年1月2日)	1896年1月2日
6	黒田 清輝	日記(明治24年、独仏国境旅行記)	1891年6月12日-25日
7	黒田 清輝	日記(明治28年、日清戦争従軍日記)	1895年1月18日-30日
8	黒田 清輝	日記(明治29)	1896年1月-12月
9	黒田 清輝	住所録(明治32年、表紙・自画像)	1899年
10	黒田 清輝	日記(大正6)	1917年1月-12月
11	遺品	(絵具箱、イーゼル、椅子)	

\*所蔵表記のないものはすべて独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所蔵

## 4.たがやすように

会  
休  
会  
主  
観  
内  
館  
日  
場  
催  
料  
容

期：2003年9月13日(土)～10月26日(日)  
日：月曜日(9月15日と10月13日は開館し、翌日休館)  
場：展示室C、エントランスホール他  
催：和歌山県立近代美術館  
料：一般310(250)円、大学生210(160)円 ( )内は20名以上の団体料金 小・中・高校生、65歳以上、障害者の方は無料  
容：作品制作を「たがやす」作業にひきつけ、1980年代から関西を中心に活動する4人の作家、池垣タダヒコ、河崎ひろみ、中川佳

宣、原田要の作品を回顧するとともに、最新作を紹介した。

印 刷 物：チラシ(A4判)

案内ハガキ

出品目録(B5判4頁)

和歌山県立近代美術館NEWS No.38+39合併号 たがやすように特集

関連事業：アーティスト・トーク(出品作家によるシンポジウム) 9月13日(土)

ミュージアム・トーク 9月23日(火・秋分の日)、10月13日(月・体育の日) 奥村泰彦主査学芸員

関連記事・報道：[無記名]「たがやすように」『月刊ギャラリー』2003.4.1、p.64

[イベント紹介]『アガサス』9月号、2003.8.25、p.86

[無記名]「たがやすように(美術展)」『Key』第10巻第9号通巻111号、2003.8.25、p.92

[無記名]「展覧会「たがやすように」開催」『NOSAIわかやま』No.100、和歌山県農業共済組合連合会、2003.9、p.14

[無記名]「作品を結実させる作家たち」『月刊ギャラリー』2003.9.1、p.26

[無記名]「たがやすように」『紀州浪漫』vol.6、和歌山リビング新聞社、2003.9.1、p.30

[無記名]「ユニーク作品楽しんで」讀賣新聞、2003.9.9

古川誠「たがやすように」『ぴあ関西版』第21巻第20号通巻526号、2003.9.10、p.61

[無記名]「たがやすように展アーティスト・トーク」『ぴあ関西版』第21巻第20号通巻526号、2003.9.10、p.176

[無記名]「たがやすように」わかやま新報、2003.9.11

[無記名]「美術館便り」リビング和歌山、2003.9.13、14面

[無記名]「作品の“育つ”イメージ感じて」産経新聞、2003.9.14

加藤義夫「関西の中堅、力作競う」日本経済新聞、2003.9.18、10面

[無記名]「創造の軌跡をたどる」わかやま新報、2003.9.18

[無記名]「たがやすように」『Lism』和歌山リビング新聞社、2003.9.20、p.58

奥村泰彦 [語り]「和歌山県立近代美術館企画展～たがやすように～」『みどりのそよ風』(ラジオ番組)和歌山放送、2003.9.22

/2003.9.23、15:55-16:05

[無記名]「たがやすように」わかやま新報、2003.9.30、2面

出品作家他出演「県立近代美術館企画展 たがやすように」『はばたく紀の国』(テレビ番組)テレビ和歌山、2003.10.4

[無記名]「たがやすように」『ぴあ関西版』第21巻第21号通巻527号、2003.10.6、p.209

[無記名]「たがやすようにミュージアム・トーク」『ぴあ関西版』第21巻第21号通巻527号、2003.10.6、p.212

[無記名]「植物や果物モチーフに」日本農業新聞、2003.10.16、15面

担当学芸員：奥村泰彦、奥村一郎



チラシ表

チラシ裏

案内ハガキ

案内ハガキ

出品目録



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景

作品名 No. 作家名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
1 池垣 タダヒコ series "old melancholy" 「胡鶴」	1985(昭和60)	銅、半田	131×710×480	
2 池垣 タダヒコ untitled	1990(平成2)	銅、半田	110×130×30	
3 池垣 タダヒコ untitled	1989(平成元)	銅、半田	250×280×200	
4 池垣 タダヒコ series "old melancholy" 「untitled」	1989(平成元)	銅、半田	140×320×140	
5 池垣 タダヒコ "mujer de titicaca" carpet cleaning machine	1996(平成8)	銅、半田	82×28×28	
6 池垣 タダヒコ untitled	1998(平成10)	銅、半田	75×40×35	
7 池垣 タダヒコ untitled	2000(平成12)	銅、半田	140×65×140	
8 池垣 タダヒコ untitled	2000(平成12)	銅、半田	220×50×50	
9 池垣 タダヒコ untitled	2000(平成12)	銅、半田	180×180×50	
10 池垣 タダヒコ untitled	2000(平成12)	銅、半田	200×150×150	
11 池垣 タダヒコ untitled	1997(平成9)	銅、半田	75×50×50	
12 池垣 タダヒコ untitled	1997(平成9)	銅、半田	71.5×53×57	
13 池垣 タダヒコ untitled	2002(平成14)	エッチング、石膏	35×29×7	
14 池垣 タダヒコ untitled	2002(平成14)	エッチング、石膏	24.5×35×9.5	
15 池垣 タダヒコ 「胡鶴」-kokkei-	1997(平成9)	銅、半田	49×94×58	
16 池垣 タダヒコ untitled	2002(平成14)	エッチング、石膏	75.5×59.5×20.5	
17 河崎 ひろみ あらゆるものと小さなひとつのために '89	1989(平成元)	油彩、カンヴァス	200×360	
18 河崎 ひろみ あらゆるものと小さなひとつのために '89	1989(平成元)	油彩、カンヴァス	194×912	
19 河崎 ひろみ Work 91-4	1991(平成3)	油彩、カンヴァス	194×521	
20 河崎 ひろみ before lunch	1980(昭和55)	エッチング、紙	52×36.5	
21 河崎 ひろみ chaos	1979(昭和54)	エッチング、紙	23.5×16.5	
22 河崎 ひろみ space swimming	1979(昭和54)	エッチング、紙	16.5×12.5	
23 河崎 ひろみ 黒いまるのある静物	1991(平成3)	ドライポイント、紙	20×20	
24 河崎 ひろみ 黒いまるのある室内	1992(平成4)	ドライポイント、紙	20×20	
25 河崎 ひろみ あらゆるものと小さなひとつのために92-2	1992(平成4)	油彩、カンヴァス	194×164	
26 河崎 ひろみ あらゆるものと小さなひとつのために93-1	1993(平成5)	油彩、カンヴァス	181×227	
27 河崎 ひろみ あらゆるものと小さなひとつのために94-8	1994(平成6)	油彩、カンヴァス	194×162	
28 河崎 ひろみ あらゆるものと小さなひとつのために94-9	1994(平成6)	油彩、カンヴァス	194×130	
29 河崎 ひろみ あらゆるものと小さなひとつのために98-3	1998(平成10)	油彩、カンヴァス	162×162	
30 河崎 ひろみ あらゆるものと小さなひとつのために97-3	1997(平成9)	油彩、カンヴァス	194×162	
31 河崎 ひろみ あらゆるものと小さなひとつのために03-3	2003(平成15)	油彩、カンヴァス	194×162	
32 河崎 ひろみ あらゆるものと小さなひとつのために03-5	2003(平成15)	油彩、カンヴァス	162×227.3	
33 河崎 ひろみ あらゆるものと小さなひとつのために03-4	2003(平成15)	油彩、カンヴァス	194×162	
34 中川 佳宣 aleph	1993(平成5)	再生紙、アクリル絵具、顔料、他	244×46×31	
35 中川 佳宣 果実あつめ(1)	1989(平成元)	再生紙、アクリル絵具、他	94.5×180×20	和歌山県立近代美術館蔵
36 中川 佳宣 果実あつめ	1989(平成元)	再生紙、アクリル絵具、他	180×90×10	受託作品
37 中川 佳宣 ロバ耳	1991(平成3)	再生紙、アクリル絵具、他	173×150×20	受託作品
38 中川 佳宣 展開する秘密	1991(平成3)	再生紙、アクリル絵具、他	186×133×40	受託作品
39 中川 佳宣 farmer's pot-Rosaceae	2001(平成13)	燐、アクリル絵具、トレンシング、ペーパー、紙	25.5×30.8×4.7	タグチファインアート蔵
40 中川 佳宣 farmer's pot-Gramineae (Poaceae)	1998(平成10)	紙、素焼陶器、牛革、他		インスタレーション
41 中川 佳宣 monogram 98008	1998-99(平成10-11)	木、綿、アクリル絵具、牛革、糸	95×33×45	
42 中川 佳宣 monogram (notebook) #2	2000(平成12)	木、アクリル絵具、綿、牛革、他	100×137×11	
43 中川 佳宣 monogram (notebook) #3	2000(平成12)	木、アクリル絵具、綿、牛革、他	100×137×11	
44 中川 佳宣 farmer's pot-Oryza sativa L.	2000(平成12)	素焼の壺、エッチング、紙		
45 中川 佳宣 casted iron	1996(平成8)	鉄	19×14.5×12	
46 中川 佳宣 a round table	1996(平成8)	エッチング、紙	42.4×30.8×3.5	
47 原田 要 絵画の庭-高野	2003(平成15)	木、顔料、他	130×240×240	
48 原田 要 花の器	1986(昭和61)	木、アクリル絵具	140×230×230	
49 原田 要 オズヌ	1997(平成9)	木、布、アクリル絵具	100×100×20	
50 原田 要 絵画の庭-人型	2000(平成12)	木、顔料、他	65×30×30	
51 原田 要 絵画の庭-足跡	2000(平成12)	木、顔料、他	103×64×6	
52 原田 要 絵画の庭-平遠	2000(平成12)	木、顔料、他	125×325×61	
53 原田 要 絵画の庭-巻雲	2001(平成13)	木、顔料、他	15×21×446	
54 原田 要 絵画の庭-舌花	1999(平成11)	木、顔料、他	103×82×180	
55 原田 要 絵画の庭-嵐額	2003(平成15)	木、顔料	34.5×33.2×4	
56 原田 要 絵画の庭-平遠II	2002(平成14)	木、顔料、他	82×95×232	
57 原田 要 絵画の庭-緑小舌花	2003(平成15)	木、顔料、他	10.5×8×13.5	
58 原田 要 絵画の庭-桃源	2003(平成15)	木、顔料、他	85×158×124	

## 5. 美術百科「7つの鍵」の巻 コレクションによる全館展示

会期：2003年12月16日(火)～2004年4月4日(日)

休館日：月曜日(1月12日は開館、翌13日休館)、12月28日～1月5日、2月9日～16日

会場：和歌山県立近代美術館全館

主催：和歌山県立近代美術館

観覧料：一般310円(250円)、大学生210円(160円) ( )内は20名以上の団体料金 小・中・高校生、65歳以上、障害者の方は無料

内容：「からだ 身体」「ことば 言語」「じぶん 自己」「いのり 信仰」「たべもの 食」「しごと 労働」「あそび 遊戯」という「7つの鍵」を設定することで、当館のコレクションを時間、空間を超えて結びつけ、あらたに広がる多様な視点から紹介した。

印刷物：ポスター(B2判) デザイン：渡辺和雄  
案内ハガキ  
出品目録(B5判4頁)

関連事業：ミュージアム・トーク 2003年12月23日(火・祝)宮本久宣学芸員、2004年1月12日(月・祝)奥村一郎学芸員、  
2月22日(日)浜田拓志学芸課長、3月21日(日)奥村泰彦主査学芸員

関連記事・報道：「身体・食・労働…7つの「鍵」に分け 館蔵品350点を紹介」朝日新聞、2003.12.18、27面  
「7つの視点から作品を紹介 県立近代美術館で「美術百科『7つの鍵』の巻」開催中」わかやま新報、2003.12.19、1面  
「展覧会 美術百科「7つの鍵」の巻」きのかわトーキュース(橋本エリア版)2003.12.19、4面  
「県立近代美術館美術百科 7つの鍵で収集品紹介」ニュース和歌山、2003.12.24、5面  
「美術百科『7つの鍵』の巻～コレクションによる全館展示」わかやま新報、2003.12.30、4面  
「7つの視点で新たな魅力 コレクション350点、多彩に紹介」産経新聞、2004.1.8、25面  
「2004winter ミュージアムガイド」ニュース和歌山増刊、2004.1.9、6面  
「コレクションによる全館展示～美術百科「7つの鍵」の巻」リビング和歌山、2004.1.31、11面  
「美術百科「7つの鍵」の巻」わかやま新報、2004.2.19、5面  
「七つのテーマで収蔵品展示」朝日新聞、2004.2.21、25面  
「美術百科『7つの鍵』の巻 県立近代美術館で後期始まる」わかやま新報、2004.3.4  
「美術百科「7つの鍵」の巻 コレクションによる全館展示」『紀州浪漫』vol.7、2003冬号、p.30  
「美術百科「7つの鍵」の巻」『arch』2003.12月号、第51号  
「美術百科「7つの鍵」の巻展」『博物館研究』Vol.38 No.12(通巻427号)、p.39  
「7つの鍵で開くドアとは？ 美術百科「7つの鍵」の巻展」「アガサス」2004.1月号(通巻292号)、p.94  
「美術館百科「7つの鍵」を開催」『NOSAI わかやま』2004.1(No.101)、p.12  
「コレクションによる全館展示『美術百科「7つの鍵」の巻』『Key』2004.2月号(通巻116号)、p.94  
「美術百科「7つの鍵」の巻」『季刊ボテトチップス』No.32(2004冬～春号)、p.43  
「美術百科「7つの鍵」の巻」『ぴあ関西版』2004.2.9(通巻536号)、p.172  
「美術百科「7つの鍵」の巻」『NATTS』2003.12月号(通巻38号)p.1、2004.3月号(通巻41号)、p.14

担当学芸員：浜田拓志、寺口淳治、奥村泰彦、井上芳子、奥村一郎、宮本久宣



ポスター



案内ハガキ



案内ハガキ

出品リスト 前期：2003年12月16日(火)～2004年2月8日(日)

No. 作家名

作品名

制作年

技法・材質

寸法(cm)

備考

1 シーガル, ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具、他	264.6×359.9×270.4
2 俵塚 二郎	地下からの視線 920524	1992(平成4)	ポリエステル樹脂	223×72.2×12.5
3 保田 龍門	少年	1912(明治45)	油彩、キャンバス	45.8×60.6
4 川口 軌外	《ヴィーナス》(ティツィアーノ原作)模写	1920(大正9)頃	油彩、キャンバス	93.5×138.4
5 山下 新太郎	臥婦	1910年代	油彩、キャンバス	79.5×140.7
6 橋口 五葉	浴後之女	1920(大正9)	木版、紙	43.8×29.1
7 佐伯 祐三	ベッドに坐る裸婦	1923(大正12)	油彩、キャンバス	91.1×65.5
8 野長瀬 晚花	裸婦素描(巴里の女)	1922(大正11)頃	鉛筆、水彩、紙	39.0×27.0
9 保田 龍門	アンドレ像	1921(大正11)	油彩、キャンバス	54.7×45.8
10 木下 孝則	後向きの裸女習作	1925(大正14)	油彩、キャンバス	100.1×80.3
11 中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6
12 建畠 大夢	感に打たれた女	1932(昭和7)	ブロンズ	155×40.0×44.0
13 田中 恭吉	最後の舞踏	1914(大正3)	黒インク、鉛筆、紙	19.9×15.7
14 恩地 孝四郎	LA DANCE [踊り]	1913(大正2)	平板、紙	13.0×11.4
15 恩地 孝四郎	LA [LE] POT NOIR [黒い壺]	1913(大正2)	インク、紙	11×10.6
16 鏡図	田園	1956(昭和31)	石版、紙	53.4×72.8
17 レジ, フェルナン	軽業師マリー	1948(昭和23)	リトグラフ、紙	55.2×42.9
18 有井 鶴三	夜相撲	制作年不明	リトグラフ、紙	33.5×24.8
19 石垣 栄太郎	拳闘	1925(大正14)	油彩、キャンバス	75.4×91.2
20 村井 正誠	水浴	1930(昭和5)	油彩、キャンバス	98.8×80.8
21 古賀 春江	海水浴	1922(大正11)	油彩、キャンバス	91.3×117
22 龜井 玄兵衛	鏡の前	1955(昭和30)	顔料、紙	180.6×105.7
23 星野 真吾	喪中の作品 A	1965(昭和40)	顔料、紙	180.6×89.5
24 三上 誠	経絡 膜	1968(昭和43)頃	紙(コラージュ)、顔料、パネル	170.7×121.0
25 野長瀬 晚花	夕日に帰る漁夫 下絵	1920(大正9)	墨、顔料、紙	169.4×360.5
26 佐伯 祐三	帽子をかぶる自画像	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス	73.3×53.9
27 松本 俊介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5
28 保田 春彦	トルソ	1955(昭和30)	セメント	102.8×47.8×36.5
29 ピカソ, パブロ	泣く女	1937(昭和12)	銅版、紙	69.0×49.2
30 ヨー, ジョアン	老アイルランド人	1969(昭和44)	銅版、カーボランダム、紙	106.5×70.4
31 クロス, チャック	フィル	1982(昭和57)	紙	130.4×105.8
32 森村 泰昌	肖像(娘 II)	1988(昭和63)	カラープリント、紙	149.0×111.0
33 宇佐美 圭司	水族館の中の水族館	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	185.2×276.0
34 柳原 陸夫	雲気紋笑口壺 1	1986(昭和61)	陶	51.0×47.0×33.0
35 鏡図	Mr. & Mrs. Rainbow noppo R-V	1976(昭和51)	シルクスクリーン、紙	141.8×50.4
36 ダイン, ジム	14色の木版によるバスローブ	1982(昭和57)	木版、紙	166.7×90.3
37 ホックニー, デヴィッド	グレゴリーのイメージ	1985(昭和60)	リトグラフ、コラージュ、紙	221.0×104.0

ことば 言語 前期：2003年12月16日(火)～2004年2月8日(日)

No. 作家名

作品名

制作年

技法・材質

寸法(cm)

備考

38 佐伯 祐三	広告のある門	1925(大正14)	油彩、キャンバス	59.9×73.2
39 織田 一磨	『東京風景』より 木場雪景	1917(大正6)	リトグラフ、紙	27.3×44.4
40 織田 一磨	『東京風景』より 目白阪下	1916(大正5)	リトグラフ、紙	45.5×25.3
41 織田 一磨	『東京風景』より 上野廣小路	1916(大正5)	リトグラフ、紙	40.3×28.5
42 清水 正博	劇場(浅草松竹座)	1934(昭和9)	木版、紙	23.0×15.9
43 清水 正博	都会風景	1933(昭和8)	木版、紙	33.2×24.5
44 伊東 健典	[木下サーカス團]	制作年不明	木版、紙	14.2×15.4
45 安東 茂々	Work 1	1975(昭和50)	シルクスクリーン、紙	49.1×72.3
46 安東 茂々	Electric wire 5	1977(昭和52)	シルクスクリーン、紙	52.9×76.9
47 吉田 尚史	ときめき・EST-1	1990(平成2)	ネコプリント、キャンバス	162.3×227.5
48 安斎 重男	Homage to ISAMU NOGUCHI より Slide Mantra and Henry Geldzahler, Venice Biennale June 1986	1992(平成4)	写真	29.9×21.2
49 安斎 重男	Homage to ISAMU NOGUCHI より Slide Mantra, Venice Biennale June 1986	1992(平成4)	写真	29.6×20.0
50 北川 健次	アルバム写真	1979(昭和48)	銅版、紙	36.2×46.3
51 北川 健次	ドリアンの鍵	1979-80(昭和54-55)	銅版、紙	46.8×36.7
52 荒木 高子	頬廻の聖書	1983(昭和58)	磁土	14.5.0×22.3×20.3
53 チャヴェス、エステバン	INTELLECTUAL A.I.D.S. STUDY QUILT	1992(平成4)	フォトエッティング、エンゲレービング、紙	134.9×271.5

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
54	ゴールズワージー, アンディ	光をとらえるように折り重ねられた葉/大内山村/1987年11月24日	1991(平成3)	カラープリント	105.8×235.5/25.5×25.3		109	野長瀬 晚花	夢ばかりみてゐる男	1950(昭和25)	顔料、紙	48.3×36.2	
55	フルトン, ハミッシュ	ラガジー	1987(昭和62)	写真	147.0×119.2		110	原 勝四郎	道化	1941(昭和16)	油彩、ボール紙	90.3×73.2	
56	鏡図	Seven+Nine=Eight	1959(昭和34)	銅版、紙	15.0×21.7		111	ノグチ, イサム	空虚	1971-79(昭和46-54)	ブロンズ	116×86×66	
57	鏡図	One+Two+Four=Seven	1959(昭和34)	銅版、紙	15.0×21.6		112	デュシャン, マルセル	横顔の自画像	1958(昭和33)	紙、コラージュ	33.3×25.3	
58	木村 希八	作品	制作年不明	銅版、紙	17.9×13.8		113	ルフ, トマス	肖像(J.バウムガルトナー)	1989(平成元)	Cプリント	200.6×156.2	
59	木村 希八	作品	制作年不明	銅版、紙	18.1×14.3		114	村井 正誠	自画像(太い線)	1974(昭和49)	油彩、キャンバス	162.2×130.6	
60	木村 希八	作品	制作年不明	銅版、紙	17.8×13.9		115	ショーベル, ジュリアン	TOD CAGE WITHOUT BARS 1	1983(昭和58)	銅版、紙	74.6×59.7	
61	山本 容子	Asparagus Guy	1977(昭和52)	銅版、紙	45.0×59.8		116	ショーベル, ジュリアン	TOD CAGE WITHOUT BARS 2	1983(昭和58)	銅版、紙	74.7×59.5	
62	山本 容子	To the park	1978(昭和53)	銅版、紙	45.3×59.8		117	ショーベル, ジュリアン	TOD CAGE WITHOUT BARS 3	1983(昭和58)	銅版、紙	75.1×59.7	
63	山本 容子	The Museum	1978(昭和53)	銅版、紙	45.4×59.8		118	ショーベル, ジュリアン	TOD CAGE WITHOUT BARS 4	1983(昭和58)	銅版、紙	74.9×59.3	
64	萩原 英雄	お伽の国 No.1	1966(昭和41)	木版、紙	59.2×90.7		119	ショーベル, ジュリアン	TOD CAGE WITHOUT BARS 5	1983(昭和58)	銅版、紙	74.4×59.2	
65	難波田 史男	作品 9	1966-69(昭和41-44)	ペン、紙	66.4×90.8		120	ショーベル, ジュリアン	TOD CAGE WITHOUT BARS 6	1983(昭和58)	銅版、紙	74.9×59.4	
66	バスキア, ジャン・ミッシェル	無題	1983(昭和58)	シルクスクリーン、キャンバス	146.0×192.0		121	ショーベル, ジュリアン	TOD CAGE WITHOUT BARS 7	1983(昭和58)	銅版、紙	74.5×59.3	
67	香山 小鳥	田中恭吉あて葉書(大正1年9月14日付)		木版、紙	14.0×9.0		122	ショーベル, ジュリアン	TOD CAGE WITHOUT BARS 8	1983(昭和58)	銅版、紙	74.9×59.2	
68	香山 小鳥	竹久夢二あて葉書(大正1年10月6日付)		木版、紙	14.0×9.0		123	ショーベル, ジュリアン	TOD CAGE WITHOUT BARS 9	1983(昭和58)	銅版、紙	74.8×59.5	
69	香山 小鳥	恩地孝四郎あて葉書(大正1年10月6日付)		木版、紙	14.0×9.0		124	シャーマン, シンディ	無題	1983(昭和58)	タイプCプリント	241.5×115.0	
70	香山 小鳥	EX-LIBRIS 下絵	1912(明治45/大正元)頃	インク、紙	6.7×5.5		125	クルーガー, バーバラ	無題(私を覚えていて)	1988(昭和63)	シルクスクリーン、ビニール	378.7×268.1	
71	香山 小鳥	EX-LIBRIS	1912(大正元)頃	木版、紙	8.5×7.2		126	アルマンド	頭 18-7-90	1990(平成2)	油彩、キャンバス	250.7×198.5	
72	香山 小鳥	詩画集『お前は何処から』	1912(明治45/大正元)	インク、ペン、水彩、紙	20.2×11.8		127	福岡 道雄	反といふ字	1990(平成2)	ブロンズ	13×64.5×49.4	
73	田中 荘吉	詩画集『驚愕の後』	1912(明治45/大正元)	ペン、インク、紙	16.6×11.1(冊子)		128	麻生 三郎	生きている気配 2	1978(昭和53)	油彩、キャンバス	162.0×227.3	受託作品
74	【恩地 孝四郎】	詩画集『死にたる泪』	1911(明治44)	インク、ペン、水彩、紙	17.5×12.8		129	アレンシスキー, ピエール	あなたは何處に	1988(昭和63)	エッティング、アクアチント、紙	177.0×89.0	
75	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 1 到着	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	49.8×62.7		130	フランシス, サム	足跡	1960(昭和35)	リトグラフ、紙	63.5×90.5	
76	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 2 遺産を相続する	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	50.1×62.6								
77	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 3 善良なとの出会い	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	49.9×62.2								
78	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 4 ゴスペルを歌う(善良な人)、マディ・シン・スクエア・ガーデンにて	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	50.3×62.8								
79	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 5 浪費のはじまり	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	50.2×62.4								
80	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 6 45kgの弱虫	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	50.5×52.1								
81	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 7 酒場	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	49.9×62.3								
82	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 8 オールドミスとの結婚	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	49.9×62.8								
83	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 9 選挙運動	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	30.5×40.3								
84	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 10 牢獄を眺める	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	50×62.6								
85	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 11 ハーレムでの死	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	49.8×62.8								
86	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 12 財布が空になってゆく	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	50.1×62.5								
87	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 13 分裂	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	49.7×62.4								
88	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 14 排除	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	50.3×62.6								
89	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 15 他者との出会い	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	50.5×62.5								
90	ホックニー, デヴィッド	『放蕩者の遍歴』より 16 精神病院	1961-63(昭和36-38)	エッチング、アクアチント、紙	30.5×39.9								
91	ダイン, ジム	『ドリアン・グレイの肖像』より	1968(昭和43)	リトグラフ、エッチング、紙	44.6×30.9								
92	横尾 忠則	切断された小指に捧げるバラード	1966(昭和41)	シルクスクリーン、紙	105.6×75.2								
93	赤瀬川 原平	「漫画主義」ポスター	1970(昭和45)頃	オフセット、紙	51.9×37.3								
94	赤瀬川 原平	作品	1969(昭和44)	リトグラフ、紙	25.8×36.3								
95	磯辺 行久	Air Systm	1968(昭和43)	シルクスクリーン、紙	53.1×80.8								
96	荒川 修作	FROM THE MECHANISM OF MEANING(A+B=C)	1972(昭和47)	シルクスクリーン、紙	83.6×60.0								
97	バターソン, サイモン	大熊座	1992(平成4)	リトグラフ、紙	109.3×134.7×5.2								
98	リンク, サイモン	アート・コローニュ1986年10月	1987(昭和62)	油彩、キャンバス	182.8×182.8								
99	高松 次郎	THESE THREE WORDS	1970(昭和45)	オフセット・シルクスクリーン、紙	39.8×40.2								
じぶん 自己 後期: 2004年2月17日(火) ~4月4日(日)													
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
100	シーガル, ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具、他	264.6×359.9×270.4		131	下村 規山	白描 魔障図	1910(明治43)	墨、絹	67.2×164.6	
101	中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	受託作品	132	下村 清時	太子像	1921(大正10)	顔料、木	101.5×59.2	
102	ムンク, エドヴァルト	骸骨の腕のある自画像	1895(明治28)	リトグラフ、紙	45.6×32.0		133	川端 龍子	狩人の幻想	1948(昭和23)	顔料、紙	239.8×721.6	
103	岸田 劾生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2	受託作品	134	高山辰雄	高山辰雄銅版画集「聖家族」1	1976(昭和51)	エッチング、アクアチント、紙	14.2×17.6	
104	高須 光治	自画像	1915(大正4)	油彩、板	45.4×37.7		135	高山辰雄	高山辰雄銅版画集「聖家族」2	1976(昭和51)	エッチング、アクアチント、紙	32.5×23.5	
105	保田 龍門												

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考	しごと 労働 2003年12月16日(火)～2004年4月4日(日)	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
164	野村 仁	自転と重力	1982-84(昭和57-59)	カラー写真	181.6×123.8			習作 10 大橋ニテ	1912(大正元)	鉛筆、紙	38.4×25.4	
165	北畠 吉彦	絵画浴一kuro(黒)	1995(平成7)	油彩、キャンバス	260.0×210.0×6.5			習作 126 [風景]	1914(大正3)	水彩、紙	22.3×33.8	
166	前田 常作	西国巡礼 第一番 那智山 青岸渡寺	1988(昭和63)	リトグラフ、紙	67.0×49.7			習作 91 [風景] 川端 洗濯ものをもつ女性	制作年不明	水彩、紙	31.2×21.5	
167	前田 常作	西国巡礼 第二番 紀三井山 金剛宝寺	1988(昭和63)	リトグラフ、紙	67.0×49.7			習作 110 瓦焼き	1913(大正2)	水彩、紙	23.1×31.8	
168	前田 常作	西国巡礼 第三番 風猛山 粉河寺	1988(昭和63)	リトグラフ、紙	67.0×49.7			習作 130 瓦焼	1913(大正2)	水彩、紙	22.9×31.3	
169	申璋湜	ARIRANG-Prayer	1990(平成2)	木版、紙	181.2×360.0			習作 153 [風景]	1913(大正2)	水彩、紙	32.6×47.1	
たべもの 食 2003年12月16日(火)～2004年4月4日(日)												
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考						
170	川口 軌外	静物	1942(昭和17)頃	油彩、キャンバス	40.5×71.0	受託作品	214 大亦 新治郎(観風)	習作 10 大橋ニテ	1912(大正元)	鉛筆、紙	38.4×25.4	
171	内田 静馬	[白菜]	制作年不明	木版、紙	27.2×32.3	前期展示	215 大亦 新治郎(観風)	習作 126 [風景]	1914(大正3)	水彩、紙	22.3×33.8	
172	平塚 運一	ネギ	1925(大正14)	木版、紙	23.1×14.5	後期展示	216 大亦 新治郎(観風)	習作 91 [風景] 川端 洗濯ものをもつ女性	制作年不明	水彩、紙	31.2×21.5	
173	逸見 享	ねぎばたけ	1935(昭和10)	木版、紙	13.8×13.7	前期展示	217 大亦 新治郎(観風)	習作 110 瓦焼き	1913(大正2)	水彩、紙	23.1×31.8	
174	逸見 享	茗荷	1935(昭和10)頃	木版、紙	30.6×18.6	後期展示	218 大亦 新治郎(観風)	習作 130 瓦焼	1913(大正2)	水彩、紙	22.9×31.3	
175	吉原 英雄	大地から	1977(昭和52)	エッチング、メゾチント他、紙	54.5×75.5		219 大亦 新治郎(観風)	習作 153 [風景]	1913(大正2)	水彩、紙	32.6×47.1	
176	吉原 英雄	THREE FORKS	1976(昭和51)	石版、エッチング、紙	63.7×48.4		220 大亦 新治郎(観風)	習作 96 [田畑]	1914(大正3)	水彩、紙	24.8×34.4	
177	浜口 陽三	17のさくらんぼ	1968(昭和43)	カラーメゾチント、紙	24.5×51.5		221 大亦 新治郎(観風)	習作 93 [風景] 池と農夫	制作年不明	水彩、紙	25.7×34.6	
178	龜井 玄兵衛	みのり	1961(昭和36)	顔料、紙	166.4×123.8	前期展示	222 大亦 新治郎(観風)	習作 92 [風景] 積みわら	制作年不明	水彩、紙	23.7×34.3	
179	杉田 勇次郎	蔬菜	1925(大正14)	顔料、絹	45.7×52.5	後期展示	223 大亦 新治郎(観風)	習作 139 耕作	1919(大正8)	水彩、紙	22.0×34.4	
180	伊藤 草白	葡萄之図	1925(大正14)	顔料、絹	41.9×51.4		224 大亦 新治郎(観風)	習作 145 [風景]	制作年不明	水彩、紙	33.5×49.9	
181	平川 清蔵	牛と男	1931(昭和6)	リノカット、紙	19.7×26.3	前期展示	225 大亦 新治郎(観風)	撒水夫『方寸』第3巻第6号掲載	1909(明治42)			
182	平川 清蔵	[食事]	1932(昭和7)頃	リノカット、紙	19.8×26.6	後期展示	226 石井 柏亭	川沿の畑『方寸』第3巻第7号掲載	1909(明治42)			
183	武田 新太郎	[豚]	1936(昭和11)	木版、紙	47.0×33.5	前期展示	227 板本 繁二郎	きこり『方寸』第4巻第6号掲載	1910(明治43)			
184	伊東 健乃典	[馬と仁舟]	制作年不明	木版、紙	23.1×31.2	後期展示	228 倉田 白羊	農夫	1915(大正4)頃	油彩、キャンバス	53.3×41.0	
185	木下 孝則	七面鳥	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	130.5×80.4	前期展示	229 林 義明	伊豆大島小景	1915(大正4)	油彩、キャンバス	45.6×60.7	
186	内田 静馬	[南洋果物とリンゴとナイフ]	制作年不明	木版、紙	27.0×36.3	後期展示	230 鶴田 吾朗	牧場の夕	1916(大正5)	木版、紙	28.5×19.1	
187	内田 静馬	[果物]	1929(昭和4)	木版、紙	24.4×31.8	後期展示	231 鶴田 吾朗	[失題]	1916(大正5)頃	木版、紙	28.3×20.3	前期展示
188	福岡 道雄	アップル	1972(昭和47)	黒色強化ポリエステル、木	230×114×95	受託作品	232 鶴田 吾朗	[失題]	1916(大正5)	木版、紙	28.7×20.7	後期展示
189	浜田 知明	りんご	1984(昭和59)	エッチング、紙	20.8×23.5	前期展示	233 鶴田 吾朗	[失題]	1916(大正5)年頃	木版、紙	29.5×21.3	
190	深沢 幸雄	りんごの中の夜A	1978(昭和53)	デイープエッチング他、紙	36.4×52.8	後期展示	234 鶴田 吾朗	日本風景版画第二輯会津之部 2 若松城趾一城壁内農夫の草刈	1917(大正6)	木版、紙	17.5×24.0	
191	デューラー、アルブレヒト	「ヨハネ黙示録」No.9 書物を食べる聖ヨハネ	1948頃	エンゲルレーヴィング、紙	38.1×27.3	受託作品	235 森田 恒友	日本風景版画第二輯会津之部 4 檜原湖畔・檜原村暮より対岸を望む	1917(大正6)	木版、紙	23.8×17.5	
192	岸田 効生	「天地創造」より 石を噛む人	1914(大正3)/1975(昭和50)刷	銅版、紙	12.6×12.9	前期展示	236 森田 恒友	富士のある風景	1931(昭和6)	拓刷、紙	25.3×33.8	
193	森村 泰昌	だぶらかし 肖像A	1988(昭和63)	カラープリント	120.0×120.0	後期展示	237 大内 青圃	筍	1931(昭和6)	拓刷、紙	34.0×24.8	
194	森村 泰昌	だぶらかし 肖像B	1988(昭和63)	カラープリント	120.1×120.1		238 大内 青圃	農家	1929(昭和4)	木版、紙	20.4×28.2	
195	森村 泰昌	だぶらかし 肖像C	1988(昭和63)	カラープリント	120.0×120.1	前期展示	239 大内 青圃	麦秋	1931(昭和6)	木版、紙	23.0×31.8	
196	森村 泰昌	だぶらかし 肖像D	1988(昭和63)	カラープリント	120.1×120.0	後期展示	240 大内 青圃	風景	1932(昭和7)	木版、紙	27.0×38.1	
197	北山 善夫	飴でもうかね	1987(昭和62)	竹、紙、革	69.0×214.5×61.0	受託作品	241 武田 由平	[ポンプと男]	1933(昭和8)	木版、紙	37.5×45.0	
198	デュフィ、ラウル	コンボティエのある静物	1940(昭和15)	油彩、キャンヴァス	65.2×81.2	前期展示	242 朝井 清	百姓	1932(昭和7)頃	木版、紙	23.9×23.6	
199	玉置 正敏	三角くじを食べる男達	1953(昭和28)	油彩、キャンバス	116.5×91.0	後期展示	243 板本 義夫	馬と馬子	1931(昭和6)	リノカット、紙	18.0×23.2	前期展示
200	ビカソ、パプロ	貧しき食事	1904(明治37)	エッチング、紙	46.3×38.0	受託作品	244 平川 清蔵	[収穫]	1931(昭和6)	リトグラフ、紙	33.5×46.7	後期展示
201	深沢 幸雄	めし	1956(昭和31)	メゾチント、紙	23.8×17.7	前期展示	245 北澤 収治	[耕作]	1912(明治45)頃	木版、紙	8.2×11.6	
202	川口 軌外	キャフェにて	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	79.0×64.0	後期展示	246 香山 小鳥	太陽の下	1912(明治45)	木版、紙	16.2×11.1	
203	川口 軌外	バナナのある静物	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	91.1×73.0	受託作品	247 香山 小鳥	夕照	1912(明治45)頃	木版、紙	8.1×11.5	
204	上田 薫	スプーンのジャムB	1975(昭和50)	油彩、キャンバス	181.9×227.3	前期展示	248 香山 小鳥	地をたがやす心 公刊『月映VII』所収	1915(大正4)	木版、紙	15.2×12.1	
205	林 康夫	ホットケーキ	1971(昭和46)	陶	18.0×33.0×32.0	後期展示	249 藤森 静雄	耕する者の心 『一つの道』所収	1922(大正11)	木版、紙	11.3×8.0	
206	井田 照一	Drink	1968(昭和43)	石版、紙	76.8×60.4		250 深澤 索一	花壳り	1910(明治43)頃	顔料、紙	151.0×78.0	前期展示
207	山本 容子	Joke, Juice, Journey	1977(昭和52)	銅版、紙	57.0×76.3	前期展示	251 山口 八九子	[風景]	制作年不明	墨、顔料、紙	134.4×34.0	前期展示
208	草間 弥生	レモンジュース	1984(昭和59)	シルクスクリーン、紙	61.0×53.5	後期展示	252 大亦 新治郎(観風)	梅ヶ畠村	1915(大正5)	顔料、絹	145.0×50.9	
209	駒井 哲郎	調理場	1958(昭和33)	銅版、紙	21.4×31.1		253 山口 八九子	水辺村落	1917(大正6)頃	顔料、絹	125.8×42.0	
210	駒井 哲郎	食卓	1959(昭和34)	アクアチント、紙	31.8×22.4	前期展示	254 富岡 鉄斎	昼の波止場	1942(昭和17)	顔料、紙	148.7×125.2	
211	駒井 哲郎	果実の受胎	1959(昭和34)	エッチング、アクアチント、紙	38.4×44.2	後期展示	255 山口 八九子	漁夫倨傲図				

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
279	平川 清蔵	[クレーン]	1932(昭和7)頃	リノカット、紙	26.3×19.7	
280	小野 忠重	ガスタンクの街	1933(昭和8)	木版、紙	24.5×30.4	
281	小野 忠重	[裏街]	昭和初期	木版、紙	22.0×17.9	
282	小野 忠重	施療病院の廊下	1929(昭和4)	木版、紙	21.7×17.6	後期展示
283	小野 忠重	犠牲(彼等の結末)	1933(昭和8)	木版、紙	49.8×63.0	前期展示
284	小野 忠重	犠牲 『三代の死』 より	1931(昭和6)	木版、紙	12.3×15.8	前期展示
285	小野 忠重	人々	昭和初期	木版、紙	14.2×10.5	前期展示
286	小野 忠重	工場街	1933(昭和8)	木版、紙	48.5×48.5	後期展示
287	小野 忠重	工場区(赤い壁)	昭和初期	木版、紙	24.2×30.4	後期展示
288	小野 忠重	[工場区]	昭和初期	木版、紙	24.5×30.8	後期展示
289	小野 忠重	工場 『小野忠重作品集 工場』 より	1932(昭和7)	木版、紙	14.9×11.5	後期展示
290	小野 忠重	工場 『新版画』 第1号所収	1932(昭和7)	木版、紙	14.4×22.4	
291	清水 正博	工場区の橋A	1935(昭和10)	木版、紙	12.2×9.1	
292	石垣 栄太郎	ボーナス・マーチ	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	145.4×107.0	
293	石垣 栄太郎	キューーバ島の反乱	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	181.0×139.0	
294	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所のための壁画画稿I	1934(昭和9)	木炭、紙	233.0×274.8	
295	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所のための壁画画稿II	1934(昭和9)	木炭、紙	233.0×275.0	
296	石垣 栄太郎	ハーレム裁判所のための壁画画稿III	1934(昭和9)	木炭、紙	127.6×127.8	
297	高井 貞二	輪廻	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	108.9×143.9	
298	高井 貞二	建設	1938(昭和13)	油彩、キャンバス	188.0×129.0	
299	高井 貞二	支那の市場	1939(昭和14)	油彩、キャンバス	129.5×160.0	
300	高井 貞二	エミグラン트の街	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	129.4×158.7	
301	高井 貞二	松花江の船出	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	130.4×161.6	
302	麿畠	鉄骨とクレーンと人と	1954(昭和29)	油彩、板	116.5×91.6	
303	麿畠	鉄骨	1957(昭和32)	石版、紙	64.0×49.5	
304	池田 龍雄	規格品	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	145.8×111.4	

あそび 遊戯 2003年12月16日(火)～2004年4月4日(日)

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
305	林 秀行	美容体操	1973(昭和48)	磁	31×20.5×11.9	
306	船井 裕	TRAP	1968(昭和43)	エッチング、紙	65×48	
307	船井 裕	CAMOUFLAGE	1968(昭和43)	エッチング、紙	65×48	
308	堀内 正和	うらがえる円筒a	1960(昭和35)	鉄	222×7.5×4	
309	高原 洋一	GEOMETRIC NARCISSUS AX	1988(昭和63)	シルクスクリーン、紙	11.4×156.6	
310	奈良 巍	A Turning Point V3	1985(昭和60)	シルクスクリーン、紙	59.4×83.	
311	曾我 孝司	Floating Rain '98	1998(平成10)	石、銅	135×36×28	
312	遠藤 享	SPACE & SPACE <GLASS>	1984(昭和59)	オフセット・リトグラフ、紙	56.0×58.0	
313	建畠 覚造	PILED CUP 2大	1996(平成8)	木、FRP、鉛	140.7×41.1×41.1	
314	星 憲司	Layer 89-26	1989(平成元)	アクリル、キャンバス	182.3×227.5	
315	アルマン、フェルナンデス	黄色のチューブ	1960(昭和35)	絵具チューブ、合成樹脂	44.7×25.0×6.0	
316	泉 茂	FS2008	1967(昭和42)	油彩、キャンバス	154×249.5	
317	ウェッセルマン、トム	果物と金魚鉢のある静物のはしづき	1989(平成元)	ボード、シルクスクリーン	144.2×199.5	
318	松本 薫	Cycle-90° R II	1990(平成2)	ステンレススチール、スピードコントロールモーター、減速機、ペアリング	200×72×140	
319	リキテンシュタイン、ロイ	二つの絵画:ダッグウッド	1984(昭和59)	木版、リトグラフ、紙	129.2×91.4	
320	船井 裕	FUGA No.1	1968(昭和43)	石版、紙	61.5×50.0	
321	柳原 駿夫	褐釉金彩花瓶ーカリフォルニアシャワー	1975(昭和50)	陶	37.0×57.0×24.0	
322	ゴールズワージー、アンディ	色にしたがって-列に並べたかえでの葉/大内山村/1987年11月14日	1991(平成3)	カラープリント	122.2×63.1/25.3×25.1	
323	ゴールズワージー、アンディ	注意深く一部をやぶった葉の葉/大内山村/1987年11月15日	1987-91(昭和62-平成3)	カラープリント	130×85.9/25.3×25.1	
324	三島 喜美代	バッケージ	1974(昭和49)	陶	26.0×36.5×27.0	
325	川上 力三	座考シリーズー空中棲闘ー	1983(昭和58)	陶	60.0×50.0×57.5	
326	木村 秀樹	H君の水鳥	1983(昭和58)	シルクスクリーン、キャンバス	165.0×229.4	
327	中村 錦平	土瓶メタモルフォーゼ1	1988(昭和63)	陶	14.0×33.0×15.0	
328	中村 錦平	土瓶メタモルフォーゼ2	1988(昭和63)	陶	20.0×19.6×12.0	
329	中村 錦平	土瓶メタモルフォーゼ3	1988(昭和63)	陶	29.3×28.5×14.7	
330	荒川 修作	NEXT TO THE LAST	1967-71(昭和42-46)	シルクスクリーン、紙	79.0×117.1	
331	森村 泰昌	美術史の娘、王女A	1990(平成2)	Cプリント	210.0×160.0	
332	中村 康平	Resurrection	1991(平成3)	陶	55.0×52.5×40.0	
333	中西 夏之	コンパクト・オブジェ(卵)	1966(昭和41)	ポリエステル樹脂	16.0×10.5×10.5	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	備考
334	齋倉 順吉	ブラックミュージック	1984(昭和59)	陶	41.5×25.0×13.0	
335	齋倉 順吉	作品	1984(昭和59)	陶	37.0×40.0×22.0	
336	建畠 覚造	WAVING LADDER 10B	1993(平成5)	木、FRP、ウレタン塗装	183.8×57.8×59.9	



会場風景「からだ 身体」



会場風景「ことば 言葉」



会場風景「たべもの 食」



会場風景「しごと 仕事」



会場風景「あそび 遊戯」

# 展覧会事業 常設展

## 1. 美術館へ行こう 1

会期：2003年4月22日(火)～6月29日(日)

休館日：月曜日(5月5日は開館、翌6日休館)

主催：和歌山県立近代美術館

会場：1階展示室A B他館内

小特集：新収蔵作品+機械とモダニズム

内容：「はじめての美術 絵本原画の世界展」にあわせて館蔵作品の中から同展への出品作家の作品を展示した「絵本をめぐる作家たち」、「チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド」展にあわせて近代的な生活の諸相をうかがわせる作品による「機械とモダニズム」、新収蔵作品の紹介、中でも保田龍門、春彦、シルヴィアという一家の芸術探究を一つのコーナーとして構成した。

担当学芸員：奥村泰彦、寺口淳治

## 2. 美術館へ行こう 2

会期：2003年7月8日(火)～9月15日(月・祝)

休館日：月曜日(7月21日は開館、翌22日休館)

主催：和歌山県立近代美術館

会場：1階展示室A B他館内

小特集：近代美術のはじまり

内容：「黒田清輝展」にあわせて明治期の作品を中心に近代美術のはじまりを見直すコーナーを設けた他、「海の見える風景」「海外の作品」「戦後の美術-1950年代の表現」「明治から大正へ」「アメリカで学んだ作家たち」等のテーマで構成した。

担当学芸員：奥村泰彦、宮本久宣

## 3. 美術館へ行こう 3

会期：2003年9月23日(火)～11月24日(月・祝)

休館日：月曜日(10月13日は開館、翌14日休館)／11月3日は開館、翌4日休館)

主催：和歌山県立近代美術館

会場：1階展示室A B他館内

小特集：空と美術

内容：ライト兄弟による飛行から100年を記念した「空と美術」、「たがやすように」展にちなんだ「植物のイメージから」、「感情・祈り」「絵の響き、音の響き」などのコーナーで構成した。

担当学芸員：奥村一郎、寺口淳治

観覧料：一般310(250)円／大学生210(160)円／小・中・高生無料

( )内は20名以上の団体料金／高齢者(65才以上)および障害者は無料

### 美術館へ行こう！

#### 出品リスト

#### No. 作者名

#### 作品名

#### 制作年

#### 技法、素材

#### 寸法(cm)

#### 備考

#### 和歌山ゆかりの作家と日本の近代美術-新収蔵作品を中心とした展示

1 マンズー、ジャコモ	ジュリア像	制作年不明	ブロンズ	60.0×70.0×64.0
2 神中 糸子	海岸風景	1888-92(明治21-25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4
3 山下 新太郎	臥婦	1910年代	油彩、キャンバス	79.5×140.7
4 萬 鐵五郎	湘南風景	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス	33.3×46.0
5 岸田 利生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板	51.3×39.2
6 東郷 青児	静物	1924(大正13)	油彩、キャンバス	46.0×38.0
7 島海 青児	蘇州風景	1939(昭和14)	油彩、キャンバス	88.0×145.3
8 梅原 龍三郎	静浦(口野)風景	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	60.8×50.1
9 木下 孝則	猫	1926(大正15)	油彩、キャンバス	60.2×59.0
10 佐伯 祐三	リュ・デュ・シャトーの歩道	1925(大正14)	油彩、キャンバス	60.0×73.1
11 佐伯 祐三	レ・ジュ・ド・ノエル	1925(大正14)	油彩、キャンバス	72.5×60.6
12 佐伯 祐三	広告のある門	1925(大正14)	油彩、キャンバス	59.9×73.2
13 佐伯 祐三	カフェ・レストラン	1927(昭和2)	油彩、キャンバス	61.0×50.3
(13:5月29日まで展示)				受託作品
14 佐伯 祐三	モラン風景	1928(昭和3)	油彩、キャンバス	38.0×44.5
(14:5月30日から展示)				
15 建畠 大夢	お湯のつかれ	1913(大正2)	ブロンズ	68.0×40.0×56.0
16 川口 軌外	少女と貝殻	1934(昭和9)	油彩、キャンバス	167.3×267.2
17 須田 国太郎	風景	1950(昭和25)	油彩、キャンバス	49.8×60.5
18 高畠 達四郎	巴里	1953(昭和28)	油彩、キャンバス	46.0×54.7×2.0
19 小林 源太郎	[横たわる裸婦]	制作年不明	油彩、ボード	22.8×35.3×2.0
20 中川 一政	[薔薇]	1966(昭和41)頃	油彩、キャンバス	41.0×37.0
21 鈴木 信太郎	静物	制作年不明	油彩、キャンバス	39.8×54.4×2.0
22 佐竹 徳	牛窓の海	制作年不明	油彩、キャンバス	38.5×45.8×2.1
23 朝井 開右衛門	サーカス(B)	1968(昭和43)	油彩、板	30.0×37.7
24 香月 泰男	蝶魚	1958(昭和33)	油彩、キャンバス	26.8×45.5
25 鴨居 玲	LOVE	1980(昭和55)頃	油彩、キャンバス	61.0×41.2×2.0
26 川島 草堂	[虎図屏風]	1934(昭和9)	顔料、紙	152.5×54.2
27 中谷 紀山	[和歌浦風景]	制作年不明	墨、顔料、紙	33.3×119.3
28 下村 清時	龜置物	制作年不明	木	12.3×21.5×6.2／10.2×19.3×5.0
29 川島 草堂	[風景]	制作年不明	墨、顔料、絹	21.0×89.5
30 野長瀬 晚花	暮の山	1920(大正9)	顔料、絹	40.0×51.3
31 山口 八九子	水辺村落	1917(大正6)頃	墨、顔料	125.8×42.0
32 日高 昌克	春霞遙曳図	1953(昭和28)	墨、顔料	29.2×63.0
33 日高 昌克	初夏晴嵐図	1957(昭和32)	墨、顔料、紙	28.2×41.1
34 松本 納介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5
35 田辺 竹次	自画像	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	18.0×15.5
36 田辺 竹次	ひまわり	1949(昭和24)	油彩、キャンバス	50.0×61.0
37 田辺 竹次	黒の流れ	1960(昭和35)	油彩、板	180.0×180.0

#### 絵本をめぐる作家たち

38 大沢 昌助	そうぐう A	1989(平成元)	リトグラフ、紙	59.3×82.8
39 大沢 昌助	そうぐう B	1989(平成元)	リトグラフ、紙	59.5×82.7
40 大沢 昌助	そうぐう C	1989(平成元)	リトグラフ、紙	59.2×82.8
41 大沢 昌助	そうぐう D	1989(平成元)	リトグラフ、紙	59.3×82.8
42 大沢 昌助	そうぐう E	1989(平成元)	リトグラフ、紙	59.3×82.8
43 大沢 昌助	そうぐう F	1989(平成元)	リトグラフ、紙	59.4×82.9
44 大沢 昌助	そうぐう G	1989(平成元)	リトグラフ、紙	59.4×82.7
45 大沢 昌助	そうぐう H	1989(平成元)	リトグラフ、紙	59.5×82.5
46 稲田 一穂	鳥	1949(昭和24)	顔料、紙	112.1×161.4
47 稲田 一穂	そよ風	1951(昭和26)	顔料、紙	156.5×141.3
48 稲田 一穂	汀	1956(昭和31)	顔料、紙	130.2×96.8
49 池田 龍雄	作品	1955(昭和30)	コンテ、インク、紙	33.8×22.4
50 元永 定正	作品	1964(昭和39)	アクリル、小石、キャンバス	281×181.2
51 元永 定正	無題	1972(昭和47)	アクリル、キャンバス	130.5×162.5

#### 機械とモダニズム

52 高井 貞二	機械	1931(昭和6)頃	油彩、キャンバス	52.9×45.5
53 高井 貞二	感情の遊離	1932(昭和7)	油彩、キャンバス	150.7×91.0
54 高井 貞二	不許	制作年不明	鉛筆、紙	28.0×19.0
55 高井 貞二	輪廻	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	108.9×143.9
56 高井 貞二	限りなき寂莫	1937(昭和12)頃	油彩、キャンバス	112×145.6

No.	作者名	作品名	制作年	技法、素材	寸法(cm)	備考
57	高井 貞二	煙	1933(昭和8)	油彩、キャンバス	91.1×117.0	
58	建畠 覚造	CHIMNEY BOTTLES	1970(昭和45)	アルミニウム、ステンレス	62.0×66.3×20.0	
59	デュフィ、ラウル	電気の精 10点組	1938(昭和13)頃	石版、紙	各100.0×62.0	
60	佐伯 祐三	下落合風景	1926(大正15)頃	油彩、キャンバス	49.7×60.4	受託作品
61	伊東 健乃典	[ガスステイション]	制作年不明	木版、顔料、紙	23.4×32.4	
62	徳力 富吉郎	祇園町の夜更	1933(昭和8)	木版、顔料、紙	30.8×42.7	
63	藤森 静雄	新東京百景 夜の歌舞伎座	1930(昭和5)	木版、顔料、紙	18.0×24.5	
64	平川 清蔵	[クレーン]	1932(昭和7)頃	リノカット、紙	26.3×19.7	
65	清水 正博	橋	1935(昭和10)	木版、紙	26.4×37.6	
66	清水 正博	巡航船	1934(昭和9)	木版、紙	48.5×38.0	
(61-66:5月25日まで展示)						
67	伊東 健乃典	[黒い風景]	制作年不明	木版、紙	23.3×29.9	
68	徳力 富吉郎	道頓堀の夜	制作年不明	木版、顔料、紙	25.0×32.8	
69	野村 俊彦	[帝劇]	制作年不明	木版、顔料、紙	23.2×32.3	
70	藤森 静雄	新東京百景第一輯第十六號中央氣象台	制作年不明	木版、顔料、紙	24.2×18.5	
71	清水 正博	数寄屋橋より	1933(昭和8)	木版、紙	17.9×24.0	
72	内田 静馬	第八佐渡丸(B)	1935(昭和10)頃	木版、紙	21.0×32.3	
(67-72:5月27日から展示)						
73	泉 茂	夜明け前	1953(昭和28)	エッチング、紙	15.9×23.4	
74	泉 茂	回想の幼年期	1954(昭和29)	エッチング、アクアチント、紙	27.5×21.5	
75	泉 茂	仲間	1954(昭和29)	エッチング、紙	18.9×28.0	
76	豊嶽	鉄骨	1957(昭和32)	石版、紙	64.0×49.5	
(76:5月25日まで展示)						
77	豊嶽	鉄骨・ウィンチ・2人	1957(昭和32)	リトグラフ、紙	39.0×52.7	
(77:5月27日から展示)						
78	豊嶽	鉄骨とクレーンと人と	1954(昭和29)	油彩、板	116.5×91.6	
79	池田 龍雄	規格品	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	145.8×111.4	
80	田辺 竹次	音楽(B)	1963(昭和38)	鉄、プラスチック、板	126.0×91.5×3.5	
81	篠田 守男	デンションとコンプレッション 441 7X	1976(昭和51)	アルミニウム、真鍮、鉄	19.5×31.4×31.3	
82	建畠 覚造	DISK 4	1977(昭和52)	アルミニウム、真鍮	56.0×156.0×88.0	
83	中西 夏之	コンパクト・オブジェ(卵)	1962(昭和37)	ポリエチレン樹脂、他	23.5×14.5×14.5	

新収蔵作品を中心に						
84	長谷川 潔	花を持つ女(『失われた寶玉』別刷)	1920(大正9)	木版、顔料、紙	32.2×23.0	
85	浜口 陽三	編み棒	1985(昭和60)	メゾチント、紙	50.8×76.2	
86	大久保 一	[蒙古人の想]	1933(昭和8)頃	二色木版、顔料、紙	27.2×24.5	
87	大久保 一	[車軸の折れた馬車(鐵西風景)]	1933(昭和8)頃	木版、顔料、紙	17.4×30.9	
88	大久保 一	[解説者]	1932(昭和7)頃	顔料、紙	16.0×17.9	
89	大久保 一	[ジプシの母子]	1933(昭和8)頃	多色木版、顔料、紙	26.4×22.6	
90	大久保 一	[奉天浪速通風景]	1932(昭和7)	多色木版、顔料、紙	17.0×18.5	
91	大久保 一	[支那芝居]	1933(昭和8)頃	多色木版、顔料、紙	17.7×24.2	
92	大久保 一	[幼女像]	1932(昭和7)頃	多色木版、顔料、紙	33.4×24.5	
93	大久保 一	[室内]	1940(昭和15)	多色型紙版、顔料、紙	35.6×47.2	
94	ピカソ、パブロ	貧しき食事	1904(明治37)	エッチング、紙	59.9×50.7	
95	シーガル、ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具、他	264.6×359.9×270.4	
96	ロスコ、マーク	赤の上の黄褐色と黒	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6	
97	山本 容子	Love Lash <ROMANCE>	1984(昭和59)	ソフトグランドエッチング、紙	57.0×75.5	
98	山本 容子	Children Enfant	1985(昭和60)	ソフトグランドエッチング、紙	45.1×59.6	
99	松谷 武判	WORK-63-9	1963(昭和38)	ビニール接着剤、油彩、水彩、キャンバス	187.0×192.0	受託作品

#### 芸術家の系譜－保田龍門、春彦、シリヴィア

100	保田 春彦	梯子と壁	1998(平成10)	ブロンズ	62.0×29.9×46.6
101-117	保田 春彦	デッサン(17点)	1950-90年代	鉛筆、インク他、紙	
118-137	ニオニバルケルロ・保田、シリヴィア	素描(20点)	制作年不明	インク、鉛筆、紙	
138	保田 龍門	自画像	1913-14(大正2-3)頃	油彩、キャンバス	45.6×38.2
139	保田 龍門	白いドレスの女性	1920-23(大正9-12)頃	油彩、キャンバス	60.6×45.2
140	保田 龍門	習作(男性)	1920-23(大正9-12)頃	油彩、キャンバス	60.6×45.2
141	保田 龍門	ティティアーノ《キュビドの教育》部分模写	1922(大正11)	油彩、キャンバス	99.3×99.3
142	保田 龍門	女性	1920-23(大正9-12)頃	油彩、キャンバス	72.6×60.6
143	保田 龍門	構図の研究	1926(大正15)頃	油彩、キャンバス	58.0×83.0
144	保田 春彦	格子と壁	1998(平成10)	ブロンズ	60.0×29.9×44.0

#### 展示室外の作品

145	フランガン、パリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兔	1989(平成元)	ブロンズ	230.0×187.0×128.5
-----	-----------	-----------------	-----------	------	-------------------

No.	作者名	作品名	制作年	技法、素材	寸法(cm)	備考
146	グレコ、エミリオ	病人を看護する	1963(昭和38)	ブロンズ	157×186.5×12	
147	ノグチ、イサム	雲の山	1983(昭和58)	鉄	176.0×113.0×71.8	
148	スネルソン、ケネス	着地	1969(昭和44)	ステンレス	250×1000×360	
149	ヌエラ、フランク	ラッカ III	1968(昭和43)	アクリル、キャンバス	304×760	
150	井上 雅之	T-9216	1992(平成4)	陶	216×246×179	
151	小河 朋司	COLOR TINT -RED AND BLUE-	1996(平成8)	木、アクリル絵具、ミックスホワイト	240×25×20	
152	金子 潤	DANGO	1985(昭和60)	陶	57×72×53	
153	白木 ゆり	Sound-11	1999(平成11)	銅版、紙	120.1×79.5	
154	建畠 覚造	MANJI	1982(昭和57)	ステンレススチール	270×170×75	
155	濱谷 明夫	翔	1998(平成10)	レーヨン糸	190×360×160/190×360×160	2点一組
156	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994(平成6)	ステンレススチール	208.0×335.0×305.0	
157	保田 春彦	聚落を囲む壁 II	1994-95(平成6-7)	鉄	60.0×127.5×451.2	
158	山口 牧生	かたむくかたち A	1984(昭和59)	黒御影石、ベンガラ	180×76×51	



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景

No.	作者名	作品名	制作年	技法、素材	寸法(cm)	備考
<b>海の見える風景</b>						
1	恩地 孝四郎	海の女	1912(明治45)	油彩、キャンバス	45.0×33.3	
2	田中 恭吉	[海]	1910-11(明治43-44)頃	油彩、板	33.0×23.2	
3	古賀 春江	海水浴	1922(大正11)	油彩、キャンバス	91.3×117.0	
4	原 勝四郎	小湾	1940(昭和15)	油彩、ボール紙	58.4×70.4	
5	杉本、ヘンリー	カーメルハイランド海辺	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	80.6×106.0	
6	稗田 一穂	幻想那智	1979(昭和54)	顔料、紙	212.4×169.7	
7	川口 軌外	熊野灘	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	130.4×162.3	
8	川口 軌外	夏の海	1940(昭和15)	油彩、キャンバス	165.7×267.0	
9	岡田 謙三	入江	1959(昭和34)	油彩、キャンバス	189.0×155.5	
10	鳴 刚	無題F	1982(昭和57)	アクリル絵具、キャンバス	168.5×214.5	
11	池田 良二	cape watershed(岬の分水嶺)	1988(昭和63)	エッチング他、紙	75.4×106.5	
12	山本 正道	モントーク岬にて	1979(昭和54)	ブロンズ	15.0×162.5×59.0	
13	ウェッセルマン、トム	シースケープ#8	1966(昭和41)	アクリル絵具、キャンバス	172.9×106.8	
14	クリスト	畳まれた島々/フロリダ州マイアミ、ビスカン湾のためのプロジェクト	1983(昭和58)	航空写真、鉛筆、パステル、布、紙、他	147.5×166.5	
15	ピカソ、パブロ	ミノーロマシー	1935(昭和10)	エッチング、ビュラン、紙	57.0×77.6	
<b>海外の作品</b>						
16	ロスコ、マーク	赤の上の黄褐色と黒	1957(昭和32)	油彩、キャンバス	176.2×136.6	
17	シーガル、ジョージ	煉瓦の壁ぞいに歩く男	1988(昭和63)	石膏、木、アクリル絵具、他	264.6×359.9×270.4	
18	ボルタスキー、クリスチャン	モニュメント4	1986-90(昭和61-平成2)	写真、電球、他	207.7×70.2×7.7	
19	クルアネット、オルドリッチ	密告者の肖像	1990(平成2)	リトグラフ、紙	74.5×57.7	
20	クルアネット、オルドリッチ	尋問	1990(平成2)	リトグラフ、紙	76.7×60.5	
21	クルアネット、オルドリッチ	法廷	1990(平成2)	リトグラフ、紙	76.4×57.6	
22	クルアネット、オルドリッチ	リュージン刑務所321房	1990(平成2)	リトグラフ、紙	76.1×59.8	
<b>戦後の美術—1950年代の表現</b>						
23	下村 良之介	夜の曲	1951(昭和26)	彩色、紙	121.0×121.0	
24	大野 俊嵩	Two Forms	1959(昭和34)	麻布、顔料、木屑、綿	136.8×122.1×17.6	
25	三上 誠	碑	1957(昭和32)	顔料、紙	120.5×60.5	
26	星野 真吾	喪中の作品 A	1965(昭和40)	顔料、紙	180.6×89.5	
27	泉 茂	目	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	60.5×72.5	
28	吉原 英雄	たわむれ	1956(昭和31)	油彩、合板	129.9×91.0	
29	麿図	悲劇よりもより悲痛なるものの静寂	1953(昭和28)	油彩、ガッシュ、紙	91.2×91.2	
30	池田 満寿夫	骨を持つ人(C)	1955(昭和30)	油彩、キャンバス	72.8×57.2	
31	佐野 繁次郎	仲間3	1956(昭和31)	油彩、キャンバス	65.3×53.0	
32	八木 一夫	陰気な暦	1977(昭和52)	黒陶	30.4×30.6×7.8	
33	鈴木 治	土偶 野武士	1959(昭和34)	陶	43.0×26.0×18.0	
34	山田 光	作品	1956(昭和31)	陶	20.2×35.0×22.3	
35	熊倉 順吉	作品	1956(昭和31)	陶	57.0×51.0×45.0	
36	林 康夫	作品	1948(昭和23)	テラコッタ	33.0×23.5×21.5	
37	三浦 省吾	作品	1951(昭和26)	陶	29.3×31.5×21.5	
38	今井 俊満	蝋	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	130.8×191.5	
39	堂本 尚郎	二元的なアンサンブル	1962(昭和37)	油彩、キャンバス	162.0×122.0	
40	田淵 安一	作品	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	130.5×162.0	
41	建畠 覚造	はには	1953(昭和28)	木	83.5×36.0×18.8	
42	建畠 覚造	かほ	1953(昭和28)	木	69.5×21.5×30.2	
43	津高 和一	爆發	1954(昭和29)	油彩、キャンバス	131.0×163.0	
44	白斐 一雄	地察星 青眼虎	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	194.0×130.6	
45	田中 敦子		1961(昭和36)	ビニール絵具、キャンバス	175.0×129.5	
<b>近代美術のはじまり</b>						
46	中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス	200.2×136.6	
47	熊澤 喜太郎 [版元]	御祭禮	1892(明治25)	リトグラフ、紙	42.7×31.8	
48	五姓田 芳柳	相川鍋次郎守正像	1887(明治20)	顔料、絹	128.2×40.4	
49	五姓田 芳柳	相川龍藏守胤像	1887(明治20)	顔料、絹	127.0×40.3	
50	下村 観山	白描 魔障図	1910(明治43)	墨、絹	67.2×164.6	
51	下村 清時	亀置物	制作年不明	木	12.3×21.5×6.2／10.2×19.3×5.0	
52	神中 糸子	風景(ローマ水道跡)	1878-80(明治11-13)	鉛筆、紙	12.5×23.5	
53	神中 糸子	風景	1878-80(明治11-13)	鉛筆、紙	15.5×23.4	
54	神中 糸子	風景	1878-80(明治11-13)	鉛筆、紙	13.2×20.8	
55	神中 糸子	飯田町風景	1879(明治12)	鉛筆、紙	18.7×23.9	
56	神中 糸子	海岸風景	1888-92(明治21-25)	油彩、キャンバス	38.0×80.4	

No.	作者名	作品名	制作年	技法、素材	寸法(cm)	備考
<b>明治から大正へ</b>						
57	鹿子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス	79.6×64.0	
58	大亦 新治郎(親風)	扇の芝	1911(明治44)	鉛筆、紙	36.1×25.3	
59	大亦 新治郎(親風)	[扇の芝]	1911(明治44)頃	水彩、紙	34.2×23.9	
60	大亦 新治郎(親風)	三木町路次	1913(大正2)	鉛筆、紙	33.5×22.3	
61	大亦 新治郎(親風)	三木町路地ニテ	1913(大正2)	水彩、紙	36.7×21.9	
62	保田 龍門	習作	1913-14(大正2-3)頃	油彩、キャンバス	70.4×37.0	
63	保田 龍門	習作	1915(大正4)	油彩、キャンバス	66.4×50.4	
64	建畠 大夢	若き日の北村西望(胸像)	1911(明治44)	ブロンズ	25.0×13.0×12.0	
65	「方寸」	第三卷第四号	1909(明治42)			
66	「方寸」	第三卷第六号	1909(明治42)			
67	「方寸」	第二卷第四号	1908(明治41)			
68	「方寸」	第四卷第四号	1910(明治43)			
69	「方寸」	第三卷第九号	1909(明治42)			
70	「方寸」	第三卷第五号	1909(明治42)			
71	大下 藤次郎(著)	水彩画之栄	1901(明治34)			
72	『LS』No. 1		1905(明治38)			
73	『光風』	第四号	黒田清輝『田舎むすめ』			
74	『光風』	第二号	黒田清輝『近藤智敬肖像』			
75	『光風』	第一号	黒田清輝『銚子寫生の内』			
76	『光風』	第二年第一号	1906(明治39)			
77	『光風』	第三号	1905(明治38)			
78	ニコルソン、ウイリアム	12人の肖像 ヴィクトリア女王	1899(明治32)	木版、紙	26.2×25.1	
79	ニコルソン、ウイリアム	12人の肖像 ブラス・オブ・ウェールズ(エドワード皇太子)	1899(明治32)	木版、紙	27.9×25.4	
80	ニコルソン、ウイリアム	12人の肖像 ビスマルク	1899(明治32)	木版、紙	26.5×24.9	
81	ニコルソン、ウイリアム	12人の肖像 W. E. グラッドストーン	1899(明治32)	木版、紙	27.6×25.5	
82	ニコルソン、ウイリアム	12人の肖像 カンタベリー大主教(フレデリック・テンブル)	1899(明治32)	木版、紙	27.8×25.6	
83	ニコルソン、ウイリアム	12人の肖像 ロバーツ卿	1899(明治32)	木版、紙	26.3×24.9	
84	ニコルソン、ウイリアム	12人の肖像 セシル・ローズ	1899(明治32)	木版、紙	26.5×25.0	
85	ニコルソン、ウイリアム	12人の肖像 サー・ヘンリー・ホーキンズ	1899(明治32)	木版、紙	27.9×25.2	
86	ニコルソン、ウイリアム	12人の肖像 ジェームズ=マクニール・ホイスラー	1899(明治32)	木版、紙	27.1×24.9	
87	ニコルソン、ウイリアム	12人の肖像 ラドヤード・キプリング	1899(明治32)	木版、紙	30.7×24.3	
88	ニコルソン、ウイリアム	12人の肖像 サー・ヘンリー・アーヴィング	1899(明治32)	木版、紙	27.2×25.2	
89	ニコルソン、ウイリアム	12人の肖像 サラ・ベルナール	1899(明治32)	木版、紙	26.2×25.1	
90	山本 鼎	漁夫	1904(明治37)	木版、紙		

No.	作者名	作品名	制作年	技法、素材	寸法(cm)	備考
118	伊藤 草白	葡萄之図	1925(大正14)	顔料、絹	41.9×51.4	
119	杉田 勇次郎	蔬菜	1925(大正14)	顔料、絹	45.7×52.5	
120	徳力 富吉郎	人形	1927(昭和2)	顔料、絹	40.0×51.4	
121	速水 御舟	竹生図	1928(昭和3)	顔料、絹	124.8×41.2	
122	高井 貞二	想ひを	1935(昭和10)	油彩、キャンバス	112.5×145.8	受託作品
123	村井 正誠	URBAIN No.1	1936(昭和11)	油彩、キャンバス	112.2×194.2	
<b>アメリカで学んだ作家たち</b>						
124	浜地 清松	暖炉	1911(明治44)	油彩、キャンバス	102.4×81.7	受託作品
125	石垣 栄太郎	自画像	1917(大正6)	油彩、キャンバス	46.0×37.3	
126	石垣 栄太郎	拳闘	1925(大正14)	油彩、キャンバス	75.4×91.2	
127	石垣 栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス	126.0×91.0	
128	国吉 康雄	乳しづり	1921(大正10)	油彩、キャンバス	61.0×50.5	
129	野田 英夫	少女	1932(昭和7)	リトグラフ、紙	48.0×31.9	
130	松本 埃介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス	162.2×112.5	受託作品
131	建畠 覚造	DISK 4	1977(昭和52)	アルミニウム、真鍮	56.0×156.0×88.0	
<b>展示室外の作品</b>						
132	フナガン, バリー	ねじまがった釣鐘の上を跳ぶ野兔	1989(平成元)	ブロンズ	230.0×187.0×128.5	9月7日まで
133	グレコ, エミリオ	病人を看護する	1963(昭和38)	ブロンズ	157.0×186.5×12.0	
134	クルーガー, バーバラ	無題(私を覚えていて)	1988(昭和63)	シルクスクリーン、ピニール	378.7×268.1	9月7日まで
135	ステラ, フランク	ラッカ III	1968(昭和43)	アクリル、キャンバス	304.0×760.0	
136	小河 朋司	COLOR TINT -RED AND BLUE-	1996(平成8)	木、アクリル絵具、ミックスホワイト	240.0×25.0×20.0	
137	北堀 吉彦	熊野-moegi(萌黄)	1999(平成11)	油彩、キャンバス	270×320×320(3点)	
138	北堀 吉彦	山並-senkoushu(鮮光朱)	1999(平成11)	油彩	170×1020	
139	保田 春彦	格子と壁	1998(平成10)	ブロンズ	60.0×29.9×44.0	
140	保田 春彦	梯子と壁	1998(平成10)	ブロンズ	62.0×29.9×46.6	
141	ケリー, エルズワース	緑の曲線(第2ステート)	1987(昭和62)	リトグラフ、紙	95×212.3	
142	濱谷 明夫	翔	1998(平成10)	レーヨン糸	190×360×160/190×360×160	2点一組 受託作品
143	ノグチ, イサム	雲の山	1983(昭和58)	酸化処理した鉄	176.0×113.0×71.8	
144	スネルソン, ケネス	着地	1969(昭和44)	ステンレス	250×1000×360	
145	建畠 覚造	MANJI	1982(昭和57)	ステンレススチール	270×170×75	
146	保田 春彦	球を覆う幕舎	1994(平成6)	ステンレススチール	208.0×335.0×305.0	
147	保田 春彦	聚落を囲う壁 II	1994-95(平成6-7)	鉄	60.0×127.5×451.2	
148	井上 雅之	T-9216	1992(平成4)	陶	216×246×179	
149	金子 潤	DANGO	1985(昭和60)	陶	57×72×53	
150	山口 牧生	かたむくかたち A	1984(昭和59)	黒御影石、ベンガラ	180×76×51	



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景

美術館へ行こう3  
出品リスト  
No. 作者名

日本の近代美術 和歌山ゆかりの作家を中心とした作品			
1 麻子木 孟郎	パイプを持つ男	1906(明治39)	油彩、キャンバス
2 保田 龍門	トルコ帽の自画像	1913-14(大正2-3)頃	油彩、キャンバス
3 岸田 劉生	黒き帽子の自画像	1914(大正3)	油彩、板
4 久本 信男	和服婦人	制作年不明	油彩、キャンバス
5 田中 康吉	[バラの刺]	制作年不明	油彩、キャンバス
6 福 鐵五郎	湘南風景	1922(大正11)頃	油彩、キャンバス
7 山下 新太郎	臥婦	1910年代	油彩、キャンバス
8 廣島 大夢	お湯のつかれ	1913(大正2)	ブロンズ
9 中村 不折	白頭翁	1907(明治40)	油彩、キャンバス
10 下村 観山	西行上人望富士山図	制作年不明	墨、顔料、絹
11 村上 華岳	仲秋月明之図	1937(昭和12)	顔料、紙
12 大亦 観風	山湯夜趣	1937(昭和12)	墨、顔料、紙
13 日高 昌克	秋峰絶塵図	1957(昭和32)	墨、顔料、紙
14 野長瀬 晚花	大原女と舞妓	1916(大正5)頃	顔料、紙
15 野長瀬 晚花	[秋の頃]	1917(大正6)頃	顔料、紙
16 八田 高容	八坂之雪	1922(大正11)	顔料、絹
17 稲田 一穂	帰り路	1981(昭和56)	顔料、紙
18 松本 竜介	三人	1943(昭和18)	油彩、キャンバス
19 石垣 栄太郎	街	1925(大正14)	油彩、キャンバス
20 石垣 栄太郎	拳闘	1925(大正14)	油彩、キャンバス
21 東郷 青児	静物	1924(大正13)	油彩、キャンバス
22 川口 軌外	少女と貝殻	1928(昭和3)	油彩、キャンバス
23 川口 軌外	広告のある門	1934(昭和9)	油彩、キャンバス
24 佐伯 祐三	下落合風景	1925(大正14)	油彩、キャンバス
25 佐伯 祐三	オペセルヴァトワール附近	1926(大正15)頃	油彩、キャンバス
26 佐伯 祐三	男の顔(K氏の像)	1927(昭和2)	油彩、キャンバス
27 佐伯 祐三	父の肖像	1927(昭和2)	油彩、板
28 木下 義謙	女優の像	1926(昭和元)	油彩、キャンバス
29 木下 孝則	女優の像	1926(大正15)	油彩、キャンバス
30 木下 雅子	肘つく女	1929(昭和4)	油彩、キャンバス
空と美術			
31 長谷川 潔	アレクサンドル三世橋とフランス飛行船	1930(昭和5)	マニエール・ノワール
32 藤森 静雄	大東京十二景 十一月・羽田の秋(東京飛行場)	1932(昭和7)	木版、紙
33 村井 正誠	URBAIN No.1	1936(昭和11)	油彩、キャンバス
34 村井 正誠	百靈廟	1942(昭和17)	油彩、キャンバス
35 村井 正誠	聚落	1943(昭和18)	油彩、キャンバス
36 恩地 孝四郎	詩画集『飛行官能』	1934(昭和9)	凸版、紙(冊子)
37 高井 貞二	隼急襲す	1943(昭和18)	油彩、キャンバス
38 クレー、パウル	高い、高い!	1928(昭和3)	エッチング、紙
39 谷中 安規	花は花	1933(昭和8)	木版、紙
40 谷中 安規	瞑想氏	1933(昭和8)	木版、紙
41 谷中 安規	観覧車	1933(昭和8)	木版、紙
42 谷中 安規	ロケーション	1933(昭和8)	木版、紙
43 埃 九	自転車	1956(昭和31)	油彩、キャンバス
44 泉 茂	目	1955(昭和30)	油彩、キャンバス
45 碇辺 行久	バラシュート・プロジェクト	1969(昭和44)	シルクスクリーン、紙
46 江口 週	飛翔のはじまり	1981(昭和56)	木
47 ラウシェンバーグ、ロバート	空の庭	1969(昭和44)	リトグラフ、シルクスクリーン、紙
48 ローゼンクライス、ジェームズ	F-111:南西北東(4点組)	1974(昭和49)	リトグラフ、シルクスクリーン、紙
49 廣島 覚造	星の樹2	1961(昭和36)	ポリエステル、鉄
50 ルフ、トマス	イングタブル・スピリット・ポートフォリオⅡ 7星座	1990(平成2)	カラー・プリント
51 野村 仁	よこそ地球へ、では2379年後に再会しましょ	1997(平成9)	カラー・プリント、紙(8点組)
52 野村 仁	午前のアナレンマ '90	1990(平成2)	カラー・プリント、紙
53 野村 仁	正午のアナレンマ '90	1990(平成2)	カラー・プリント、紙
54 野村 仁	午後のアナレンマ '90	1990(平成2)	カラー・プリント、紙
55 野村 仁	哺乳類:犬	1994-96(平成6-8)	隕石、御影石、大理石、写真
植物のイメージから			
56 林 義明	農夫	1915(大正4)頃	油彩、キャンバス
57 恩地 孝四郎	植物の世界	1927(昭和2)頃	木版、紙
58 加藤 太郎	作品(1)	1936(昭和11)頃	木版、紙

## 展覧会事業 和歌山県特別事業

### 和歌山県文化表彰の歩み展 創立40周年記念

期：2003年11月1日(土)～11月24日(月・祝)

会休館日：11月4日(火)、10日(月)、17日(月)

主催：和歌山県文化表彰の歩み展実行委員会

会場：和歌山県立近代美術館・展示室C

観覧料：無料

関連行事：ミュージアム・コンサート 11月1日(土)10時15分から

出演：オーボエ奏者 米山龍介(平成13年度文化奨励賞受賞者)

印刷物：ポスター(B2判)

チラシ(A4判)

出品目録(A4判4頁)

内容：和歌山県文化表彰・40周年記念として、美術分野(日本画・洋画・彫塑・工芸・書・写真)の歴代個人受賞者の作品を展示した。

担当学芸員：浜田拓志



ポスター



チラシ表



チラシ裏



出品目録



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景



会場風景

#### 出品リスト

受賞年度	受賞	受賞者	出品作品	制作年	素材、技法
1964(昭和39)年度	文化賞	洋画家 川口 孫太郎(号・軌外)	貝殻	1936(昭和11)	油彩、キャンバス
1965(昭和40)年度	文化賞	書家 天石 弘(号・東村)	花と少女	1938(昭和13)	油彩、キャンバス
1967(昭和42)年度	文化賞	洋画家 木下 克巳	王摩詰詩	1972(昭和47)	墨、紙
1967(昭和42)年度 1969(昭和44)年度	文化賞	漆芸家 橋爪 義雄	一道	制作年不詳	墨、紙
1970(昭和45)年度	文化賞	日本画家・美術活動 山東 正晴(号・光風)	燈下	1941(昭和16)	油彩、キャンバス
		洋画研究・美術活動 村井 正誠	海	1962(昭和37)	油彩、キャンバス
			尾花 匡	1965(昭和40)年頃	漆、木
			黒牛	制作年不詳	顔料、紙
			自画像(太い線)	1974(昭和49)	油彩、キャンバス

## 出品リスト

受賞年度	受賞	受賞者	出品作品	制作年	素材、技法
1972(昭和47)年度	文化奨励賞	陶芸家 寒川 義一(号・栖豊)	那智黒松竹梅花器	1974(昭和49)	陶
1973(昭和48)年度	文化功労賞	日本画家 渡瀬 幸茂(号・凌雲)	熊野太地浦捕鯨図	1952(昭和27)	顔料、絹
1973(昭和48)年度	文化奨励賞	彫刻家			
1995(平成7)年度	文化賞	彫刻家 保田 春彦	格子と壁	1998(平成10)	ブロンズ
1974(昭和49)年度	文化賞	彫刻家 木下 繁	裸婦	1981(昭和56)	ブロンズ
1974(昭和49)年度	文化功労賞	日本画家・美術活動 寺口 秀太郎(号・関山)	三友図	1982(昭和57)	顔料、紙
1974(昭和49)年度	文化奨励賞	漆芸研究 田伏 大丈夫(号・生石)	[宝石箱]	1965(昭和40)年頃	漆、木
1975(昭和50)年度	文化功労賞	洋画家 鈴 伊之助	アザンソン風景	1924(大正13)	油彩、キャンバス
1976(昭和51)年度	文化功労賞	書家 宮下 又七郎(号・橘堂)	望遠鏡	1934(昭和9)	油彩、キャンバス
1977(昭和52)年度	文化功労賞	洋画家 益山 英吾	写筆 源氏物語	1973(昭和48)	墨、紙
1978(昭和53)年度	文化功労賞	文化活動 明楽 光三郎	滑る道化役	1984(昭和59)	油彩、キャンバス
1979(昭和54)年度	文化功労賞	洋画家 齊田 武夫	ギターを持つ女	1932(昭和7)	油彩、キャンバス
1979(昭和54)年度	文化奨励賞	漆芸家	[風景]	1975(昭和50)	油彩、キャンバス
2000(平成12)年度	文化功労賞	漆芸家 橋爪 靖雄	ノルマンディーの人	1974(昭和49)	油彩、キャンバス
1980(昭和55)年度	文化功労賞	洋画家 木下 義謙			
1980(昭和55)年度	文化功労賞	写真家 島村 安彦	漆二曲一隻屏風「詩情」	1996(平成8)	漆、木
1980(昭和55)年度	文化奨励賞	陶芸家 日黒 威徳	横たはれる裸婦の習作	1926(大正15)	油彩、キャンバス
1981(昭和56)年度	文化賞	版画家 濱口 陽三	静物	1931(昭和6)	油彩、キャンバス
1981(昭和56)年度	文化功労賞	美術普及活動 和田 傳太郎	まなざし	2001(平成13)	写真
1982(昭和57)年度	文化賞	彫刻家 建畠 覚造	羅漢	1971(昭和46)	陶
1982(昭和57)年度	文化功労賞	童謡作詞・俳画 古村 徹三	パリの屋根	1956(昭和31)	カラー・メソチント、板
1982(昭和57)年度	文化奨励賞	洋画家	西瓜	1981(昭和56)	カラー・メソチント、板
1994(平成6)年度	文化功労賞	洋画家 有本 弘	白崎	1960(昭和35)	油彩、キャンバス
1983(昭和58)年度	文化功労賞	洋画家 山口 信郎	雲湧く	1977(昭和52)	油彩、キャンバス
1983(昭和58)年度	文化奨励賞	版画家 清水 武次郎	BALLOON4(LANDSCAPE)	1996(平成8)	木、FRP
1984(昭和59)年度	文化功労賞	画家 鈴木 善次郎	月に寄る	1954(昭和29)	顔料、紙
1985(昭和60)年度	文化賞	日本画家 稲田 一穂	これ	2002(平成14)	油彩、キャンバス
1985(昭和60)年度	文化奨励賞	創作刺繡家 高野 澄子	ZONING	1986(昭和61)	油彩、キャンバス
1986(昭和61)年度	文化賞	洋画家 高井 貞治(号・貞二)	作品	制作年不詳	孔版、紙
1986(昭和61)年度	文化功労賞	書家 大岡 繁(号・皓崖)	作品	制作年不詳	孔版、紙
1987(昭和62)年度	文化功労賞	書家 西林 國一(号・凡石)	[静物]	1927(昭和2)	油彩、キャンバス
1988(昭和63)年度	文化功労賞	洋画家 橋 喜久雄	[椿]	制作年不詳	油彩、キャンバス
1989(平成元)年度	文化功労賞	洋画家 児嶋 義一	薄氷	1963(昭和38)	顔料、紙
1990(平成2)年度	文化奨励賞	洋画家 野田 裕示	暈綢彩色幾何構成文壁飾	2002(平成14)	刺繡
1991(平成3)年度	文化功労賞	洋画家 佐原 光	機械	1931(昭和6)年頃	油彩、キャンバス
1993(平成5)年度	文化功労賞	洋画家 山本 秀臣	煙	1933(昭和8)	油彩、キャンバス
1993(平成5)年度	文化功労賞	書家 津村 俊次郎(号・枕石)	西行度連山	制作年不詳	墨、紙
1995(平成7)年度	文化功労賞	書家 山本 利夫(号・興石)	高村光太郎の詩	昭和30年代	墨、紙
1996(平成8)年度	文化功労賞	洋画家 浜田 邦男	薄暮蕭斎下	昭和50年代	墨、紙
1997(平成9)年度	文化功労賞	写真家 杉本 静雄	森と沼の刻	1986(昭和61)	油彩、キャンバス
1998(平成10)年度	文化功労賞	書家 山本 恵子(号・真舟)	たてもの	1992(平成4)	油彩、キャンバス
1999(平成11)年度	文化奨励賞	彫刻家 橋本 和明	混声合唱	1967(昭和42)	油彩、キャンバス
2000(平成12)年度	文化奨励賞	洋画家 太田 俊伸	WORK-796	1993(平成5)	アクリル、キャンバス
2001(平成13)年度	文化奨励賞	書家 土井 康弘(号・汲泉)	城跡の群	1977(昭和52)	油彩、キャンバス
2002(平成14)年度	文化功労賞	書道史研究・金石学 西林 昭一(号・悠介)	樹間(日の岬)	1947(昭和22)	油彩、キャンバス
2002(平成14)年度	文化奨励賞	版画家 南村 透	老不歎心	制作年不詳	墨、紙
2002(平成14)年度	文化奨励賞	写真家 楠本 弘兒	鶴頭鳳尾	制作年不詳	墨、紙
1999(平成11)年度	文化奨励賞	彫刻家 橋本 和明	山翠雨中浮	制作年不詳	墨、紙
2000(平成12)年度	文化奨励賞	洋画家 太田 俊伸	玉津嶋	1994(平成6)年頃	墨、紙
2001(平成13)年度	文化奨励賞	書家 土井 康弘(号・汲泉)	大きな菩提樹の下で	2003(平成15)	油彩、キャンバス
2002(平成14)年度	文化功労賞	書道史研究・金石学 西林 昭一(号・悠介)	0の祈り	2003(平成15)	写真
2002(平成14)年度	文化奨励賞	版画家 南村 透	黒牛の	1999(平成11)	墨、紙
2002(平成14)年度	文化奨励賞	写真家 楠本 弘兒	薄霧を	2000(平成12)	墨、紙
2003(平成15)年度	文化奨励賞	彫刻家 橋本 和明	存在の軌跡—影	1998(平成10)	FRP、木
2004(平成16)年度	文化功労賞	洋画家 太田 俊伸	漂	1996(平成8)	油彩、キャンバス
2005(平成17)年度	文化奨励賞	書家 土井 康弘(号・汲泉)	小林秀雄の文	2003(平成15)	墨、紙
2006(平成18)年度	文化功労賞	書道史研究・金石学 西林 昭一(号・悠介)	李芒『漢詩による山頭火の世界』による	制作年不詳	墨、紙
2006(平成18)年度	文化奨励賞	版画家 南村 透	sunri SEA 03-7a	2003(平成15)	印画紙、ラムダプリント
2006(平成18)年度	文化奨励賞	写真家 楠本 弘兒	南端の日周	2001(平成13)	写真

## 作品貸付

美術館をはじめとする種々の研究機関の活動に寄与し、作品鑑賞の機会を増やす目的をもって、計18の展覧会に対して延81点の作品並びに資料の貸付を行った。

展覧会名	貸出作品
1. 独立美術協会70回記念展「輝け日本油画」	川口軌外《少女と貝殻》1934
2003.2.5~2003.2.17 大阪・なんば高島屋	村井正誠《ゴルフジュアンの朝》1934
2. ダンス！ 20世紀初頭の美術と舞踊	恩地孝四郎《LA DANCE [踊り]》(『密室』第6号所収)1913
2003.2.9~2003.3.23 栃木県立美術館	恩地孝四郎《LA [LE] POT NOIR [黒い壺]》(『密室』第6号所収)1913
	恩地孝四郎《公刊『月映』IIポスター》1914
	恩地孝四郎《抒情 躍る [手刷り]》1915
	[雑誌]『とりで』1号 岸田劉生(表紙) 1912
	[雑誌]『とりで』2号 富本憲吉(表紙) 1912
	[雑誌]『とりで』7号(マクベス号)岡本帰一(表紙) 1913
	[雑誌]『とりで』8号(エレクトラ号)岡本帰一(表紙) 1913
	計 8 点
3. きらめく光 日本とヨーロッパの点表現	土田麦僊《梅ヶ畠村》1915
2003.2.18~2003.3.30 静岡県立美術館	
	計 1 点
4. 「日本写真史」展	野村仁《自転と重力 補陀落の海へ》1982-84
2003.3.2~2003.4.27 ヒューストン美術館	
2003.5.25~2003.7.20 クリープランド美術館	
	計 1 点
5. TOSA-TOSA2003 柳原睦夫と現代陶芸	柳原睦夫《鳩の巣》1963
2003.3.2~2003.4.20 高知県立美術館	柳原睦夫《鳩巣》1963
	柳原睦夫《褐釉金銀彩壺 カリフォルニア・シャワー》1975
	柳原睦夫《風の十字路》1979
	柳原睦夫《電気紋笑口壺 I》1986
	柳原睦夫《破顔笑口壺》1990
	計 6 点
6. 詩との出会い 浜口陽三・南桂子展	浜口陽三《猫》ca.1950
2003.4.12~2003.6.8 練馬区立美術館	浜口陽三《大川端》1951
	浜口陽三《大川端》1951
	浜口陽三《永代橋》1951

7. アート・ウォッチング part 2 - 感覚遊園地探検 2003. 6. 28~2003. 8. 31 宮城県美術館	浜口陽三《堀割》1951 浜口陽三《魚河岸の汽車》1951 浜口陽三《女達》1953 浜口陽三《髪》1953	計 8 点	浜口陽三《1つのさくらんぼ》1962 浜口陽三《4つのさくらんぼ》1963	恩地孝四郎《ピアノをひく女》1913頃 恩地孝四郎《音楽》1944 恩地孝四郎《あるヴァイオリニストの印象(諫訪根自子像)》1948 藤森静雄《夜のピアノ》1914頃 藤森静雄《二つの黙思(私輯『月映』IV)》1914 平川清蔵《マンドリンを弾く少女》1926	計 4 点
8. 佐伯祐三とパリの時代 2003. 7. 18~2003. 8. 31 鹿児島市立美術館	佐伯祐三《自画像》1919頃 佐伯祐三《ベッドに坐る裸婦》1923 佐伯祐三《リュ・デュ・シャトーの歩道》1925 佐伯祐三《レ・ジュ・ド・ノエル》1925 佐伯祐三《下落合風景》1926 佐伯祐三《オペセルヴァトワール附近》1927 木下孝則《後ろ向きの裸女習作》1925 木下孝則《女優の像》1926	計 1 点	14. 描かれた音楽 - 西洋楽器と出会った日本絵画 - 2003. 11. 1 ~ 2003. 12. 25 神戸市立博物館	恩地孝四郎《ピアノをひく女》1913頃 恩地孝四郎《音楽》1944 恩地孝四郎《あるヴァイオリニストの印象(諫訪根自子像)》1948 藤森静雄《夜のピアノ》1914頃 藤森静雄《二つの黙思(私輯『月映』IV)》1914 平川清蔵《マンドリンを弾く少女》1926	計 6 点
9. もうひとつの明治美術 - 明治美術会から太平洋画会へ 2003. 7. 19~2003. 8. 24 静岡県立美術館 2003. 9. 6~2003. 10. 19 府中市美術館 2003. 10. 25~2003. 12. 7 長野県信濃美術館 2004. 2. 1~2004. 12. 16 岡山県立美術館	神中糸子《塔ノ沢風景》1888頃 神中糸子《海岸風景》1888-92頃	計 10 点	15. 彫刻家 堀内正和の世界展 2003. 11. 15~2004. 2. 8 神奈川県立近代美術館 2004. 3. 13~2004. 4. 18 京都国立近代美術館 2004. 6. 1~2004. 7. 20 茨城県近代美術館 2004. 10. 17~2004. 9. 4 芸術の森美術館	堀内正和《人差指》1966	計 1 点
10. 親子のための美術展 動物、アートとなる 2003. 7. 19~2003. 9. 7 群馬県立館林美術館	柳原義達《道標・鳩》1973 柳原義達《道標・鳩》1978	計 2 点	16. 井田照一 版画の思考 2004. 1. 10~2004. 4. 25 豊田市美術館	井田照一《Pink Mama》1964 井田照一《Diary》1965 井田照一《Blue Cake》1967 井田照一《Paper and Paper》1968 井田照一《Baby》1970 井田照一《Pink of Place》1970 井田照一《Blue Sofa》1970 井田照一《Five Mamas》1971 井田照一《Girl's Interior-1》1973 井田照一《Rose Hole》1973 井田照一《SPRAYED-LA VIE EN ROSE》1973	計 11 点
11. 現代日本画 - その冒險者たち 2003. 8. 9~2003. 9. 15 岡崎市美術博物館	三上誠《経絡暦》1968頃	計 1 点	17. アメリカ現代美術展 モダニズム/新しさとは何だったのか 2004. 2. 6~2004. 3. 24 北海道立帯広美術館	サム・フランシス《白い線》1960 ドナルド・ジャッド《無題》1988 ロイ・リキテンスタイン《クラック!》1964 ロイ・リキテンスタイン《おやすみペイビィ!》1965 ロイ・リキテンスタイン《メロディ》1965 アンディ・ウォーホル《キャンベル・スープ II (10点)》1969 トム・ウェッセルマン《シーズケープ#8》1966	計 7 点
12. 「デカダンから光明へ 異端画家・秦テルヲの軌跡」展 2003. 9. 6~2003. 10. 13 笠岡市立竹喬美術館 2003. 10. 21~2003. 11. 30 練馬区立美術館 2003. 12. 9~2004. 1. 25 京都国立近代美術館	秦テルヲ《桃割れの娘》1916頃 秦テルヲ《吉原の女》1920頃 秦テルヲ《安来節の女たち》1920頃 野長瀬晩花《被布着たる少女》1911 野長瀬晩花《島の女》1916頃 野長瀬晩花《門つけ》1916 野長瀬晩花《舞妓図》1916頃	計 7 点	18. 国吉康雄展 2004. 3. 23~2004. 5. 16 東京国立近代美術館 2004. 5. 29~2004. 7. 19 富山県立近代美術館 2004. 8. 6~2004. 9. 26 愛知県美術館	国吉康雄《牧舎》1921	計 1 点
13. 浜口陽三への誘い - 愛すべき珠玉の作品と創作のひみつ - 2003. 10. 18~2003. 12. 23 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション	浜口陽三《ボプラ》1960 浜口陽三《黒い背景のぶどう》1961				

## 普及事業

### 講演会などの開催

- 各展覧会に際してミュージアム・トークなどを開催した。  
(各展覧会報告の項を参照)

### 広報活動

- 美術館の概要や展覧会の内容、スケジュール等を理解し、活用してもらうためにカレンダー、機関誌等を発行し、関係諸機関及び来館者等に提供した。
- ウェブサイトで美術館の概要や展覧会の内容、スケジュールの情報を提供した。
- 展覧会ごとに、ポスター、ちらし、案内はがき等を作成し、全国関係諸機関、県下各市町村及び小中高校、大学、教育機関その他に配布した。
- 県内外の新聞社、放送局、出版社等に事業案内の報道、掲載を依頼。また取材等の要請に応じて情報を提供した。
- 県発行の公報に、事業案内を掲載した。
- その他、随時公報活動を行なった。

### 刊行物の発行

- 展覧会図録、リーフレット、出品目録、ポスター、ちらし、案内はがき等  
(詳細は各展覧会報告の項を参照)
- 機関誌「NEWS」  
3回発行(詳細は57頁)
- 2003年度展覧会カレンダー  
A4判変形8頁4折



### 博物館実習生の受入

- 大学での博物館学芸員資格取得のために必要な履修科目である博物館実習の実習生を受け入れた。

期間：2003年8月5日～8月10日(6日間)

#### 受入数

大 学 校	人 数
大阪芸術大学	2名
京都精華大学	1名
京都造形芸術大学	1名
近畿大学	2名
滋賀県立大学	1名
帝塚山学院大学	2名
同志社大学	5名
名古屋造形芸術大学	1名
和歌山大学	2名
計 9 大学	17名

### 学校団体等への対応

- 学校を中心に諸々の教育活動と連携し、団体での来館時に解説などの対応を行った。
- 和歌山市美育協会夏季研修鑑賞指導研修会の開催を受け入れた。



実習風景

### 職場体験学習などを受け入れた。

受入数	種 别	件 数	参 加 人 数
	成 人(公民館、教員など)	4件	475人
	大 学	1件	15人
	高 校	17件	661人
	中学校	15件	433人
	小学校	38件	2390人
	幼 児	29件	2412人
	その他の養護学校など	17件	396人
	計	121件	6782人

### ボランティア活動の受入

- 和歌山県生涯学習ボランティアセンターに登録されたグループ「虹」の会員約16名により、図書資料の整理、過去に作成された文書の電子化などが行われた。
- 受入人数：虹 登録者14名 活動のべ 244人
- 和歌山大学ミュージアム・ボランティア

### 友の会活動

楽しみながら美術に親しむ会として「和歌山県立近代美術館友の会」を組織し、美術を愛する人々が集い、当館の活動を支援するとともに、美術作品を鑑賞し、語り合う場を設けることに協力した。

#### 1. 会員数(2003年3月31日現在)

一般会員	336人
学生会員	8人
賛助会員	2人
計	346人

#### 2. 会員への助成事業

会員が美術館事業に理解を持ち、常に美術作品に親しみを持つことができるよう常設展及び特別展の観覧並びに図録の購入に対し助成を行なった。

- (1)展覧会入場延会員数 715人
- (2)図録購入 65冊

#### 3. 研修事業

- (1)美術館と共に開催事業  
山本容子氏とのミュージアムトークに参加した。
- (2)懇親パーティーの開催  
7月20日、アンジェ美術館展オープニングパーティーを開催。アンジェ美術館館長を招いて会員と懇談し、交流を行なった。  
9月21日、山本容子美術遊園地オープニングパーティーを開催。山本容子氏を招いて会員と懇談し、交流を行なった。
- (3)鑑賞ツアーオの開催  
2002年10月6日、美術鑑賞ツアーオを企画し、鉄斎美術館「鉄斎の粉本」、兵庫県立美術館「ゴッホ展」を鑑賞した。参加者96人。
- (4)ミュージアムコンサートの開催  
2003年2月22日、国内外で活躍しているピアノ演奏者、宮下直子氏による演奏会を開催し、1時間30分わたる演奏を聴いた。参加者112人。
- 4. 館公報紙・その他の情報提供事業  
会員に、ミュージアムカレンダー、機関紙「NEWS」、その他企画展チラシなどの情報を配布し、館事業等を案内した。

### 5. 版画プレゼント

平成14年度新規会員に版画プレゼントを行なった。

- 和歌山のアートコーナー(1階ホール、ギャラリー)  
1. 会 内  
期：平成15年10月11日(土)～10月31日(金)  
容：和歌山市内の登録有形文化財、建設会社旧西本組の本社ビル(現西本ビル)再生プロジェクトの一環として、アートによる活用をめざし企画されたドミニック・エザール展と並行し、西本ビルの写真パネルおよびドミニック・エザールの作品5点を展示した。  
協 力：西本ビル保存活用の会、ドミニック・エザール展開催実行委員会

関連事業：10月11日(土)午後2時より 講演会「登録有形文化財・西本ビルの保存とアートによる活用について」  
(講師：西本直子氏)、「アーティストトーク」(講師：ドミニック・エザール氏)

#### 2. 第57回県展受賞作品から

- 会 内  
期：平成16年1月15日(水)～1月26日(日) 書・工芸  
2月8日(土)～2月16日(日) 日本書  
2月18日(火)～3月2日(日) 写真・彫塑  
3月4日(火)～3月16日(日) 洋画  
容：第56回和歌山県美術展観覧会(県展)の特選(知事賞・県教育委員会賞・毎日新聞社賞・県美術家協会賞)および無鑑査特別賞(県議会議長賞・県文化振興財団賞)の作品をオープنسペースで紹介した。

展示点数：32作家32点

#### 出品リスト：

- |          |                              |
|----------|------------------------------|
| 「書」部門    | 赤坂松琴(和歌山市)<br>讀誦詠之安陽田…       |
| 知事賞      | 森本 敏(橋本市)<br>はるの夜の           |
| 県教育委員会賞  | 石井里梅(有田市)<br>吳融の詩            |
| 毎日新聞社賞   | 浅井香園(和歌山市)<br>もうともに          |
| 県美術家協会賞  | 長田朱陽(和歌山市)<br>ちかからず          |
| 無鑑査特別賞   | 遠藤美園(和歌山市)<br>書譜詩            |
| 県文化振興財団賞 | 三浦保英(上富田町)<br>脈動             |
| 「洋画」部門   | 福田 賢(上富田町)<br>蜃氣樓            |
| 知事賞      | 川口里美(白浜町)<br>宙               |
| 毎日新聞社賞   | 梅平公子(田辺市)<br>destruction(破壊) |
| 県美術家協会賞  | 広瀬 桂(中辺路町)<br>秋色             |
| 無鑑査特別賞   |                              |

### 「日本画」部門

知事賞

中川千里(和歌山市)

祭

池田 實(和歌山市)

行住坐臥(永平寺)

高橋佳子(橋本市)

ベナンの女

崎山誓子(和歌山市)

秋野

久保恵美子(和歌山市)

うず潮

### 「写真」部門

知事賞

神田真奈美(海南市)

遊泳

落合和哉(橋本市)

秋彩

中西昌博(貴志川町)

ミーティング

照井四郎(有田市)

草原の子

角田公利(和歌山市)

帰路を急ぐ

### 「彫塑」部門

知事賞

竹中 康(上富田町)

躍進

西野祐子(串本町)

自刻像

宮本まろみ(南部川村)

これからの私

坂口衣莉子(南部川村)

私

上田愛子(和歌山市)

2001年 女

### 「洋画」部門

知事賞

片畠順子(海南市)

夏の終わりに I

阪本 聰(御坊市)

Composition '01-D

阪本由捷(御坊市)

境内

浜田千代子(三重県鵜殿村)

人形たちと

中村恵伍(和歌山市)

苑内

出口十糸(海南市)

Yellow

## 機関誌「NEWS」

(付記のない執筆者は当館学芸員)

### No.37(2003年8月5日発行)

松居直「子どものとも」初代編集長 福音館書店相談役)「講演会とギャラリートーク  
「子どものとも」初期の作家たち(抄録)1」  
宮本久宣「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」  
浜田拓志「展覧会の成り立ちと舞台裏の仕事」  
奥村泰彦「タイの現代版画を調査する7」  
奥村一郎「知の共有財産・展覧会カタログの現在―制作から批評まで―」  
Museum Calendar



### No.38+39合併号 たがやすように特集(2003年9月13日発行)

奥村泰彦「たがやすように―熟す画面の4つのかたち― 池垣タダヒコ／河崎ひろみ  
／中川佳宣／原田要」  
奥村一郎「コレクション展 美術館へ行こう3より」  
Museum Calendar  
友の会の活動より「版画プレゼント 今年度は中路規夫さん。」



### No.40(2004年3月15日発行)

松居直「子どものとも」初代編集長 福音館書店相談役)「講演会とギャラリートーク  
「子どものとも」初期の作家たち(抄録)2」  
宮本久宣「美術百科「7つの鍵」の巻」  
奥村泰彦「「たがやすように」展アーティスト・トークより」  
宮本久宣「記念講演会報告「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」」  
浜田拓志「和歌山のアートコーナー 「登録有形文化財・西本ビルの保存とアートによる活用」その後」  
Museum Calendar  
友の会の活動より「友の会版画プレゼント」「ミュージアムコンサート」「美術鑑賞ツアーア」  
西陽子(音楽家)「コンサートを終えて」



## 調査・研究・発表活動および对外協力活動

### 浜田拓志

- ・『絵本原画の世界展』を担当
- ・『美術百科「7つの鍵」の巻』「あそび 遊戯」を担当
- ・『和歌山県文化表彰の歩み展』を担当
- ・『展覧会の成り立ちと舞台裏の仕事』『和歌山県立近代美術館NEWS』No.37、2003年8月5日、p.5
- ・「和歌山のアートコーナー「登録有形文化財・西本ビルの保存とアートによる活用」とその後』『和歌山県立近代美術館NEWS』No.37、2004年3月15日、p.6
- ・田辺市美術館協議会(1998.4~)
- ・田辺市美術館作品選定委員会委員(1998.4~)
- ・熊野古道なかへち美術館作品選定委員会委員(1998.4~)

### 寺口淳治

- ・『黒田清輝展』を担当
- ・『和歌山県文化表彰の歩み展』を担当
- ・『美術百科「7つの鍵」の巻』「じぶん 自己」「いのり 信仰」を担当
- ・新国立美術展示施設設立準備室による「企画展プロジェクト会議」に招聘される、2003年6月12日
- ・東京大学大学院比較文学・比較文化研究室主催の「シンポジウム 知の共有財産―展覧会カタログの現在―」にて「カタログの制作―「田中恭吉展」でとった手法―」と題して講演し、シンポジウムに参加、東京大学駒場キャンパス数理科学研究所大講堂2003年7月5日
- ・『大正期の版表現』研究、2003年度花王・学芸員助成

### 奥村泰彦

- ・『美術館へ行こう1』展を担当
- ・『美術館へ行こう2』展を担当
- ・『たがやすように』展を担当
- ・『美術百科「7つの鍵」の巻』「たべもの 食」を担当
- ・『a day in the life―藤本由紀夫と美術館』『YUKIO FUJIMOTO memo to work』西宮市大谷記念美術館、2003年4月30日、pp.4-9
- ・「タイの近代版画を調査する7」『和歌山県立近代美術館NEWS』No.37、2003年8月5日、p.6
- ・「たがやすように―熟す画面の4つのかたち― 池垣タダヒコ／河崎ひろみ／中川佳宣／原田要』『和歌山県立近代美術館NEWS』No.38+39合併号、2003年9月13日、pp.1-2
- ・「「たがやすように」展アーティスト・トークより」『和歌山県立近代美術館NEWS』No.37、2004年3月15日、p.5
- ・4月28日、近畿大学「博物館実習」講座にて講義
- ・6月28日、近鉄文化サロン・奈良(秋篠音楽堂)「音楽博物館vol.7 絵画の音色II 色彩の響き」にて講演
- ・財団法人堀江オルゴール博物館理事(2003.4~)

### 井上芳子

- ・『チャベック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド』展を担当
- ・『美術百科「7つの鍵」の巻』「ことば 言葉」を担当
- ・『大正期の版表現』研究、2003年度花王・学芸員助成
- ・帝塚山学院大学非常勤講師(「本をつくる」集中講義、8月1日、2日、4日、5日)

### 奥村一郎

- ・『絵本原画の世界展』を担当
- ・『たがやすように』展を担当
- ・『美術館へ行こう3』展を担当
- ・『美術百科「7つの鍵」の巻』「しごと 労働」を担当
- ・『和歌山県文化表彰の歩み展』を担当
- ・2004年1月12日、ミュージアム・トークにて『美術百科「7つの鍵」の巻』展について解説
- ・『松居直 講演会とギャラリートーク「子どものとも」初期の作家たち 1』(抄録)『和歌山県立近代美術館NEWS』No.37、2003年8月5日、pp.1-2
- ・「知の共有財産・展覧会カタログの現在―制作から批評まで―」『和歌山県立近代美術館NEWS』No.37、2003年8月5日、p.8
- ・「コレクション展 美術館へ行こう3より」『和歌山県立近代美術館NEWS』No.38+39合併号、2003年9月13日、p.7
- ・「松居直 講演会とギャラリートーク「子どものとも」初期の作家たち 2』(抄録)『和歌山県立近代美術館NEWS』No.40、2004年3月15日、pp.1-2

### 宮本久宣

- ・『黒田清輝展』を担当
- ・『美術百科「7つの鍵」の巻』「からだ 身体」「じぶん 自己」を担当
- ・関連資料紹介 黒田清輝と原田直次郎の書簡から、「特別出品作品紹介」『黒田清輝展』[図録補遺] 和歌山県立近代美術館、2003年7月19日
- ・「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」『和歌山県立近代美術館NEWS』No.37、2003年8月5日、pp.3-4
- ・「美術百科「7つの鍵」の巻 コレクションによる全館展示」『和歌山県立近代美術館NEWS』No.37、2004年3月15日、pp.3-4
- ・「記念講演会報告「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」」『和歌山県立近代美術館NEWS』No.37、2004年3月15日、p.5

## 収集事業

### 和歌山県立近代美術館美術作品収集方針

- 日本画 1. 下村觀山、川端龍子を軸とする院展の作家たち  
 2. 野長瀬晩花を軸とする国画創作協会の作家たち  
 洋 画 3. 川口軌外を軸とする1930年協会、初期独立美術協会の作家たち  
 4. 村井正誠を軸とする自由美術家協会、モダンアート協会の作家たち  
 5. 石垣栄太郎、ヘンリー杉本、高井貞二を軸とするアメリカで学んだ作家たち  
 版 画 6. 本県にゆかりのある恩地孝四郎、田中恭吉、逸見享、吉田政次、浜口陽三らを軸とする近現代版画  
 彫 刻 7. 本県にゆかりのある建畠覚造、保田春彦を軸とする現代彫刻  
 その他 8. 戦後美術  
 ア パンリアル美術協会  
 イ 走泥社  
 ウ デモクラート美術家協会  
 エ 具体美術協会  
 9. 現代の美術  
 10. 海外の美術

### 和歌山県立近代美術館美術作品選定委員会委員名簿 (◎=会長)

	氏 名	役 職
	大河内 菊 雄	前伊丹市立美術館館長
◎	酒 井 哲 朗	福島県立美術館館長
	村 田 慶之輔	川崎市岡本太郎美術館館長
	保 田 春 彦	彫刻家(元武蔵野美術大学教授)

### 第24回美術作品選定委員会

2004(平成16)年3月10日(水)に開催し、購入候補作品ならびに寄贈候補作品について、受入の妥当性について協議を行った。

### 2003年度 収蔵作品点数

#### 1 購入

種 別	作家数	作品点数
日本画	5	5
洋 画	1	1
彫 塑	1	1
版 画	35	108
総 計	39	115

#### 2 受贈

種 別	作家数	作品点数
日本画	2	3
洋 画	9	30
彫 塑	2	30
写 真	1	6
水彩・素描	3	42
資 料	8	9
総 計	23	120

### 2003年度 購入作品

作家名五十音→作品種別→制作年の順に配列



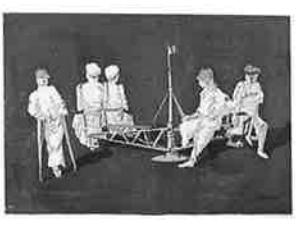
1. 荒井(末木)東留  
版画 窓  
1940(昭和15)頃  
木版、紙  
24.0×19.7  
7485



2. 江端 芳市  
版画 マスクのある静物  
1936(昭和11)  
木版、紙  
29.0×37.2  
7515



3. 江端 芳市  
版画 海苔を拾う  
1933(昭和8)  
木版、紙  
16.5×12.5  
7511



4. 江端 芳市  
版画 憇  
1940(昭和15)  
木版、紙  
35.5×50.3  
7520



5. 江端 芳市  
版画 少女  
1936(昭和11)  
木版、紙  
38.1×28.6  
7516



6. 江端 芳市  
版画 地引あみ  
1932(昭和7)  
木版、紙  
23.6×31.7  
7510



7. 江端 芳市  
版画 半田池  
1935(昭和10)  
木版、紙  
23.9×34.0  
7514



8. 江端 芳市  
版画 名古屋城 樅  
1939(昭和14)  
木版、紙  
34.6×47.6  
7518



9. 江端 芳市  
版画 名古屋城 堀  
1939(昭和14)  
木版、紙  
38.3×49.0  
7519



10. 江端 芳市  
版画 夜店  
1934(昭和9)  
木版、紙  
26.2×34.3  
7512



11. 江端 芳市  
版画 油所  
1934(昭和9)  
木版、紙  
21.9×31.2  
7513



12. 江端 芳市  
版画 篠椅子  
1937(昭和12)頃  
多色木版、紙  
34.2×23.4  
7517



13. 大久保 一  
版画 支那芝居  
1933(昭和8)頃  
多色木版、紙  
16.3×22.6  
7521



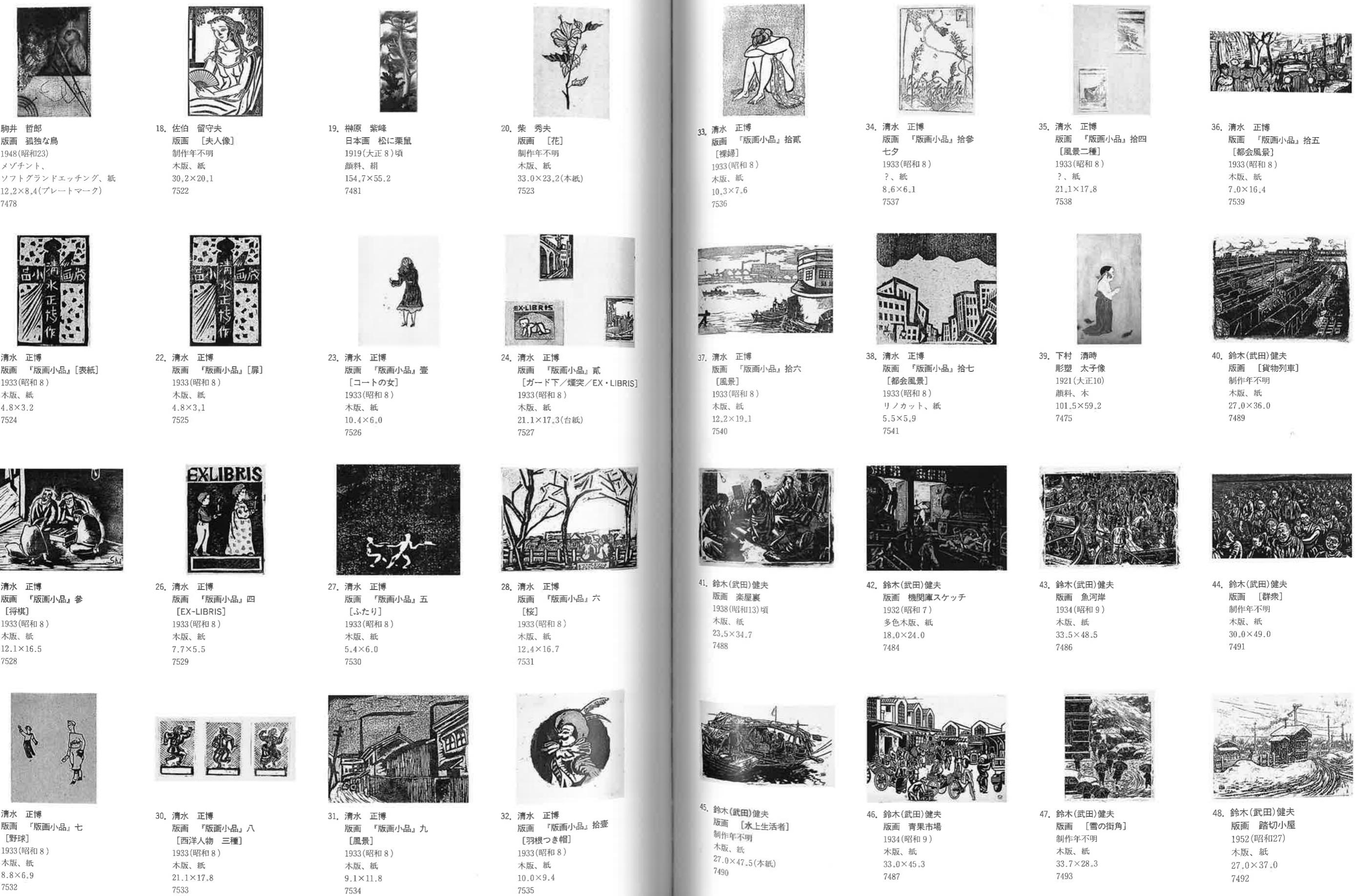
14. 大亦 観風  
日本画 [花鳥図屏風]  
1924(大正13)  
多色木版、紙  
63.9×52.3(左本紙)  
63.9×52.2(右本紙)  
7480



15. 小野 竹喬  
日本画 春浅き海辺  
1918(大正7)  
多色木版、紙  
30.0×43.0  
7576



16. 神原 浩  
版画 銀汀  
1936(昭和11)  
エッチング、紙  
25.5×28.9  
7476







80. 蓬田 兵衛門  
版画 [島の風景]  
制作年不明  
多色木版、紙  
24.0×33.2  
7509



81. 蓬田 兵衛門  
版画 [投網]  
制作年不明  
多色木版、紙  
24.0×33.2  
7508



93. 江端 芳市  
版画 12 日本アルプス  
木版、紙  
13.8×17.7  
7553



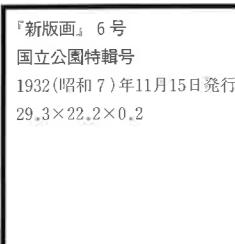
94. 大久保 一  
版画  
13 豚と鐵道(線路を巡りて)  
木版、紙  
14.8×15.7  
7554



95. 菊池 善二郎  
版画  
14 カルタするピエロと  
アルルカン  
木版、紙  
25.2×17.4  
7555



96. 水船 六洲  
版画 15 U子の像  
木版、紙  
19.8×16.0  
7556



82. 作者不詳  
版画 [表紙]  
木版、紙  
29.3×22.2×0.2  
7542



83. 武藤 六郎  
版画 2 富士  
木版、紙  
22.8×16.7  
7543



84. 柴 秀夫  
版画 3 日光夜叉門附近  
木版、紙  
12.0×17.8  
7544



97. 小野 忠重  
版画 16 自白する殺人者  
木版、紙  
26.2×22.0  
7557



98. 松下 義雄  
版画 [表紙]  
木版、紙  
29.4×21.8×0.3  
7558



99. 谷口 薫美  
版画 2 赤毛布  
木版、紙  
18.3×13.5  
7559



100. 江端 芳市  
版画 3 學校にて  
木版、紙  
19.4×11.2  
7560



85. 蓬田 兵衛門  
版画 4 富士遠望  
木版、紙  
12.1×16.6  
7545



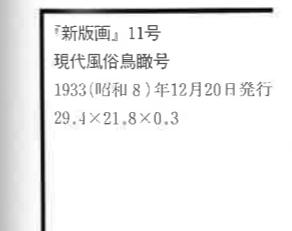
86. 佐藤 米次郎  
版画 5 十和田湖  
木版、紙  
9.8×11.4  
7546



87. 吉田 正三  
版画  
6 雪光る(アルプス連峯)  
木版、紙  
12.4×16.6  
7547



88. 佐伯 留守夫  
版画  
7 足尾への峠より男体・  
中禪寺湖を望む  
木版、紙  
16.2×13.0  
7548



90. 内田 郁夫 富士と本栖湖



89. 内田 郁夫  
版画 8 富士と本栖湖  
木版、紙  
12.4×16.4  
7549



90. 藤牧 義夫  
版画 9 やま・やま  
木版、紙  
7.7×17.9  
7550



91. 新田 穢  
版画 10 南紀小品  
木版、紙  
11.0×14.2  
7551



92. 新田 穢  
版画 11 南紀風景  
木版、紙  
22.6×30.8  
7552



101. 菊池 善二郎  
版画 4 晚・農村  
木版、紙  
14.0×17.9  
7561



102. 藤牧 義夫  
版画 5 銀行について  
木版、紙  
13.7×10.7  
7562



103. 清水 正博  
版画 6 酒場  
オフセット、紙  
14.1×9.3  
7563



104. 松下 義雄  
版画 7 針仕事  
木版、紙  
20.6×16.0  
7564

2003年度 寄贈作品  
作家名五十音→作品種別→制作年の順に配列



105. 常寛 英雄  
版画 8 街の女  
木版、紙  
 $15.8 \times 13.5$   
7565



106. 蓬田 兵衛門  
版画 9 自転車と女  
木版、紙  
 $20.6 \times 16.7$   
7566



107. 高瀬 文治  
版画 10 喫茶店にて  
木版、紙  
 $24.6 \times 17.0$   
7567



108. 水船 六洲  
版画 11 機械を動かす女  
木版、紙  
 $17.4 \times 12.6$   
7568



109. 河合 光  
版画 12 競馬場  
木版、紙  
 $14.6 \times 18.6$   
7569



110. 小野 忠重  
版画 13 露地  
木版、手彩色、紙  
 $10.8 \times 8.6$   
7570



111. 武藤 完一  
版画 14 草に踊る  
木版、紙  
 $11.1 \times 16.0$   
7571



112. 清水 正博  
版画 15 ジャツ・ダンス  
カッパ版、紙  
 $15.3 \times 9.7$   
7572



113. 小野 忠重  
版画 16 暴力稼業  
木版、紙  
 $12.4 \times 11.4$   
7573



114. 宇治山 哲平  
版画 17 線路工事  
木版、紙  
 $16.8 \times 12.2$   
7574



115. 吉田 正三  
版画 18 街頭に踊る  
木版、紙  
 $17.2 \times 16.7$   
7575



1. ブラック, ジョルジュ  
資料 ジョルジュ・ブラック  
-遺作展ポスター  
1967(昭和42)頃  
オフセッティトグラフ?、紙  
 $71.2 \times 42.1$   
7467  
矢尾利秀氏寄贈



2. ピュッフェ, ベルナール  
資料 ベルナール・ピュッフェ  
展ポスター  
1960(昭和35)  
オフセッティトグラフ?、紙  
 $77.4 \times 53.4$   
7464  
矢尾利秀氏寄贈



3. シャガール, マルク  
資料 シャガールの陶芸作品展  
1960(昭和35)  
オフセッティトグラフ?、紙  
 $72.2 \times 45.2$   
7465  
矢尾利秀氏寄贈



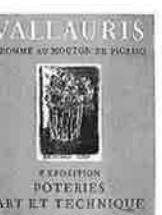
4. カンディンスキー, ワシリー  
資料 カンディンスキー  
-デッサウの Bauhaus 1927-  
1933-展ポスター  
1965(昭和40)頃  
オフセッティトグラフ?、紙  
 $72.2 \times 45.2$   
7469  
矢尾利秀氏寄贈



5. マティス, アンリ  
資料 マティス-リトグラフ  
エッティング-展ポスター  
1951(昭和26)  
オフセッティトグラフ?、紙  
 $77.0 \times 52.1$   
7462  
矢尾利秀氏寄贈



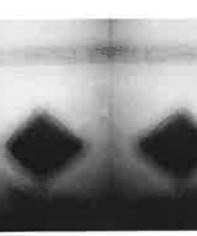
6. ピカソ, パブロ  
資料 ピカソ-1900~1953-  
展ポスター  
1950(昭和25)  
オフセッティトグラフ?、紙  
 $68.6 \times 52.4$   
7463  
矢尾利秀氏寄贈



7. ピカソ, パブロ  
資料 ピカソの陶芸作品-  
ヴァロリース-展ポスター  
1953(昭和28)  
オフセッティトグラフ?、紙  
 $62.0 \times 48.0$   
7461  
矢尾利秀氏寄贈



10. 明楽 光三郎  
洋画 「ギターを持つ女」  
1932(昭和7)  
油彩、キャンバス  
 $71.2 \times 59.9$   
7588  
明楽三千代氏寄贈



11. 奥野 稔和  
写真 浮遊-1  
1988(平成6)  
写真  
 $99.0 \times 132.0$   
7371  
作者寄贈



12. 奥野 稔和  
写真 90V-401  
1990(平成2)  
写真  
 $66.0 \times 198.0$   
7372  
作者寄贈



9. ポリアコフ, セルジュ  
資料 セルジュ・ポリアコフ  
-絵画とガッシュ-展  
ポスター  
1974(昭和49)  
アクリチント、紙  
 $76.3 \times 50.6$   
7466  
矢尾利秀氏寄贈



13. 奥野 稔和  
写真 93V-0303X  
1993(平成5)  
写真  
 $149.8 \times 200.3$   
7373  
作者寄贈



14. 奥野 稔和  
写真 94V-0707X  
1994(平成6)  
写真  
 $67.2 \times 148.8$   
7374  
作者寄贈



15. 奥野 稔和  
写真 96V-0202Y  
1996(平成8)  
写真  
 $95.0 \times 123.2$   
7375  
作者寄贈



16. 奥野 稔和  
写真 96V-0303X  
1996(平成8)  
写真  
 $89.0 \times 133.8$   
7376  
作者寄贈



17. 清水 達三  
日本画 波濤  
2002(平成14)  
顔料、麻紙  
175.0×333.0  
7479  
作者寄贈



18. 鈴木 善次郎  
油画 「静物」  
1927(昭和2)  
油彩、キャンバス  
71.4×89.7  
7589  
鈴木敏郎氏寄贈



19. 関根 勢之助  
油画 「落する赤」  
1964(昭和39)  
油彩、キャンバス  
162.1×130.3  
7596  
土橋 晃氏寄贈



20. 関根 勢之助  
素描 ランドスケープ3-1  
1976(昭和51)  
シンナーブリント、色鉛筆、紙  
109.2×79.2  
7597  
土橋 晃氏寄贈



21. 原 勝四郎  
油画 「風景」  
制作年不詳  
油彩、板  
54.0×66.0  
7587  
室谷文男氏寄贈



22. 益山 英吾  
油画 「魚の静物」  
1956(昭和31)  
油彩、キャンバス  
97.0×130.5  
7584  
益山恵氏寄贈



23. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 1  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
36.3×25.4  
7425  
保田春彦氏寄贈



24. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 2  
制作年不明  
インク、紙  
41.6×30.3  
7426  
保田春彦氏寄贈



25. 関根 勢之助  
素描 ランドスケープ3-2  
1976(昭和51)  
シンナーブリント、色鉛筆、紙  
109.2×79.2  
7598  
土橋 晃氏寄贈



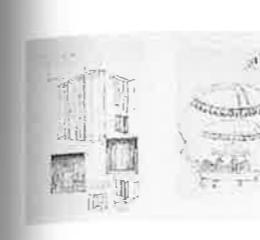
26. 関根 勢之助  
素描 ランドスケープ3-3  
1976(昭和51)  
シンナーブリント、色鉛筆、紙  
109.2×79.2  
7599  
土橋 晃氏寄贈



27. 関根 勢之助  
素描 陳述-GREY  
1981(昭和56)  
シンナーブリント、色鉛筆、紙  
106.8×79.2  
7600  
土橋 晃氏寄贈



28. 関根 勢之助  
素描 陳述-RED  
1981(昭和56)  
色鉛筆、紙  
106.8×79.2  
7601  
土橋 晃氏寄贈



29. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 3  
制作年不明  
インク、紙  
25.3×39.4  
7427  
保田春彦氏寄贈



30. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 4  
制作年不明  
インク、紙  
36.3×25.3  
7428  
保田春彦氏寄贈



31. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 5  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
21.0×45.4  
7429  
保田春彦氏寄贈



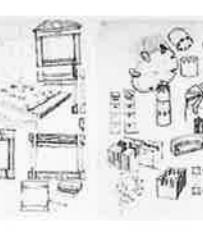
32. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 6  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
45.2×35.0  
7430  
保田春彦氏寄贈



33. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 7  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
25.9×25.3  
7431  
保田春彦氏寄贈



34. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 8  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
25.2×53.0  
7432  
保田春彦氏寄贈



35. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 9  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
29.1×42.5  
7433  
保田春彦氏寄贈



36. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 10  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
42.6×25.4  
7434  
保田春彦氏寄贈



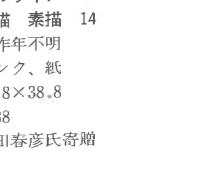
37. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 11  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
29.1×42.5  
7435  
保田春彦氏寄贈



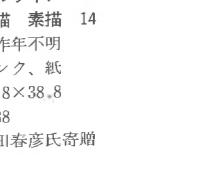
38. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 12  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
42.6×25.4  
7436  
保田春彦氏寄贈



39. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 13  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
42.6×25.4  
7437  
保田春彦氏寄贈



40. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 14  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
42.6×25.4  
7438  
保田春彦氏寄贈



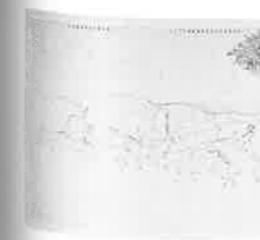
29. 寺口 関山  
日本画 「三友図」  
1982(昭和57)  
顔料、紙  
155.0×85.8  
7591  
寺口香世子氏寄贈



30. 寺口 関山  
日本画 「夏山雨後」  
1986(昭和61)  
顔料、紙  
133.3×59.3  
7592  
寺口香世子氏寄贈



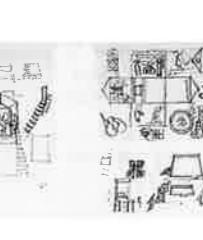
31. 中畑 卓人  
水彩 「曲角」  
1932(昭和7)  
水彩、紙  
53.5×72.5  
7483  
田中正彦氏寄贈



44. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 15  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
26.8×35.5  
7435  
保田春彦氏寄贈



45. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 16  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
48.0×30.3  
7436  
保田春彦氏寄贈



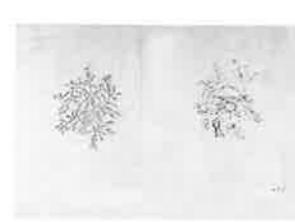
46. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 17  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
23.0×38.2  
7437  
保田春彦氏寄贈



47. ミニオ=バルウエルロ・保田,  
シルヴィア  
素描 素描 18  
制作年不明  
インク、紙  
12.8×38.8  
7438  
保田春彦氏寄贈



48. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 素描 15  
制作年不明  
インク、紙  
43.2×20.0  
7439  
保田春彦氏寄贈



49. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 素描 16  
制作年不明  
インク、紙  
18.1×30.6  
7440  
保田春彦氏寄贈



50. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 素描 17  
制作年不明  
鉛筆、インク、紙  
55.0×32.0  
7441  
保田春彦氏寄贈



51. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 素描 18  
制作年不明  
鉛筆、インク、紙  
34.5×30.0  
7442  
保田春彦氏寄贈



52. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 素描 19  
制作年不明  
インク、紙  
49.5×36.8  
7443  
保田春彦氏寄贈



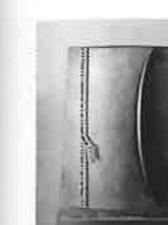
53. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 素描 20  
制作年不明  
インク、紙  
21.3×24.1  
7444  
保田春彦氏寄贈



54. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 素描 21  
制作年不明  
インク、紙  
24.9×17.8  
7445  
保田春彦氏寄贈



55. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 紴描 22  
制作年不明  
鉛筆、紙  
36.3×25.2  
7446  
保田春彦氏寄贈



56. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 紴描 23  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
46.0×24.3  
7447  
保田春彦氏寄贈



57. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 紴描 24  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
45.0×28.7  
7448  
保田春彦氏寄贈



58. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 納描 25  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
48.0×19.0  
7449  
保田春彦氏寄贈



59. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 納描 26  
制作年不明  
インク、紙  
25.2×54.5  
7450  
保田春彦氏寄贈



60. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 紴描 27  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
49.0×32.0  
7451  
保田春彦氏寄贈



61. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 紴描 28  
制作年不明  
インク、紙  
42.7×30.2  
7452  
保田春彦氏寄贈



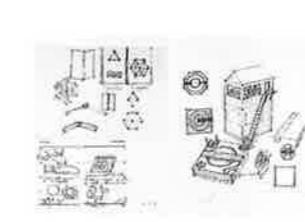
62. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 紴描 29  
制作年不明  
インク、鉛筆、紙  
35.7×25.5  
7453  
保田春彦氏寄贈



63. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 納描 30  
制作年不明  
インク、紙  
44.0×22.0  
7454  
保田春彦氏寄贈



64. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 素描 31  
制作年不明  
インク、紙  
41.5×30.4  
7455  
保田春彦氏寄贈



65. ミニオ=バルウエルロ・保田。  
シルヴィア  
素描 素描 32  
制作年不明  
インク、紙  
23.9×40.3  
7456  
保田春彦氏寄贈



66. 保田 春彦  
彫塑 島II 原型  
1956(昭和31)  
石膏  
h.59.0  
7457  
作者寄贈



67. 保田 春彦  
彫塑 格子と壁  
1998(平成10)  
ブロンズ  
60.0×29.9×44.0  
7458  
作者寄贈



68. 保田 春彦  
彫塑 梯子と壁  
1998(平成10)  
ブロンズ  
62.0×29.9×46.6  
7459  
作者寄贈



69. 保田 龍門  
洋画 自画像  
1913-14(大正2-3)頃  
油彩、キャンバス  
45.6×38.2  
7405  
保田春彦氏寄贈



70. 保田 龍門  
洋画 習作  
1913-14(大正2-3)頃  
油彩、キャンバス  
70.4×37.0  
7406  
保田春彦氏寄贈



71. 保田 龍門  
洋画 習作  
1914(大正3)  
油彩、キャンバス  
52.7×42.8  
7407  
保田春彦氏寄贈



72. 保田 龍門  
洋画 習作  
1915(大正4)  
油彩、キャンバス  
66.4×50.4  
7408  
保田春彦氏寄贈



73. 保田 龍門  
洋画 教室  
1920-23(大正9-12)頃  
油彩、板  
24.0×33.0  
7409  
保田春彦氏寄贈



74. 保田 龍門  
洋画 女性  
1920-23(大正9-12)頃  
油彩、キャンバス  
72.6×60.6  
7410  
保田春彦氏寄贈



75. 保田 龍門  
洋画 習作(女性)  
1920-23(大正9-12)頃  
油彩、キャンバス  
80.4×60.9  
7411  
保田春彦氏寄贈



76. 保田 龍門  
洋画 習作(男性)  
1920-23(大正9-12)頃  
油彩、キャンバス  
60.6×45.2  
7412  
保田春彦氏寄贈



77. 保田 龍門  
洋画 白いドレスの女性  
1920-23(大正9-12)頃  
油彩、キャンバス  
60.6×45.2  
7413  
保田春彦氏寄贈



78. 保田 龍門  
彫塑 仰臥女 原型  
1924(大正13)  
石膏  
h.19.0  
7378  
保田春彦氏寄贈



79. 保田 龍門  
彫塑 少女の首  
1925(大正14)頃  
粘土着色  
h.32.5  
7379  
保田春彦氏寄贈



80. 保田 龍門  
彫塑 女の首  
1926(大正15／昭和元)  
石膏着色  
h.50.5×  
7380  
保田春彦氏寄贈



81. 保田 龍門  
洋画 構図の研究  
1926(大正15／昭和元)頃  
油彩、キャンバス  
58.0×83.0  
7414  
保田春彦氏寄贈



82. 保田 龍門  
彫塑 婦人の首  
1927(昭和2)頃  
石膏  
h.44.5  
7381  
保田春彦氏寄贈



83. 保田 龍門  
彫塑 裸婦立像 原型  
1927(昭和2)頃  
石膏?  
h.61.5  
7382  
保田春彦氏寄贈



96. 保田 龍門  
彫塑 [裸婦坐像 原型]  
制作年不明  
石膏  
h.38.0  
7395  
保田春彦氏寄贈



97. 保田 龍門  
彫塑 [仏像 原型]  
制作年不明  
石膏  
h.59.5  
7396  
保田春彦氏寄贈



98. 保田 龍門  
彫塑 [女性立像 マケット]  
制作年不明  
石膏  
h.15.1  
7397  
保田春彦氏寄贈



99. 保田 龍門  
彫塑 [女性頭部 原型]  
制作年不明  
石膏  
h.37.0  
7398  
保田春彦氏寄贈



84. 保田 龍門  
彫塑 母子像 原型  
1928(昭和3)  
石膏  
h.25.0  
7383  
保田春彦氏寄贈



85. 保田 龍門  
彫塑 坐女 原型  
1939(昭和14)  
石膏  
h.23.5  
7384  
保田春彦氏寄贈



86. 保田 龍門  
彫塑 裸女立像 原型  
1939(昭和14)頃  
石膏  
h.38.0  
7385  
保田春彦氏寄贈



87. 保田 龍門  
彫塑 仰臥女 原型  
1939(昭和14)頃  
粘土  
h.15.2  
7386  
保田春彦氏寄贈



100. 保田 龍門  
彫塑 [レリーフ マケット]  
制作年不明  
粘土  
h.12.7  
7399  
保田春彦氏寄贈



102. 保田 龍門  
彫塑 [犬の頭部 マケット]  
制作年不明  
粘土  
h.5.1  
7401  
保田春彦氏寄贈



103. 保田 龍門  
彫塑 [母子像 マケット]  
制作年不明  
粘土  
h.10.0  
7402  
保田春彦氏寄贈



88. 保田 龍門  
彫塑 裸婦立像 原型  
1947(昭和22)頃  
石膏  
h.43.0  
7387  
保田春彦氏寄贈



89. 保田 龍門  
彫塑 鳩をもつ婦人立像  
原型  
1949(昭和24)頃  
石膏  
h.82.0  
7388  
保田春彦氏寄贈



90. 保田 龍門  
彫塑 榛本夫人胸像  
原型  
1961(昭和36)  
ブロンズ  
h.48.0  
7389  
保田春彦氏寄贈



91. 保田 龍門  
彫塑 松下幸之助夫妻胸像  
マケットa  
1963(昭和38)頃  
石膏  
h.8.0  
7390  
保田春彦氏寄贈



104. 保田 龍門  
彫塑 [母子像レリーフ  
マケット]  
制作年不明  
石膏  
径25.0  
7403  
保田春彦氏寄贈



105. 保田 龍門  
彫塑 [母子像レリーフ  
マケット]  
制作年不明  
石膏  
h.16.5  
7404  
保田春彦氏寄贈



106. 保田 龍門  
洋画 静物(レモンと魚)  
制作年不明  
油彩、キャンバス  
65.2×52.8  
7415  
保田春彦氏寄贈



92. 保田 龍門  
彫塑 松下幸之助夫妻胸像  
マケットb  
1963(昭和38)頃  
石膏  
h.7.9  
7391  
保田春彦氏寄贈



93. 保田 龍門  
彫塑 南翁翁胸像 原型  
1965(昭和40)  
石膏  
h.48.5  
7392  
保田春彦氏寄贈



94. 保田 龍門  
彫塑 [女性頭像 原型]  
制作年不明  
粘土  
h.28.0  
7393  
保田春彦氏寄贈



95. 保田 龍門  
彫塑 [裸婦坐像 原型]  
制作年不明  
石膏  
h.49.0  
7394  
保田春彦氏寄贈



108. 保田 龍門  
洋画 静物(レモンと花)  
制作年不明  
油彩、キャンバス  
64.6×53.0  
7417  
保田春彦氏寄贈



109. 保田 龍門  
洋画 静物(魚)  
制作年不明  
油彩、板  
33.8×46.0  
7418  
保田春彦氏寄贈



110. 保田 龍門  
洋画 パンとニンフ  
制作年不明  
油彩、板  
60.8×50.2  
7419  
保田春彦氏寄贈



111. 保田 龍門  
洋画 母子像  
制作年不明  
油彩  
45.0×46.4  
7420  
保田春彦氏寄贈

## 資料収集



112. 保田 龍門  
洋画 二木  
制作年不明  
油彩、キャンバス  
45.8×38.0  
7421  
保田春彦氏寄贈



113. 保田 龍門  
洋画 満州風景  
制作年不明  
油彩、キャンバス  
45.6×52.8  
7422  
保田春彦氏寄贈



114. 保田 龍門  
洋画 満州風景  
制作年不明  
油彩、板  
33.0×23.8  
7423  
保田春彦氏寄贈



115. 保田 龍門  
洋画 風景  
制作年不明  
油彩、板  
15.4×22.8  
7424  
保田春彦氏寄贈



116. 山本 秀臣  
洋画 [樹間(日の岬)]  
1947(昭和22)  
油彩、キャンバス  
145.5×112.1  
7590  
山本久子氏寄贈



117. 山本 容子  
水彩 Beautiful Lion-after  
Picasso's "Bouquet of  
Flowers" <ROMANCE>  
1984(昭和59)  
エンボス、鉛筆、グワッシュ、  
色鉛筆、紙 55.5×74.0  
7377  
仲人鶴氏寄贈



118. 和田 傳太郎  
洋画 ダリア  
1932(昭和7)  
油彩、キャンバス  
72.5×91.0  
7593  
和田公一氏寄贈



119. 和田 傳太郎  
洋画 三部権現社  
1935(昭和10)  
油彩、キャンバス  
91.0×116.7  
7595  
和田公一氏寄贈



120. 和田 傳太郎  
洋画 雪山  
1935(昭和10)  
油彩、キャンバス  
91.5×116.7  
7594  
和田公一氏寄贈

### 平成15年度新収蔵図書資料 購入137点(平成16年2月末現在)

単行図書	10件	12冊
逐次刊行物	2件	44冊
一般雑誌(定期刊行物)	12タイトル	81冊

### 購入図書資料一覧

白馬会洋画研究所編『美術講話』	富山房	1901年
坂井犀水『黒田清輝』	聖文閣	1937年
隈元謙次郎『黒田清輝』	日本経済新聞社	1966年
ロペール・デジアルヌ『ダリ全集』全3巻	講談社	1985~1986年
チャベック兄弟『光り輝く深淵』	Fr.ボロヴィー	1916年
フランシス・ジャム『野ウサギ物語』	M.フロリアノヴァー	1920年
カレル・チャベック『R.U.R.(ロボット)』ハンガリー語初版	S.クニヴィニオムダ	1922年
カレル・チャベック『R.U.R.(ロボット)』第4版	アヴェンティヌム	1922年
カレル・チャベック『R.U.R.(ロボット)』ロシア語初版	プラーミャ	1924年
カレル・チャベック『ダーシエンカ 子犬の生活』初版	Fr.ボロヴィー	1933年
美術雑誌『アトリエ』	3巻(34点)	1939~1941年
雑誌復刻版『良民』	全9巻・別冊1	1911~1919年/1998年

### 一般雑誌内訳

1 新建築	11冊
2 DOME	6冊
3 美術手帖	12冊
4 アサヒカメラ	11冊
5 芸術新潮	11冊
6 炎芸術	4冊
7 季刊銀花	4冊
8 イラストレーション	5冊
9 インターコミュニケーション	4冊
10 デザインの現場	5冊
11 版画芸術	4冊
12 Prints21	4冊

### 平成15年度新収蔵図書資料 寄贈16点(平成16年2月末現在)

I.D.F. 寄贈	4点
廣岡正次氏寄贈	12点

## ア 所蔵作品の状態調査

展示、貸出の際の点検のほかに、所蔵品の状態を継続的に調査し、保存上の対策を必要とする作品については、紙本作品のマットと額裏板の改良・交換を中心に処置を行った。とくに特殊な知識・技術を要する作品については、館外の専門家に依頼した。

## イ 所蔵作品の保存修復

状態調査の結果、修復が必要と判断された作品のうち、展示に耐えない特に危険な状態の作品、常設展での展示頻度が高い作品を優先し、館外の専門家に委託し、保存修復処置を施した。またマウントのない作品のうち、展示予定の作品を優先して館外の専門家に委託し、マットおよび額を装備した。

油彩画 修復済 1点  
修復中 1点

作家名	作品名	技法材料	主な処置内容	処置者
村井 正誠	形象A	油彩、キャンバス	洗浄、充填整形、補彩ほか	修復研究所21
田中 敦子	61 赤と黒	アクリル、キャンバス	浮き上がり接着、洗浄、変形修正、耳補強、充填整形、補彩、防黴・殺菌、ワニス塗布ほか	修復研究所21

## ウ 保存環境の整備

総合虫害管理システムにより、外部の専門家に委託してモニタリングを4回実施。

外部から害虫が侵入しやすい区画(受付、学芸員室)のブンガノン散布を実施。

展覧会出品作のエキボン被服式燻蒸を実施。

展示室内壁面塗装後の空気質(VOC)環境測定を実施。

## 組織と業務

## 美術館協議会



総務課長	主査	2名
	主事	1名
	技術嘱託	1名
	業務嘱託	5名

## &lt;業務内容&gt;

- 1 事務の企画及び処理の総括、調整に関すること。
- 2 公印の保管に関すること。
- 3 職員の身分及び諸規定に関すること。
- 4 給与、旅費及び福利厚生に関すること。
- 5 歳入歳出予算の編成に関すること。
- 6 公文書に関すること。
- 7 広報に関すること。
- 8 近代美術館友の会に関すること。
- 9 施設、設備の管理、警備及び消防防災に関すること。
- 10 館内の秩序維持に関すること。
- 11 美術品の購入及び寄付物品の受入事務に関すること。
- 12 備品購入及び物品調達に関すること。
- 13 文書の収受、発送に関すること。
- 14 その他学芸課の所管に属さないこと。

## 学芸課長 学芸員 6名

- 1 美術館活動の年間事業計画に関すること。
- 2 美術の普及及び振興に関すること。
- 3 美術品の購入、選定に関するこ。
- 4 近代美術館協議会に関するこ。
- 5 展覧会の具体的な企画、展示に関するこ。
- 6 学芸員実習生の研修に関するこ。
- 7 寄贈作品、寄託作品に関するこ。
- 8 作品の外部管理に関するこ。
- 9 資料の整理、保管及び貸し出しに関するこ。
- 10 近代美術館刊行物の編集に関するこ。
- 11 その他美術館事業についての専門的な事項に関するこ。

## 職員現況調

区分	事務	学芸	技術	嘱託	指導主事	研修	計	備考
名譽館長	—	—	—	—	—	—	—	
館長	1	—	—	—	—	—	1	
副館長	1	—	—	—	—	—	1	
総務課	3	—	1	5	—	—	9	電気技師1名
学芸課	—	7	—	—	1	—	8	
計	5	7	1	5	1	—	19	

## 機構及び職員配置図

館長：小林 守

副館長：熊崎 訓自

課名	課長名	所屬職員(職) 氏名
総務課	栗山昌之	主査：中井博毅(博物館総務課主査兼職) 副主査：菱山徹・岡本文宏 電気技師：小川順一 嘱託：栗生恵里・中村友美・安藤涼・田口望・小向由梨
学芸課	浜田拓志	主査学芸員：寺口淳治・奥村泰彦 学芸員：井上芳子・植野比佐見・奥村一郎・宮本久宣 指導主事：大江康丈

和歌山県立近代美術館協議会委員（◎=会長、○=副会長）

任期2年：2002(平成14)年11月3日～2004(平成16)年11月2日

	氏名	役職	備考
	五十嵐靖郎	県美術家協会会长	2003(平成15)年11月3日 新任
	榎本 長治	会社社長	
○	大河内菊雄	前伊丹市立美術館館長	
	児嶋 義一	県美術家協会会长	2003(平成15)年11月2日 退任
	酒井 哲朗	福島県立美術館館長	
	島 正博	会社社長	
	島村 安彦	会社会長	
	神人 黙	歯科医院長	
◎	角谷 昭一	病院院長	
	谷 奈々	叻和歌山社会経済研究所研究員	
	藤田慎一郎	元大原美術館館長	
	村田慶之輔	川崎市岡本太郎美術館館長	
	保田 春彦	彫刻家(元武蔵野美術大学教授)	
	吉原 英雄	画家(京都市立芸術大学名誉教授)	

氏名五十音順

2004(平成16)年3月31日現在 委員13名

第45回和歌山県立近代美術館協議会

2004(平成16)年3月10日(木)15時より開催し、2003(平成15)年度事業報告、2004(平成16)年度事業計画等、当館の運営について協議が行われた。

2003年夏 展見云人館看致

参考	2002年11月12日～2004年4月6日	天理日文「ことばのいたし」の企画	無料	2,102	103	111	0	907	198	546	1,651	0	0	201	68	155	40	192	224	82	393	1,335	1,176	725	1,105	3,006	6,068
>	天理日文「ことばのいたし」の企画	無料	2,102	103	111	0	907	198	546	1,651	0	0	201	68	155	40	192	224	82	393	1,335	1,176	725	1,105	3,006	6,068	

## 関係法規

### ○和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

昭和45年10月6日  
条例第64号

和歌山県立近代美術館設置および管理条例をここに公布する。

#### 和歌山県立近代美術館設置及び管理条例

(平6条例18・改称)  
(設置)

第1条 近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の観覧に供するとともに、美術に関する資料の調査、研究等を行い、もって美術文化の向上に資するため、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)を設置する。

(平6条例18・一部改正)

(位置)

第2条 近代美術館は、和歌山市吹上一丁目4番14号に置く。

(平6条例18・一部改正)

(事業)

第3条 近代美術館は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 近代美術に関する作品その他の近代美術に関する資料を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供すること。
- (2) 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、研究会、講習会等の開催及び資料の刊行

(平6条例18・一部改正)

(使用料)

第4条 近代美術館を使用する者は、和歌山県使用料及び手数料条例(昭和22年和歌山県条例第28号)の定めるところにより、使用料を納めなければならない。

(委任)

第5条 近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例は、昭和45年11月2日から施行する。

附 則(平成6年3月30日条例第18号)

この条例は、平成6年4月1日から施行する。

### ○和歌山県立近代美術館管理規則

昭和45年10月22日  
教育委員会規則第20号

和歌山県立近代美術館管理規則を次のように定める。

#### 和歌山県立近代美術館管理規則

(目的)

第1条 この規則は、和歌山県立近代美術館設置及び管理条例(昭和45年和歌山県条例第64号。以下「条例」という。)第5条の規定に基づき、和歌山県立近代美術館(以下「近代美術館」という。)の管理に関し法令、条例及び他の規則に定めのあるものを除くほか、必要な事項を定めることを目的とする。

(開館時間)

第2条 近代美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までと

する。

- 2 館長は、特別の事情がある場合においては、前項の開館時間を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。

(休館日)

第3条 近代美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 国民の祝日にに関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)の翌日(その日が土曜日又は日曜日である場合を除く。)
- (2) 年始(1月1日から同月4日まで)
- (3) 年末(12月28日から同月31日まで)
- (4) 毎週月曜日(その日が休日である場合を除く。)
- (5) 前各号に定めるもののほか、特別の事情により館長が臨時に休館を必要と認め、教育長の承認を得た日

- 2 館長は、必要があると認めるとき、その他特別の事情があるときは、前項第1号から第4号までに掲げる休館日を変更することができる。この場合においては、館長は、その旨を教育長に報告するものとする。

- 3 非常災その他急迫の事情があるときは、館長は、臨時に休館することができる。この場合においては、館長は、次に掲げる事項を直ちに教育長に報告するものとする。

- (1) 休館の期間
- (2) 非常災その他急迫の事情の概要
- (3) その他必要と認める事項

(職員)

第4条 近代美術館に、館長のほか必要な職員を置く。

(課の設置及び所掌事務)

第5条 近代美術館に、次の課を置く。

総務課

学芸課

2 総務課においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 館長印、館印その他公印の管守に関する事。
- (2) 職員の身分、服務その他人事に関する事。
- (3) 文書の收受、発送、編さん及び保存に関する事。
- (4) 予算、決算及び会計に関する事。
- (5) 近代美術館の施設、設備及び物品の管理に関する事。
- (6) その他学芸課の主管に属しない事。

3 学芸課においては、次の事務をつかさどる。

- (1) 美術に関する展覧会、講演会、研究会等の開催についての年間計画の樹立並びにその具体的な企画及び実施に関する事。
- (2) 近代美術に関する作品その他の資料の収集、保管及び展示に関する事。
- (3) 美術の普及及び振興に関する事。
- (4) 近代美術に関する調査、研究及び資料の刊行に関する事。
- (5) 近代美術館協議会に関する事。

(入館の拒絶、制限及び退館命令)

第6条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

(1) 伝染性疾患のある者

(2) 陳列品を汚損し、又は近代美術館の施設及び設備をき損するおそれのある物品を所持している者

(3) 館内の秩序を乱すと認められる者

(4) その他館長において近代美術館の管理上入館を不適当と認めた者

2 館長は、近代美術館の管理上必要があると認めるときは、入館に制限を加えることができる。

(損害賠償の義務)

第7条 入館者は、その責めに帰すべき事由により陳列品を汚損し、近代美術館の施設及び設備をき損し、又は滅失したときは、その損害の賠償をしなければならない。

(委任)

第8条 この規則に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規則は、昭和45年11月2日から施行する。

附 則(昭和53年4月1日教育委員会規則第12号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和56年5月28日教育委員会規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和63年3月31日教育委員会規則第13号)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成元年3月31日教育委員会規則第7号)

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則(平成6年3月31日教育委員会規則第8号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成13年3月30日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

(任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長等)

第4条 協議会に、会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(小委員会及び部会)

第6条 協議会は、小委員会又は部会を置くことができる。

2 小委員会に委員長を、部会に部会長を置く。

3 委員長及び部会長は、委員のうちから会長が指名する。

4 小委員会又は部会に属する委員は、会長が指名する。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、当該博物館において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

付 則

この条例は、昭和57年4月1日から施行する。

### ○和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

昭和46年10月12日

教育委員会規則第26号

和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を次のように定める。

#### 和歌山県立近代美術館美術品貸付規則

(目的)

第1条 この規則は、和歌山県立近代美術館が所蔵する美術品(以下「美術品」という。)の貸付けに関し必要な事項を定めることを目的とする。

(貸付)

第2条 和歌山県立近代美術館長(以下「館長」という。)は、その目的が公の性質をもち、かつ、美術文化の普及上適当と認めた場合に、次項に規定する者に対して美術品を貸し付けることができるものとする。

2 美術品の貸付けを受けることのできる者は、国並びに地方公共団体及び公益法人その他これらに準ずる団体とする。

(申請手続)

第3条 美術品の貸付けを受けようとする者は、次に掲げる事項を記載した借受申請書を館長に提出しなければならない。

博物館の名称	協議会の名称
和歌山県立近代美術館	和歌山県立近代美術館協議会
和歌山県立博物館	和歌山県立博物館協議会
和歌山県立紀伊風土記の丘	和歌山県立紀伊風土記の丘協議会
和歌山県立自然博物館	和歌山県立自然博物館協議会

(委員の定数)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、15人以内とする。

- (1) 申請者の氏名又は名称及び住所  
 (2) 借り受けようとする美術品の名称及び数量  
 (3) 使用目的  
 (4) 陳列等のための施設の名称及びその場所並びに施設の概要  
 (5) 借受期間  
 (6) 借受期間における保管及び管理の方法  
 (7) その他参考となる事項  
 (貸付承認)  
 第4条 館長は、美術品の貸付けを承認したときは、美術品貸付承認通知書(別記様式)を申請者に交付する。  
 (貸付期間)  
 第5条 美術品の貸付期間は、通常2月以内(以下「1期間」という。)とする。ただし、館長が必要と認めたときは、貸付期間を更新し、又は延長することができる。  
 (借受書等)  
 第6条 美術品の貸付承認を受けた者は、次に掲げる事項を記載した借受書を館長に提出しなければならない。  
 (1) 借り受ける美術品の名称及び数量  
 (2) 借受期間  
 (3) 返納期日  
 (4) 返納場所  
 (5) 貸付条件に従う旨  
 2 貸付承認をした美術品の引渡しは、前項の借受書の提出があったとき、これを行う。  
 3 館長は、美術品が返還されたときは、これと引き換えに返還を受けた旨の受領書を交付するものとする。  
 (遵守事項等)  
 第7条 貸付承認をした美術品の荷造り及び輸送並びに保管、返納等に要する費用は、借受人の負担とする。  
 2 貸付期間中の美術品の保管及び管理は、借受人の責任とし、亡失、汚損又は損傷のあったときは、賠償の責めを負うものとする。  
 3 美術品の借受人は、当該美術品を借り受けた目的以外に使用してはならない。  
 (貸付料)  
 第8条 美術品の貸付料は、1点につき1期間3,090円とし、第5条ただし書の貸付期間の延長の場合にあっては、1月以内の延长期間にについては1,540円とし、1月を超える延長期間については1,000円とする。  
 2 特別の事情がある場合においては、貸付料を増減し、又は免除することがある。  
 3 既納の貸付料は、これを返還しない。  
 (貸付けの取消し)  
 第9条 館長は、美術品の貸付けを受けた者が、この規則及び貸付条件を守らないときは、その承認を取り消し、当該美術品の返還を求めることができる。  
 (補則)  
 第10条 この規則に定めるもののほか、美術品の貸付けに関し必要な

事項は、教育長の承認を得て館長が定める。  
 付 則  
 1 この規則は、公布の日から施行する。  
 2 和歌山県立美術館美術品貸付規程(昭和42年和歌山県教育委員会規則第22号)は、廃止する。  
 附 則(昭和56年8月29日教育委員会規則第15号)  
 この規則は、昭和56年9月1日から施行する。  
 附 則(平成元年3月31日教育委員会規則第8号)  
 この規則は、平成元年4月1日から施行する。

別記様式(第4条関係)

番号	年 月 日		
美術品貸付承認書			
殿	印		
和歌山県立近代美術館長			
年 月 日付けで承認申請のあった当館所蔵の美術品の貸付けについては、下記によって承認する。			
記			
1 貸付品	種別	作者名	題名
2 貸付期間	年 月 日から	年 月 日まで	材質 形状 製作年
3 貸付料	金	円	上記貸付料は、美術品借り受けのとき、又はその日までに県指定金融機関へ払い込むこと。
4	美術品の輸送の際の取扱い及び保管管理については、館長の指示に従い、十分注意するとともに、貸付中のいっさいの責任を借受者において負うものとする。		
5	美術品は、当館係員立合いのうえ借受書と引き渡すものとする。		
6	その他和歌山県立近代美術館美術品貸付規則の各条項を遵守するとともに館長の指示に従うこと。		

備考 この承認書には、和歌山県立近代美術館美術品貸付規則を添付すること。

○和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

昭和46年10月12日  
教育委員会告示第12号

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程を次のように定める。

和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程

(趣旨)

第1条 この規程は、和歌山県立近代美術館(以下「美術館」という。)における美術作品の寄託に關し必要な事項を定めるものとする。

(受託)

第2条 美術作品の所有者(以下「所有者」という。)が展示保存又は調査研究の目的をもって、美術作品の保管の寄託の申入れがあつたときは、この規程の定めるところにより、美術館はこれを無

償で受託するものとする。

(寄託)

第3条 所有者が、美術作品を寄託しようとするときは、別記第1号様式による保管依頼書を提出し、館長の承認を受けなければならぬ。

(受入れ及び返還)

第4条 館長は、美術作品を受領したときは、所有者に、別記第2号様式による受託証書を交付するものとする。

2 寄託品の返還を受けようとする者は、原則として返還を受けようとする日の1月前に別記第3号様式による返還請求書を館長に提出しなければならない。

3 寄託品は、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。

4 寄託品の返還を受けようとする者が、所有者の代理人であるときは、受託証書に、委任状その他代理人であることを証する書類を添えなければならない。

(寄託期間及び期間の更新)

第5条 寄託期間は、3年とする。ただし、館長が必要と認めたときは、所有者の承諾を得てこの期間を短縮又は更新することがある。寄託期間を経過後寄託者から返還の請求がない場合は寄託期間の更新をしたものとみなす。

2 寄託期間の更新をするときは、受託証書の書換えを行うものとする。

(所有者の変更等)

第6条 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったときは、は所有者の氏名、名称若しくは住所等に変更があったときは、その所有者(所有者変更の場合は、新所有者)は、所有権の移転その他氏名、名称等の変更を証する書類を受託証書に添えて、館長に届け出、受託証書の書換えを受けなければならない。

(受託証書の再交付)

第7条 受託証書を失し、又は著しく破損したときは、所有者は、これらを証明するに足る書類(破損の場合は、その受託証書)を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。

(作品輸送経費の負担)

第8条 所有者は、寄託品の搬入又は返還に要する荷造り及び運搬の経費を負担しなければならない。ただし、館長において特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

(補則)

第9条 この規程に定めるものほか美術品の寄託に關し必要な事項は、教育長の承認を得て館長が定める。

付 則

この規程は、告示の日から施行する。

附 則(平成6年3月31日教育委員会告示第1号)

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

別記第1号様式(第3条関係)

美術作品保管依頼書	
種 別	
作 品 名	
作 者 名	
製 作 年 月 日	
附 属 品	
作 品 の 所 在 地	
寄 託 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

上記作品について下記事項承諾のうえ、寄託を申し入れます。

年 月 日

和歌山県立近代美術館長 殿

住 所  
姓 名

印

記

- 1 寄託期間経過後、私から返還請求をしない場合は、この期間の更新に同意したものとします。  
 2 寄託した美術作品が天災その他の避けられない事故によって汚損又は亡失した場合における補償の請求はいたしません。  
 3 展示保存又は調査研究に資するため写真撮影することに同意します。

別記第2号様式(第4条関係)

文書番号	
年 月 日	受託証書
作 品 名	
附 属 品	
寄 託 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

上記作品の保管を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により受託しました。

年 月 日

住 所  
姓 名

和歌山県立近代美術館長 印

別記第3号様式(第4条関係)

返還請求書	
作 品 名	
附 属 品	
寄 託 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

上記の作品の返還を和歌山県立近代美術館美術作品寄託規程(昭和46年和歌山県教育委員会告示第12号)により請求します。

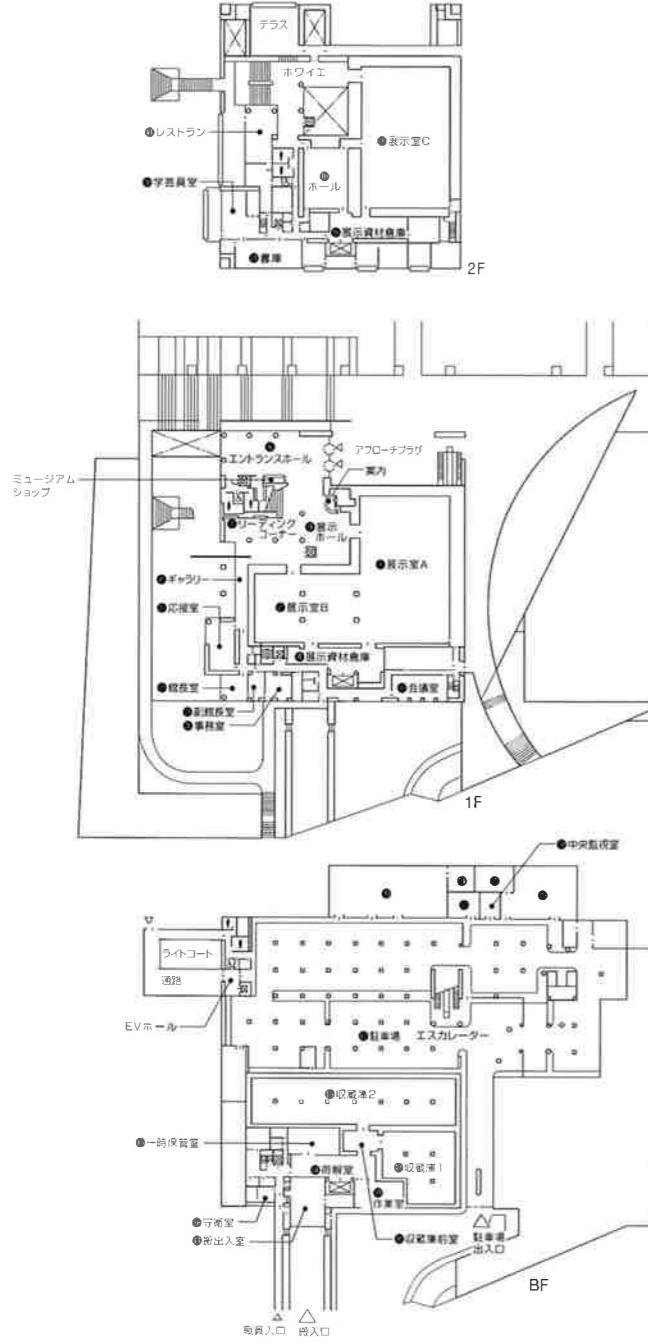
年 月 日

和歌山県立近代美術館長 殿

住 所  
姓 名

印

## 建築概要



部門	室名	面積(m <sup>2</sup> ) Area
<b>展示部門</b>		
①展示室A	1,057.0	
②展示室B	486.1	
③展示室C	1,038.0	
④展示資材倉庫 (1F)	136.2	
⑤展示資材倉庫 (2F)	121.5	
(小計)	2,839.4	
<b>サービス部門</b>		
⑥エントランスホール	402.2	
⑦リーディングコーナー	217.8	
⑧ギャラリー	46.9	
⑨展示ホール	134.0	
⑩ホール	181.5	
ホール前室、映写室、控室A、倉庫	74.6	
⑪レストラン	105.1	
厨房	62.0	
テラス	217.9	
化粧室	181.9	
⑫駐車場	2,480.1	
EVホール、廊下、階段、その他	1,670.7	
(小計)	5,774.7	
<b>収蔵部門</b>		
⑬搬出入室	108.4	
⑭荷解室	130.0	
⑮一時保管室	81.0	
⑯収蔵庫前室	61.4	
⑰収蔵庫1	342.5	
⑱収蔵庫2	685.6	
⑲作業室	82.0	
(小計)	1,490.9	
<b>調査部門</b>		
⑳学芸員室、倉庫	123.2	
㉑書庫	113.1	
(小計)	236.3	
<b>管理部門</b>		
㉒館長室		
㉓応接室		
㉔副館長室		
㉕会議室		
㉖事務室		
㉗中央監視室		
㉘守衛室		
控室B		
控室C		
控室D		
更衣室		
救護室	444.7	
㉙電気室	212.4	
㉚マシンルーム	364.9	
㉛消火ポンプ室	38.7	
㉜ハロンポンベ室	51.2	
㉝発電機室	58.1	
空調機械室	295.5	
倉庫、その他	31.1	
(小計)	1,496.6	
合計	11,837.9	

階数 Floor	各階面積 Each floor area
2 F	2,916.8
1 F	3,436.8
B F	5484.3
合計 (延床面積)	11,837.9

## 近代美術館・博物館 建築概要

所在地 和歌山市吹上一丁目1番  
敷地面積 23,356.78m<sup>2</sup>  
監理 和歌山県土木部當繪課  
設計監理 株黒川紀章建築都市設計事務所  
施工 竹中・清水・戸田特定建築工事共同企業体  
きんでん・伊藤電気特定電気設備工事共同企業体  
日立プラント・長谷川冷機特定機械設備工事共同企業体  
総工費 137億806万円  
〔総事業費 192億633万1千円（用地費含む）〕  
工事期間 1991年10月～1994年3月

## 建物概要

構造 RC造（鉄筋コンクリート構造）  
地上2階地下1階建  
建築面積 7,087.17m<sup>2</sup>  
(美術館部分 4,500.62m<sup>2</sup> 博物館部分 2,586.55m<sup>2</sup>)  
延床面積 18,704.50m<sup>2</sup> (駐車場3,460m<sup>2</sup>を含む)  
(美術館部分 11,837.90m<sup>2</sup> 博物館部分 6,866.60m<sup>2</sup>)  
仕上 外装 外壁 磁器質タイル、アルミパネルアルマイド仕上、  
アルミカーテンウォール  
屋上 アスファルト防水の上コンクリート押え  
庇 フッ素ステンレス鋼板、アルミパネル アルマイド仕上

## 設備概要

電気設備  
受変電設備 3φ3W 6600V 60Hz  
変圧器 1φ 600KVA (うち美術館300KVA 博物館300KVA)  
3φ 1550KVA (うち美術館900KVA 博物館650KVA)  
自家発電設備 ディーゼル機関 4サイクル 440PS 1800rpm  
蓄電池設備 キュービクル式直流電源装置  
容量 300AH

空調設備  
熱源設備 空気熱源熱回収型スクリュー式ヒートポンプ冷凍機  
165RT+110RT  
蓄熱槽 1560m<sup>3</sup>

排煙設備 自然排煙+機械排煙 6系統 (うち美術館4系統 博物館2系統)

衛生設備  
給水設備 受水槽 上水10m<sup>3</sup>、雑用水29m<sup>3</sup>

受水方式 加圧給水ポンプ方式

排水設備 汚水・雨水分流式 (公共下水道へ放流)

消防設備 ハロンガス消火 (収蔵部門各室・展示部門各室・書庫)  
/屋内消火栓/スプリンクラー/消火器/泡消火 (駐車場)

自動火災報知設備 (館内守衛室にて集中管理)

煙感知器 光電スポット型 美術館224台 博物館155台

熱感知機 差動スポット型 美術館105台 博物館 74台

定温スポット型 美術館 14台 博物館 13台

防災・防犯設備 (館内守衛室にて集中管理)

受信盤 複合GR型 504回線

ITV監視装置、防災アンプ (360W)

監視カメラ 美術館33台 (うち展示室14台) 博物館19台 (うち展示室8台)

防犯センサー

# 案 内

## 展示・保存環境

		面積	床材	天井高
展示部門	展示室A ケース	1,057.0m <sup>2</sup> L 13,706×D 1,200×H 3,372 + L 31,070×D 1,200×H 3,372 (mm)	ナラフローリング	5m
	展示室B	486.1m <sup>2</sup>	同上	4m
	展示室C ケース	1,038.6m <sup>2</sup> L 25,211×D 1,200×H 3,372 (mm)	同上	5m
	1F 展示資材倉庫	136.2m <sup>2</sup>	ビニアスタイル	4m
	2F 展示資材倉庫	121.5m <sup>2</sup>	同上	4m
収蔵部門	収蔵庫1 (立体) 収蔵庫2 (平面)	342.5m <sup>2</sup> 385.6m <sup>2</sup>	耐水合板下地 ブナフローリング	4m
	前室	61.4m <sup>2</sup>	同上	4m
	一時保管室	81.0m <sup>2</sup>	モザイクパケット	4m
	作業室	82.0m <sup>2</sup>	ビニアスタイル	5.8m
	荷解室	130.0m <sup>2</sup>	モルタル金ゴテ エポキシ系塗床	5.8m
	搬出入口	108.4m <sup>2</sup>	同上	4.8m
展示照明	ハロゲンダウンライト/蛍光灯(着脱式) /スポットライト(着脱式) すべて紫外線防止、高演色タイプ、無段階調光可能			
空調	展示室 収蔵庫	2系統 2系統		
	展示室	設定温度 夏期25°C /冬期22°C 設定湿度 通年55%		
	収蔵庫	設定温度 通年22°C 設定湿度 通年55%		
作品専用昇降機	油圧式・30m/min・最大積載量3.0トン H 3,000×W 5,000×D 2,500 (mm)			

## 利用案内

開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)  
 休館日 毎週月曜日(祝日のときはその翌日)  
 年末年始(12月28日~1月4日)  
 展示替え期間  
 駐車場 有料(90台収容)

## 交通案内

JR和歌山駅、南海和歌山市駅からバスで約10分、「県庁前」下車、徒歩2分(和歌山城向かい)



2003(平成15)年度 和歌山県立近代美術館年報

編集・発行 和歌山県立近代美術館 ©2005  
〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14  
TEL 073-436-8690 FAX 073-436-1337  
2005(平成17)年3月31日発行  
印 刷 中和印刷紙器株式会社